

# 防災気象情報の改善について

令和8年 4月  
水管理・国土保全局、気象庁

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4 = 避難指示、警戒レベル3 = 高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
			指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）			
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）	大雨特別警報（土砂災害）	高潮氾濫発生情報	
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報	
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報					

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

- 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理。  
(平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始。)
- その後、令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化。

**令和3年5月20日から**  
ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**  
ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫 <b>緊急安全確保</b> ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~		
4	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	こうれいしゃとうりなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

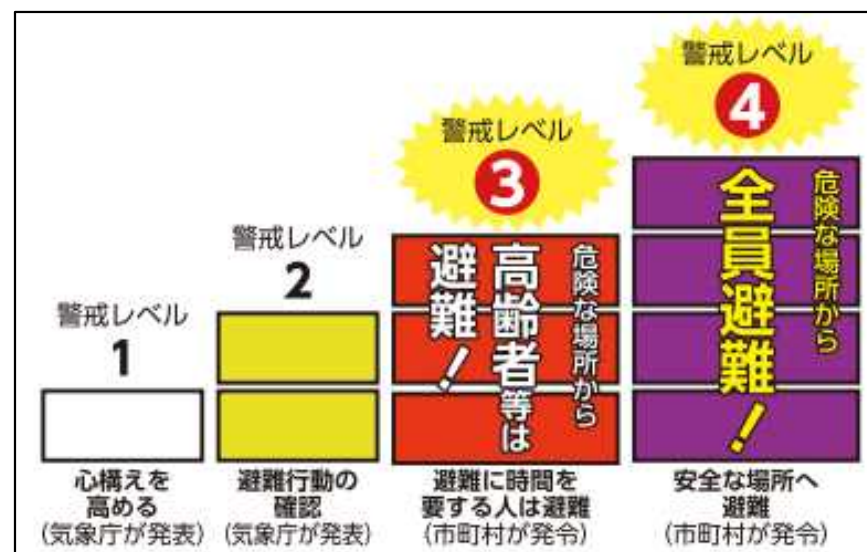
※1 市町村が災害の状況を確認し把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ市町村の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません!**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から**避難**しましょう。

**内閣府(防災担当)・消防庁**



**⚠ 警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。**

「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府(防災担当))より

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府(防災担当))より

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設しました。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル <b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル <b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル <b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル <b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、「レベル3 氾濫警報」等の名称で発表します。**これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川も、大雨に関する情報で一緒に扱います。**

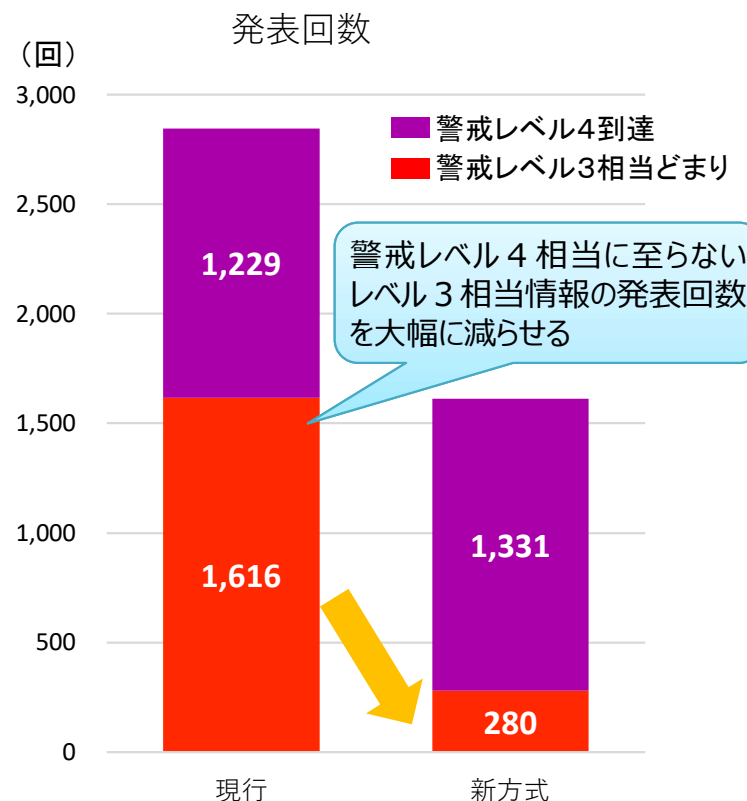
## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等	
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報	〔 洪水予報河川への移行を促進 〕	早期注意情報

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル4土砂災害危険警報**に変更します。
- **レベル3土砂災害警報**は、発表基準を見直すことで、現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表を大幅に減らします**。
- 今後は、**まもなくレベル4土砂災害危険警報を発表する可能性が高い**状況において、レベル3土砂災害警報を発表しますので、情報を活用いただくにあたりご留意ください。

## 土砂災害に関する情報体系と名称

発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	<b>レベル5土砂災害特別警報</b>
	4	<b>レベル4土砂災害危険警報</b>
	3	<b>レベル3土砂災害警報</b>
	2	<b>レベル2土砂災害注意報</b>
	1	<b>早期注意情報</b>



土砂災害に関する警戒レベル3相当及び4相当情報の発表回数の比較（令和5年6～9月のデータに基づく）

新方式の警戒レベル3相当情報の発表回数は、レベル4相当情報の基準（CL）に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

- 国土交通大臣が指定する海岸（**高潮予報海岸**）では、国土交通省・気象台・都道府県が共同で、「**波の打上げ高**」を加味した、より精度の高い高潮の予報・警報を実施します。
- **レベル5 高潮特別警報は、氾濫が発生または切迫している場合に発表します。**（台風等を要因とした高潮特別警報から移行）
- レベル4 高潮危険警報、レベル3 高潮警報、レベル2 高潮注意報は、浸水被害のおそれがある状況から**リードタイムをとって発表**します。

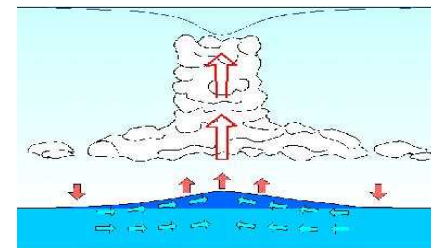
## 高潮に関する情報体系と名称

分類	高潮予報海岸	その他の海岸
発表主体	国土交通省・気象台・都道府県	気象台
発表指標	波による打上げ高を考慮した水位・潮位	潮位
情報名称	5	レベル5 高潮特別警報
	4	レベル4 高潮危険警報
	3	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 高潮注意報
	1	早期注意情報

## ■ 現在の高潮予報・警報

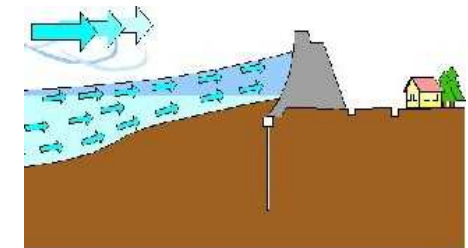
【吸い上げ】

気圧低下による潮位上昇



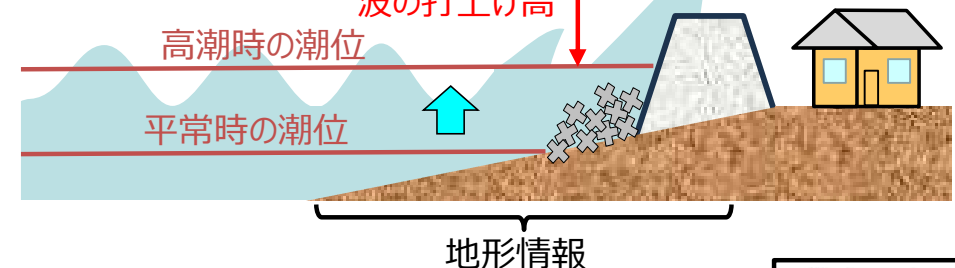
【吹き寄せ】

海岸に吹く風による潮位上昇



## ■ 波の打上げ高を予報・警報に反映

- 波の打上げ高予測モデルや観測技術の開発により、波の打上げ高の予測・観測が可能に



気象庁

国土交通省

都道府県

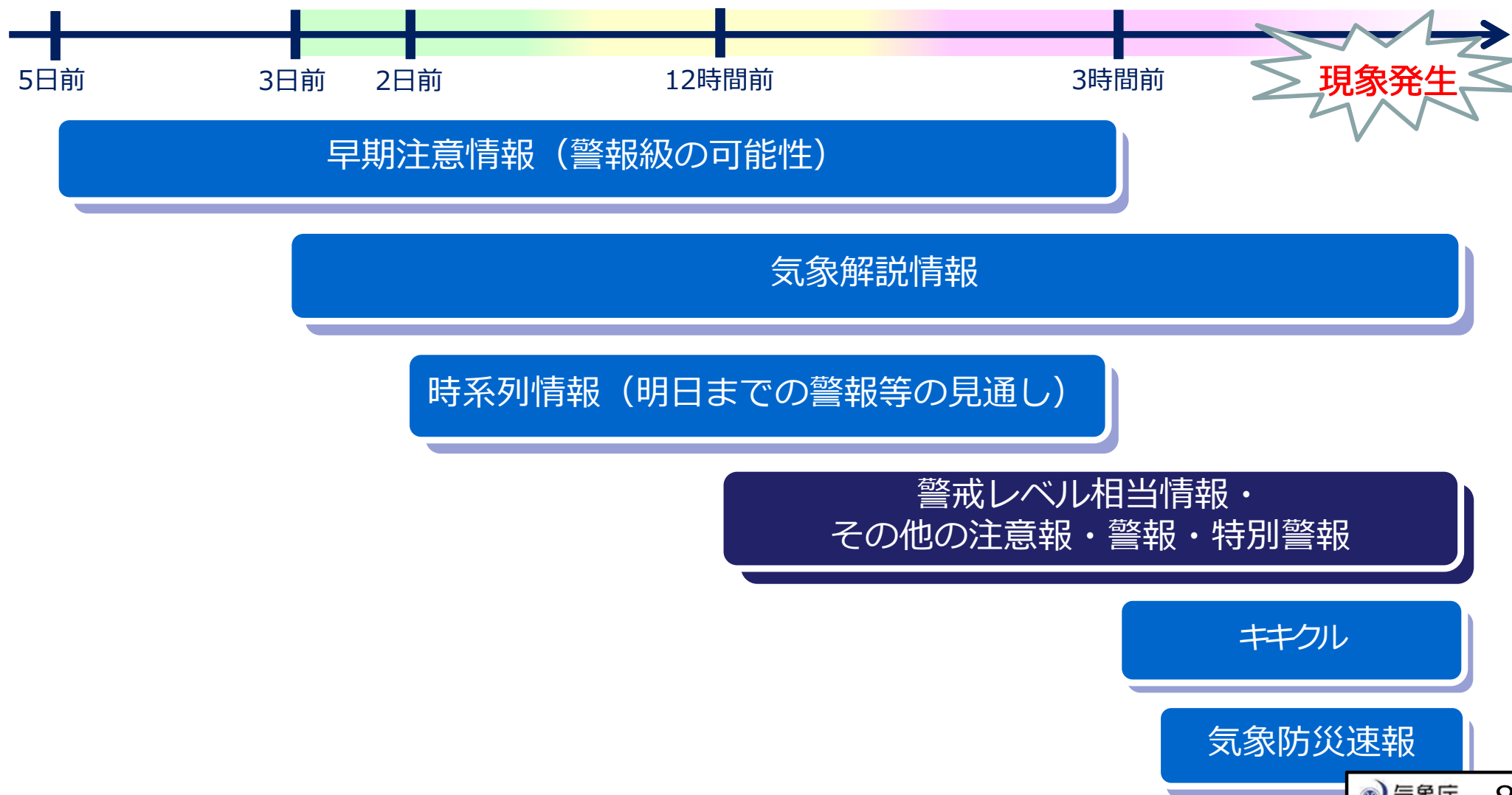
- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません。**
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

## 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

<b>特別警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>注意報</b>	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。





- 早期注意情報（警報級の可能性）・・・対象とする各気象現象の5日先までにおいて、警報級となる可能性を確度に応じて提示（警報級となる可能性が高い場合には〔高〕、可能性が高くはないが一定程度認められる場合には〔中〕を発表）
- 時系列情報は翌日までが対象のため、明後日以降の警報級の可能性については早期注意情報を参照
- 翌日までにおいては、危険度予測や雨量等の数値予測に基づく時系列情報に加えて、早期注意情報から、万一警報級となる可能性についても確認する

## （活用例）

**ケース1** 警戒レベル3相当以上が翌日12時以降に予想されていて警報級の可能性が〔高〕になっている。

		1日		2日							
		18-24		00-06		06-12		12-18		18-24	
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24
〇〇市	土砂災害の警戒レベル・相当					2	2	3	4	4	2
〇県南部	土砂の警報級の可能性	-		-		-		〔高〕		〔高〕	

翌日の12時から警戒レベル3相当、15時から21時に警戒レベル4相当が予想されていて、警報級の可能性が当該時間〔高〕になっている。  
→翌日にレベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報が発表される可能性が高い。

**ケース2** 警戒レベル3相当以上の予想は無いが、翌日12時以降に警報級の可能性〔中〕がになっている。

		1日		2日							
		18-24		00-06		06-12		12-18		18-24	
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24
〇〇市	土砂災害の警戒レベル・相当					2	2	2	2	2	2
〇県南部	土砂の警報級の可能性	-		-		-		〔中〕		〔中〕	

翌日の12時から警戒レベル3相当以上は予想されていないが、翌日の12時から24時にかけて、警報級の可能性が〔中〕になっている。  
→もしかしたら、翌日にレベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報が発表される可能性がある。

**ケース3** 警戒レベル3相当以上の予想がなく、警報級の可能性〔中〕以上もない。

		1日		2日							
		18-24		00-06		06-12		12-18		18-24	
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24
〇〇市	土砂災害の警戒レベル・相当					2	2	2	2	2	2
〇県南部	土砂の警報級の可能性	-		-		-		-		-	

翌日の12時から警戒レベル3相当以上は予想されておらず、警報級の可能性も〔中〕以上は予想されていない。  
→翌日にレベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報が発表される可能性はない。

（注）上図は情報の活用のイメージの説明資料であり、気象庁ホームページに上記のように表示されるわけではない

- 土砂災害のレベル3 警報の基準は、レベル4 危険警報のリードタイムで定められる  
 ……このため、レベル3 警報が予測される場合は、その先にレベル4 危険警報が予測される

06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24

(レベル2 注意報、レベル3 警報がレベル4 危険警報のリードタイムで定められる高潮も同様)

- 上記以外 (大雨やその他の警報・注意報) は、時系列情報によって、例えば発表された注意報がそれにとどまるのか、あるいは警報・危険警報等までに至るのか、その予測が確認できる

06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24

発表中の注意報  
大雨

時系列情報では、注意報にとどまる予想 (あわせて、早期注意情報により、警報級に至る可能性があるか否かについても確認)

- 大雨の浸水害に関するレベル4 危険警報基準は、設定した地域でのみ運用される予定のため、設定された地域以外でレベル5 特別警報が予測される場合には、赤→黒という表示もあり得る (大雨に関する情報が対象とする河川でレベル4 危険警報が予測される場合は、紫も表示される)



対象格子に紫が複数出現したら「大雨危険警報発表」

対象格子以外の地域でレベル5 特別警報が予測される場合は、レベル3(赤)→レベル5(黒)の表示もあり得る

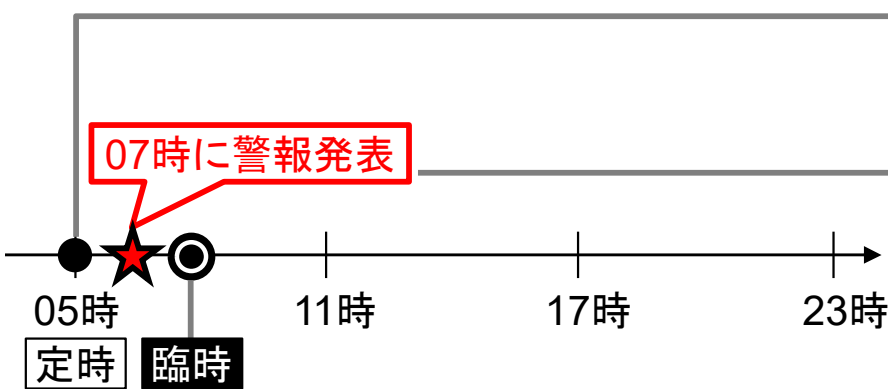
06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24

- 時系列情報は、警報・注意報とは独立して提供する予測情報ため、警報・注意報発表とその時間帯の危険度が合わないことがある  
(リードタイムをもって警報等を発表した場合や、天気の変化により警報等を発表した場合など)

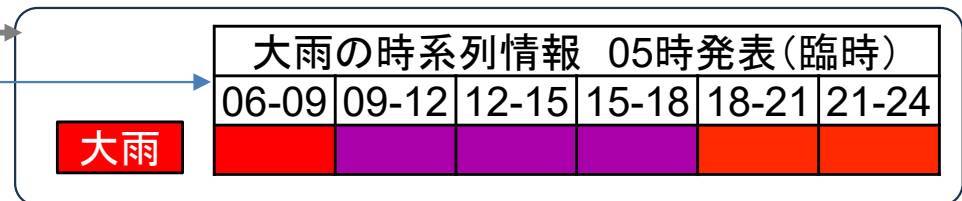
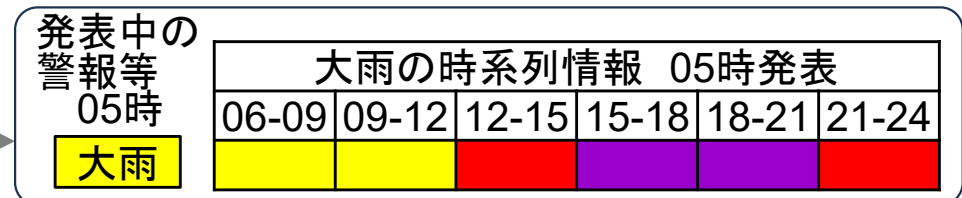
- …利用者においては、その時発表された警報・注意報により、その内容や注意警戒事項を確認いただく
- …天気の変化により気象状況の見通しが大きく変わることが予想された場合は、必要に応じて臨時に時系列情報を修正して発表



警報は、重大な災害が発生するような警報級の現象が概ね3~6時間先に予想されるときに発表することとしているため、警報発表時刻と時系列情報におけるその時間帯の警報・注意報の警戒レベルと時系列情報の警戒レベルが合わないことがある

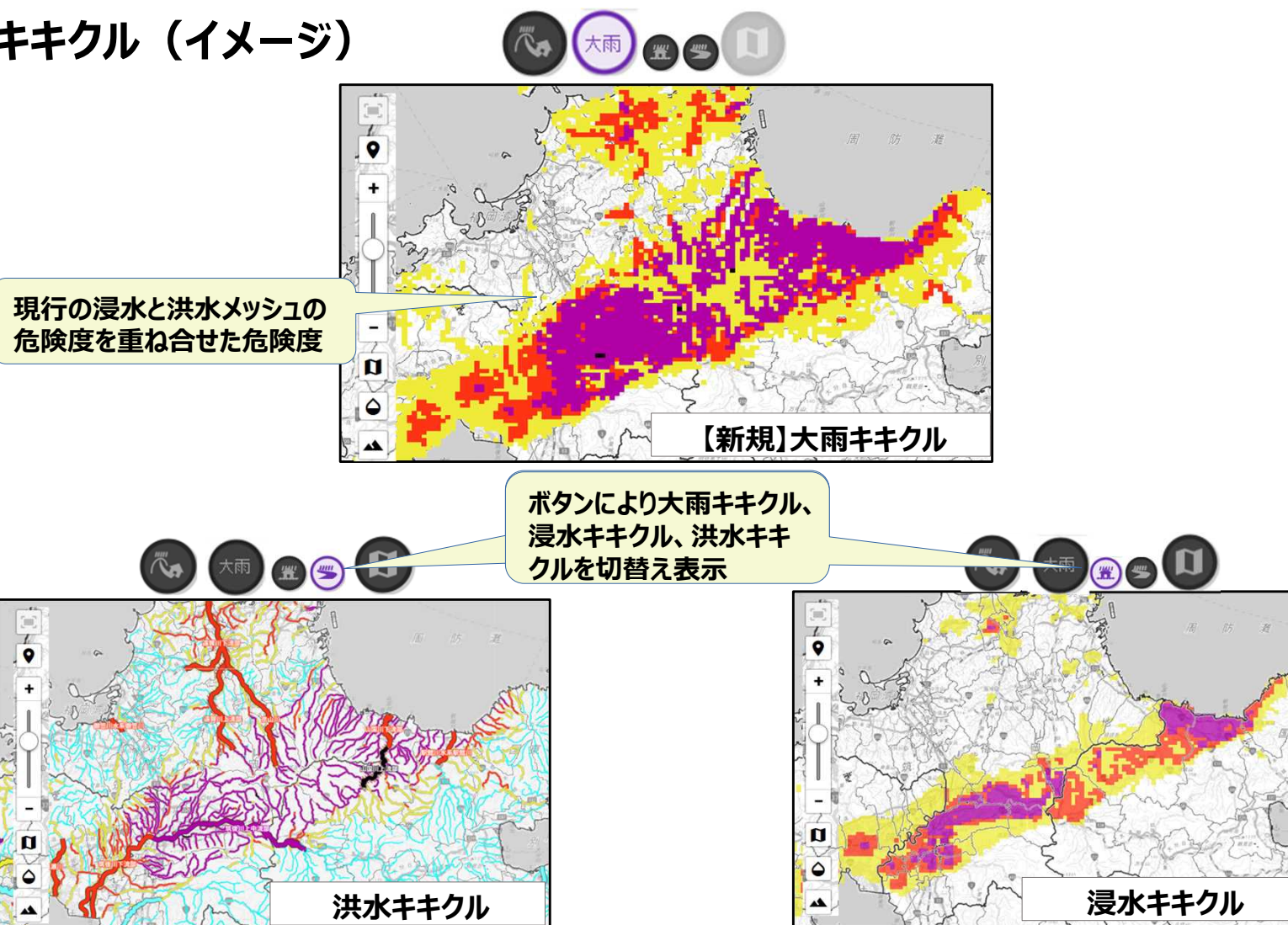


想定していた気象状況の見通しに大きな変更が生じた場合は、次の定時を待たずに臨時で修正の時系列情報を発表(変更のタイミングが定時発表の時刻に近い場合は、定時発表時に変更した時系列情報を発表)



- 大雨に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて大雨キキクルとして表示します。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

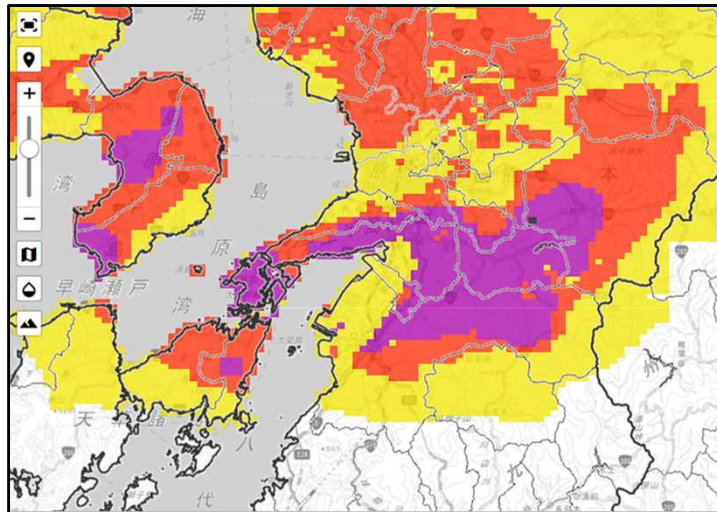
## 大雨キキクル（イメージ）



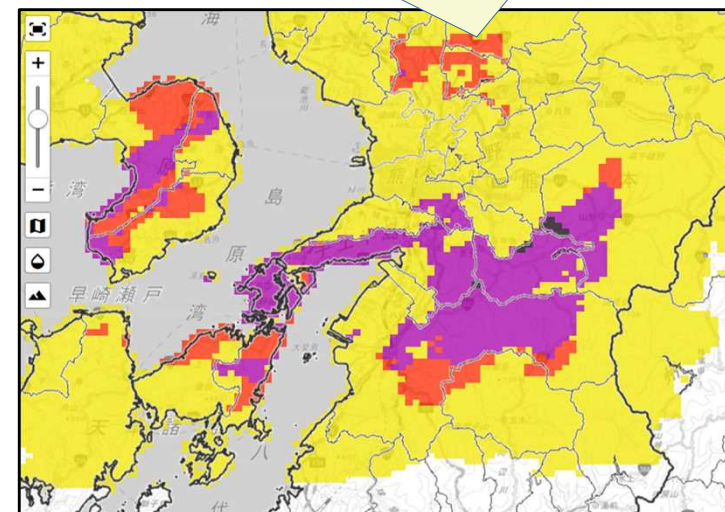
- 土砂災害に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 判定基準の変更に伴い、現行に比べて**警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる**傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）

現行



新運用



現行に比べて赤が絞り込まれ、黄から紫になることが多くなる傾向

### 危険度の判定方法の変更

#### ■ 災害切迫【警戒レベル5相当】

実況でレベル5土砂災害特別警報基準到達（変更なし）

#### ■ 警戒【警戒レベル3相当】

〈現行〉 2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達

〈新運用〉 **3時間先にレベル4土砂災害危険警報基準**到達

#### ■ 危険【警戒レベル4相当】

2時間先までにレベル4土砂災害危険警報基準到達（変更なし）

#### ■ 注意【警戒レベル2相当】

〈現行〉 2時間先までに大雨注意報基準到達

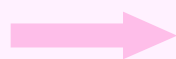
〈新運用〉 **6時間先**までにレベル2土砂災害注意報基準到達

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を公表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

## 気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)

これまで

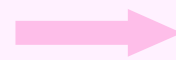
記録的短時間大雨情報



顕著な大雨に関する気象情報



顕著な大雪に関する気象情報



竜巻注意情報



(令和8年5月29日～)

気象防災速報 (記録的短時間大雨)

気象防災速報 (線状降水帯発生)

気象防災速報 (線状降水帯直前予測)

(R8運用開始予定)

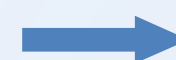
気象防災速報 (短時間大雪)

気象防災速報 (竜巻注意/竜巻目撃)

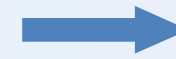
## 気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)

これまで

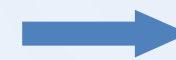
線状降水帯半日前予測を記載した  
全般/地方/府県気象情報



全般台風情報(総合情報)



大雨に関する  
全般/地方/府県気象情報



(令和8年5月29日～)

気象解説情報 (線状降水帯半日前予測)

気象解説情報 (台風第○号)

気象解説情報 (大雨)

## ■ 気象防災速報（記録的短時間大雨） ←これまで：記録的短時間大雨情報

愛知県気象防災速報（記録的短時間大雨） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

0時50分時東海市、日進市で記録的短時間大雨。  
東海で1時間に121ミリ。日進市付近で1時間に約120ミリ。  
猛烈な雨が降っており、災害発生の危険度が急激に高まっています。

## ■ 気象防災速報（線状降水帯発生） ←これまで：顕著な大雨に関する気象情報

愛知県気象防災速報（線状降水帯発生） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

愛知県西部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。

## ■ 気象防災速報（線状降水帯直前予測） ←令和8年度より新たに運用を始めた情報

愛知県気象防災速報（線状降水帯直前予測） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

愛知県西部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

## ■ 気象防災速報（短時間大雪） ←これまで：顕著な大雪に関する気象情報

岐阜県気象防災速報（短時間大雪） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 岐阜地方気象台発表

関ヶ原では、〇日〇時までの3時間に20センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は〇日昼過ぎにかけて続く見込みです。関ヶ原町付近の平地では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

## ■ 気象防災速報（竜巻注意） ←これまで：竜巻注意情報（電文の変更は標題のみ）

愛知県気象防災速報（竜巻注意） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

愛知県西部、東部は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

## ■ 気象防災速報（竜巻目撃） ←これまで：竜巻注意情報【目撃情報あり】（電文の変更は標題のみ）

愛知県気象防災速報（竜巻目撃） 第1号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

【目撃情報あり】愛知県西部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。愛知県西部は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報（文章・図）の段階的な改善を実施

- ・ **令和8年から、2～3時間前**を目標にした予測情報（文章・図）を提供予定
- ・ **令和11年から、半日程度前**に線状降水帯による大雨の可能性が高い**市町村**を把握できる格子形式の分布図を提供予定

情報のリードタイムを伸ばし、対象地域を絞り込むことで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく。

文章 情報	<h3>半日前予測</h3> <p>半日程度前からの呼びかけ</p> <p>令和4年 地方単位で予測</p> <p>↓</p> <p>令和6年 <b>府県単位</b>で 発生の半日程度前に予測</p> <p>〇〇県では、〇〇から〇〇にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。</p>	<h3>直前予測</h3> <p>確度の高い直前の予測</p> <p><b>予定</b></p> <p>令和8年</p> <p>〇〇県北部などの <b>一次細分区域単位</b>で 線状降水帯となる <b>2～3時間前</b>を目標に予測</p> <p>〇〇県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。</p> <p><b>イメージ</b></p>	<h3>発生情報</h3> <p>令和3年 〇〇県北部などの 一次細分区域単位で 線状降水帯の発生をお知らせ</p> <p><b>+ 追加</b></p> <p>令和5年 <b>最大30分</b>程度前倒し</p> <p>〇〇県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。</p>
	<p><b>計画</b></p> <p>令和11年 <b>線状降水帯発生による大雨の可能性が高い市町村</b>を把握できる格子形式の分布図を表示※1</p> <p><b>イメージ</b></p>		

※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により更なる予測精度向上を目指す。

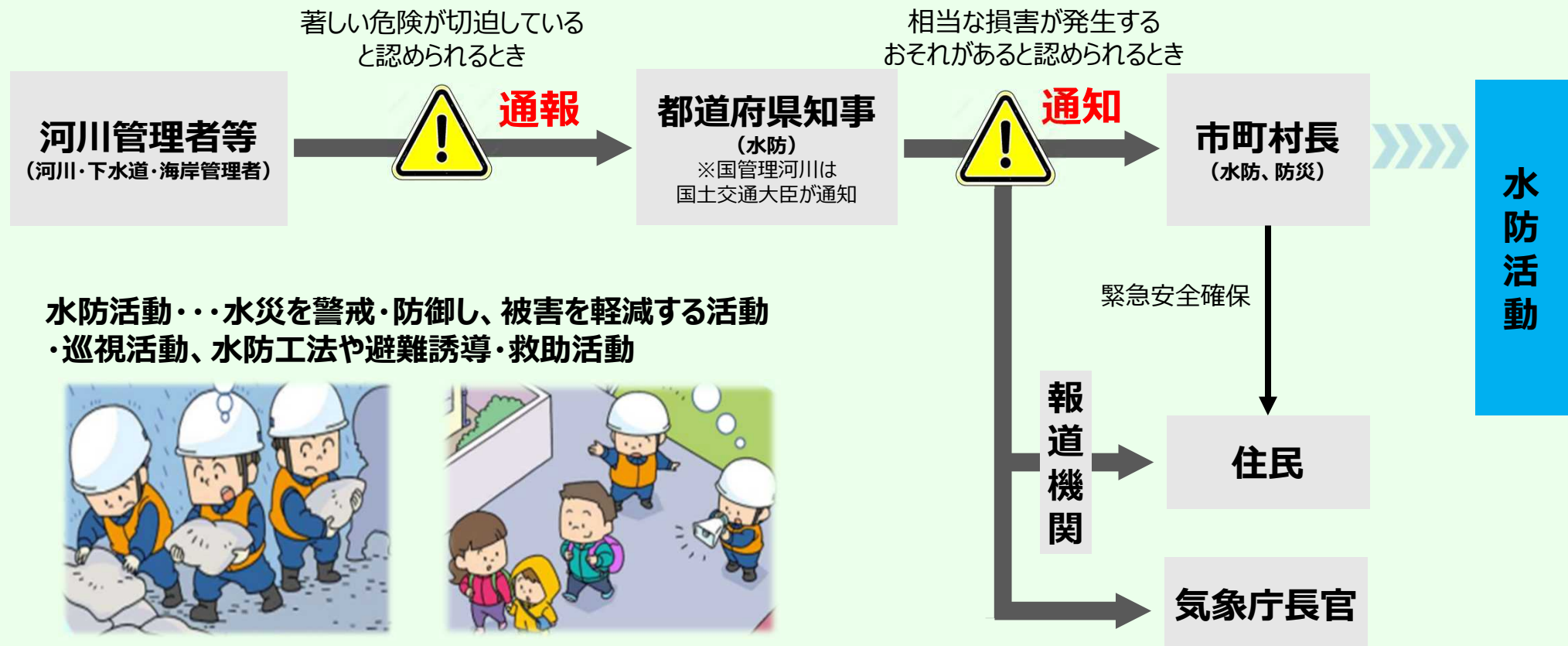
**令和8年5月下旬から新たに開始**



- 氾濫によって住民の生命に影響が及ぶ蓋然性が高くなる状況（警戒レベル5となる場合）においては、その状況の速やかな把握や迅速な身の安全を守る行動等の対応をとることが重要となります。
- 氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを、河川管理者等が水防事務を担う都道府県知事等にプッシュ型で通報し、通報を受けた都道府県知事が、水防関係者に通知を行うことで、市町村長等による迅速な緊急安全確保措置の指示やその他の的確な水防活動に繋がります。

※通報を受けた都道府県知事が気象庁長官にも通知を行うことで、特別警報の発表の判断要素として活用されます。

## 新たな通報制度の概要



## 河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル5 氾濫特別警報**とし、  
(発表には、河川管理者の氾濫通報を活用)
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、  
**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。  
(レベル4 大雨危険警報を新設)

## 土砂災害

- 警戒レベル4相当は、現在の**土砂災害警戒情報からレベル4 土砂災害危険警報に変更**。
- 警戒レベル4相当に至らない**レベル3 土砂災害警報発表を大幅に削減**。
- レベル3 土砂災害警報発表時は、**まもなくレベル4 土砂災害危険警報を発表する可能性大**。

## 高潮

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、  
国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報**を実施
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

## 共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル2では「注意報」、レベル3では「警報」と**統一感を持った名称へ**。

「防災気象情報に関する検討会」のとりまとめを踏まえ、気象庁ホームページについて、以下の項目について改善を行っています。

## (1) 警戒レベル相当情報の体系整理を踏まえた改善

- 大雨・土砂災害・氾濫・高潮に関連する防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて整理
- 危険度の時系列が一目でわかるバーチャート「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を常時表示

## (2) 気象情報（解説情報）の体系整理を踏まえた改善

- 解説情報の性質の違いを考慮のうえ、「極端な現象を速報的に伝える情報（気象防災速報）」と「網羅的に解説する情報（気象解説情報）」に分類して整理

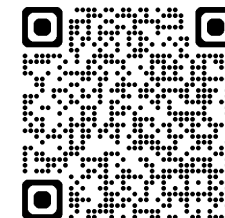
## (3) 各種情報を集約したページの改善

- 様々な図表等（プル型のコンテンツ）を組み合わせて表示できる「あなたの街の防災情報」を整理・拡充

- 新たな防災気象情報が社会で効果的に活用されるため、**地域住民等への普及啓発**にしっかり取り組んでいく必要があり、**皆様のご協力**をお願いします。
- 気象庁では、新たな防災気象情報を紹介する**チラシ・リーフレット等の広報資料を作成**し、気象庁ホームページに設ける特設ページに掲載していますので、ご活用ください。
- また、**特設サイトの周知**にもご協力ください。  
防災気象情報の運用開始後も、特設サイトは当面の間、存続することとします。

# 気象庁HP「新たな防災気象情報に関する特設ページ」開設

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>



国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

ホーム > 新たな防災気象情報について (令和8年~)

## 新たな防災気象情報について(令和8年~)

### 令和8年5月下旬(予定)より 気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

## 広報資料等

図をクリックすると大きな画像でご覧いただけます。

- 一般向けリーフレット（3つ折り） [ダウンロードファイル](#)[PDF形式: 約5.0MB] [PPT形式:18.1MB]
- 子ども向けリーフレット（2つ折り） [ダウンロードファイル](#)[PDF形式: 約0.8MB] [PPT形式:2.2MB]
- 防災気象情報を活用する組織向けのチラシ [ダウンロードファイル](#)[PDF形式: 約4.2MB] [PPT形式:1.1MB]

## 【特設サイトの構成】

- ・新たな防災気象情報の概要
- ・よくある質問（FAQ）
- ・チラシ・リーフレット・動画等の広報資料
- ・新たな防災気象情報の説明資料（パワーポイント資料等）
- ・関連サイトへのリンク

ご清聴ありがとうございました

# 令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、  
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

防災気象情報

いつ逃げる？  
**レベルで  
判断！**

避難の判断がよりしやすし

【一  
覧  
表  
】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

**POINT** 警報・注意報の情報名に「レベル」が  
付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記され  
ます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難  
判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧) 「大雨警報」

→ (新) 「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当

**POINT** 河川の氾濫の危険度の伝え方が  
変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。

今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧) 「洪水警報」

→ 【洪水予報河川※】

(新) 「レベル3氾濫警報」

→ 【洪水予報河川以外の河川】

(新) 「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

**POINT** 「警戒レベル4相当」の情報は  
「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当  
の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧) 「土砂災害警戒情報」

→ (新) 「レベル4土砂災害危険警報」

**POINT** 線状降水帯の発生などは  
「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧) 「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新) 「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧) 「記録的短時間大雨情報」

→ (新) 「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



# 避難のタイミングは レベルで判断



災害が起きる前に何をすべきか、  
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～1日前  
半日～数時間前  
数時間～3時間前  
2時間～0時間前  
災害発生

- レベル1 早期注意情報**
  - ・災害への心構えを一段高める
  - ・職員の連絡体制を確認する
- レベル2 注意報**
  - ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
  - ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
- レベル3 警報**
  - ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
  - ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
- レベル4 危険警報**
  - ・**危険な場所から全員避難する**
  - ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
- レベル5 特別警報**
  - ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
  - ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

## 災害の情報、 どう受け取る？



警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



## このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル 検索

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

OO市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）	地域	2026年XX月XX日11時00分発表										備考・関連する現象				
		12:05	15:48	18:21	21:04	00:01	03:06	06:00	09:32	12:25	15:18		18:21	21:24		
1時間最大雨量...			10	30	50	50	30	20	10							
2.4時間最大雨量...			200					200								
大雨																
土砂災害																
高潮	潮位...	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	0.5				

# 河川防災情報とその活用について

---

中部地方整備局 河川部  
水災害予報センター  
令和8年6月4日

○平成12年9月11日未明より、庄内川・新川流域では、記録的な豪雨となり、名古屋地方気象台は、11日19:00に、**時間最大雨量93mm**を記録、11日未明から12日までの総雨量は、**567mm**となり観測史上最大の降雨となった。庄内川の越水、新川の破堤、内水氾濫により名古屋市周辺で19km<sup>2</sup>が浸水した。この水害によって約29,000人の住民が避難を強いられ、18,000戸を超える住家が被災した。



場所は共に西枇杷島町

- 停滞する前線に向かって、台風第2号からの非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、各地で非常に激しい雨となった。
- 静岡県・愛知県・三重県では、線状降水帯が発生し、一部地域で降り始めからの総降水量が500mmを超えた。
- 静岡県、愛知県では死者3名、床上浸水353棟などの被害が発生し、国道1号が冠水により通行止めになるなど甚大な被害が発生した。



# 1. 防災気象情報

# 2. 災害リスクの事前把握

# 3. 情報の入手方法

## ■ 洪水等に関する更新

- 避難情報の発令に資する情報は、確度や取得できる範囲、時間が異なることから、それぞれの特性を踏まえた上で避難情報の発令判断に活用する必要がある。
- 水位周知河川については、「大雨に関する情報」で今後の見通しを把握した上で、従前どおり「水位到達情報」をもとに避難情報を発令することを基本とする。
- その他河川※については、流域面積が小さく、降雨により急激に水位が上昇するケースが多いため、「大雨に関する情報」等をもとに避難情報を発令することが基本となるが、水位情報等を取得できる場合はそれらをもとにした発令も検討する。
- 水路・下水道等については、従前どおり、事前の検討の結果、当該浸水が居住者等に命の危険を及ぼさないと考えられる場合には、基本的には避難情報の発令対象としない。なお、避難情報の発令の対象とする場合は、大雨に関する情報等を参考に発令基準を設定することが考えられる。

※その他河川：洪水予報河川及び水位周知河川以外の河川

洪水・大雨に関する警戒レベル相当情報の新旧比較

	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川等 ※洪水予報河川外の外水氾濫、内水氾濫
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県 / 気象台	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと / 市町村ごと	市町村ごと
相当情報	洪水に関する情報	水位到達情報※ <sup>1</sup>	大雨浸水に関する情報 / 洪水に関する情報
<b>5相当</b>	氾濫発生情報	氾濫発生情報 / 大雨特別警報（浸水害）	大雨特別警報（浸水害）
<b>4相当</b>	氾濫危険情報	氾濫危険情報 / -	
<b>3相当</b>	氾濫警戒情報	氾濫警戒情報 / 洪水警報	洪水警報
<b>2相当</b>	氾濫注意情報	氾濫注意情報 / 洪水注意報	大雨注意報 / 洪水注意報



	洪水予報河川 ※外水氾濫	水位周知河川 ※外水氾濫	その他河川、水路・下水道 ※洪水予報河川以外の外水氾濫、内水氾濫
発表主体	河川事務所または都道府県と気象庁	河川事務所または都道府県	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと ※市町村を分割して発表する場合もある。
相当情報	洪水に関する情報	水位到達情報※ <sup>1</sup>	大雨に関する情報
<b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報 レベル5 氾濫発生情報※ <sup>2</sup>	レベル5 氾濫発生情報	レベル5 大雨特別警報 レベル5 氾濫発生情報※ <sup>2</sup>
<b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 大雨危険警報
<b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 大雨警報
<b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 大雨注意報

※<sup>1</sup> 水位周知河川については、河川事務所等から発表される水位到達情報を警戒レベル相当情報とすることを基本とするが、気象庁から発表される大雨に関する情報についても有効に活用

※<sup>2</sup> 河川管理者等からの「通報」を受け、都道府県知事等から発表される。（当該通報した者が河川管理者国土交通大臣の場合にあつては、国土交通大臣から発表）

- 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理。  
(平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始)
- 令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化。

## 令和3年5月20日から

ひなんしじ **避難指示**で必ず避難

ひなんかんこく **避難勧告**は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫 <b>緊急安全確保</b> ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	災害のおそれ多い <b>避難指示</b> ※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	災害のおそれ多い <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

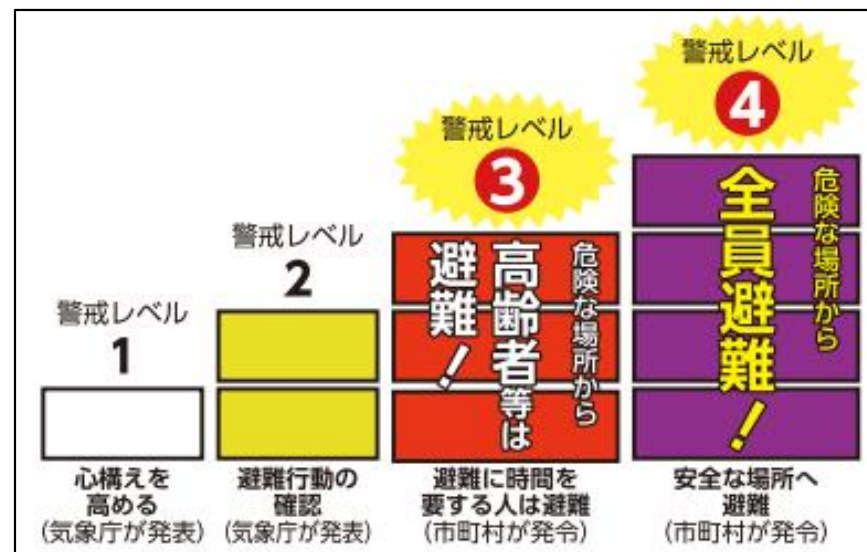
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて自発的な行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保**の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

**内閣府(防災担当)・消防庁**



**！ 警戒レベル5 はすでに災害が発生・切迫している状況です。**

「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府(防災担当))より

- 令和8年5月下旬から、河川の氾濫に関する情報は、警戒レベルとの関係から以下のようになります。
- 例えば、市町村長が避難指示発令を判断する警戒レベル4相当の情報は、
  - <洪水予報河川> レベル4氾濫危険警報<sup>①</sup>等の相当情報を参照 (氾濫危険情報等から名称変更)
  - <水位周知河川> レベル4氾濫危険情報<sup>②</sup>等の相当情報を参照 (レベル表記を追加)
- ※河川の情報が入手できない場合などにレベル4大雨危険警報<sup>③</sup>を参照
- <その他河川(上記以外)> レベル4大雨危険警報<sup>③</sup>等を参照 (洪水警報が大雨警報へ統合)
- 氾濫通報に基づくレベル5氾濫発生情報<sup>④</sup>は、洪水予報河川に加え、水位周知河川、その他河川のあらかじめ定められた河川でのみ運用されます。このうち、洪水予報河川は、レベル5氾濫特別警報と一体的に発表されます。

## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川		
河川数	約400河川	約1,800河川	約18,000河川	—	
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	河川事務所または都道府県	気象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	
対象とする主な現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫	内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫	
発表指標	水位(実測・予測)	水位(実測)	確認情報等	表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5	レベル5氾濫発生情報 <sup>④</sup> /レベル5氾濫特別警報	レベル5氾濫発生情報 <sup>④</sup>	レベル5氾濫発生情報 <sup>④</sup>	レベル5大雨特別警報
	4	レベル4氾濫危険警報 <sup>①</sup>	レベル4氾濫危険情報 <sup>②</sup>	市町村ごと の大雨警報を 参考に判断	レベル4大雨危険警報 <sup>③</sup>
	3	レベル3氾濫警報	レベル3氾濫警戒情報		レベル3大雨警報
	2	レベル2氾濫注意報	レベル2氾濫注意情報		レベル2大雨注意報
	1	早期注意情報			早期注意情報

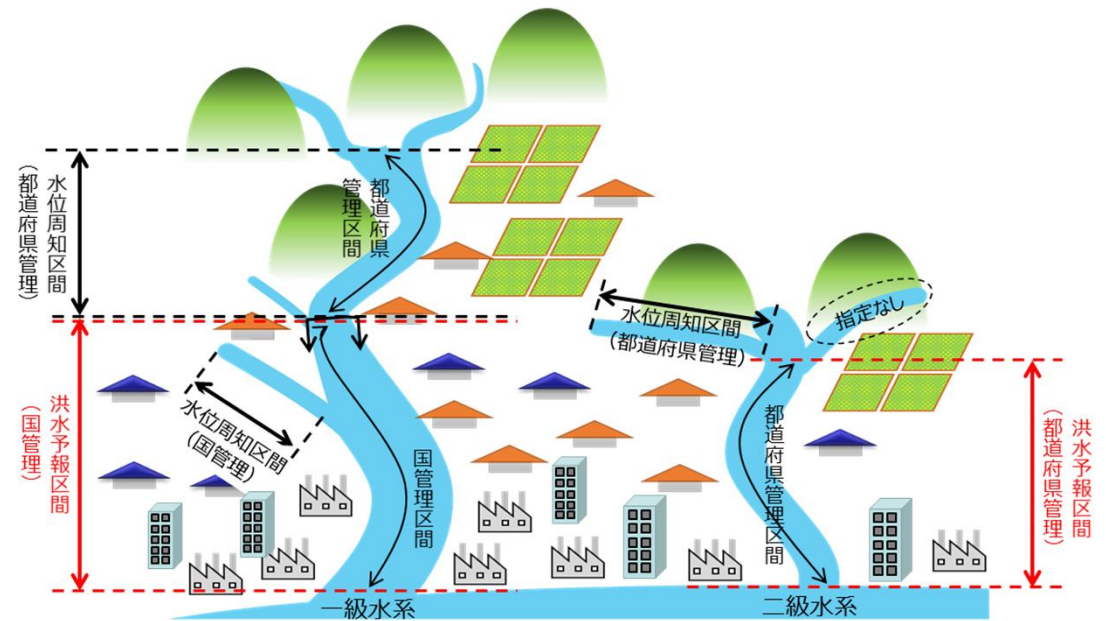
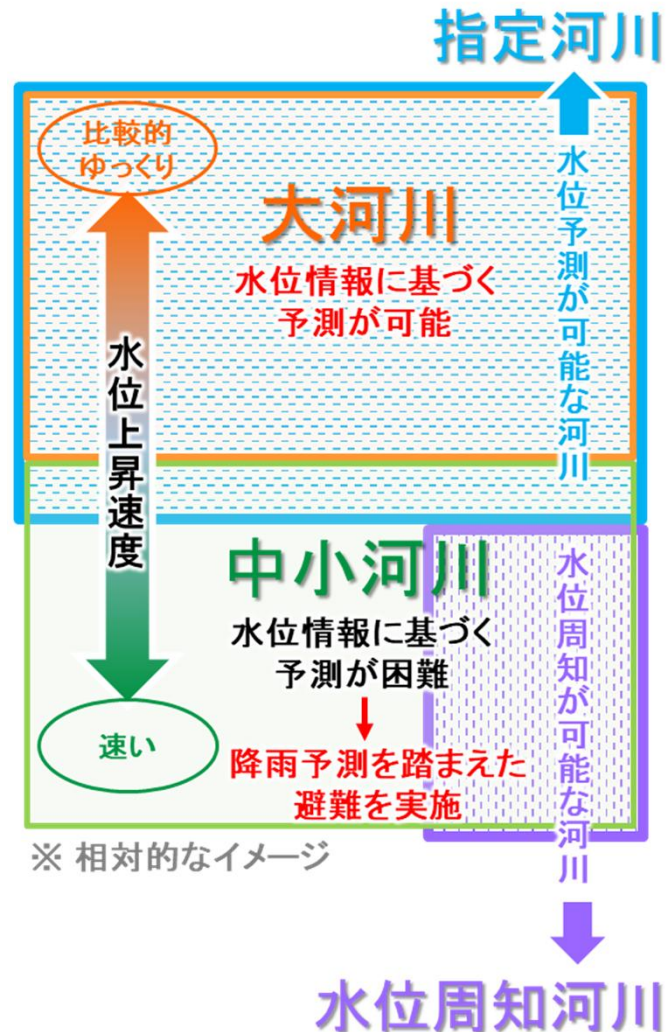
洪水により国民経済上、重大な損害を生ずるおそれがある河川のうち、

水位等の予測が技術的に可能な「流域面積が大きい河川」・・・【洪水予報河川】

→ 水位情報をもとに避難情報を発令、避難行動をとる

流域面積が小さく洪水予報を行う時間的余裕がない河川・・・【水位周知河川】

→ 雨の情報から避難行動をとる必要がある



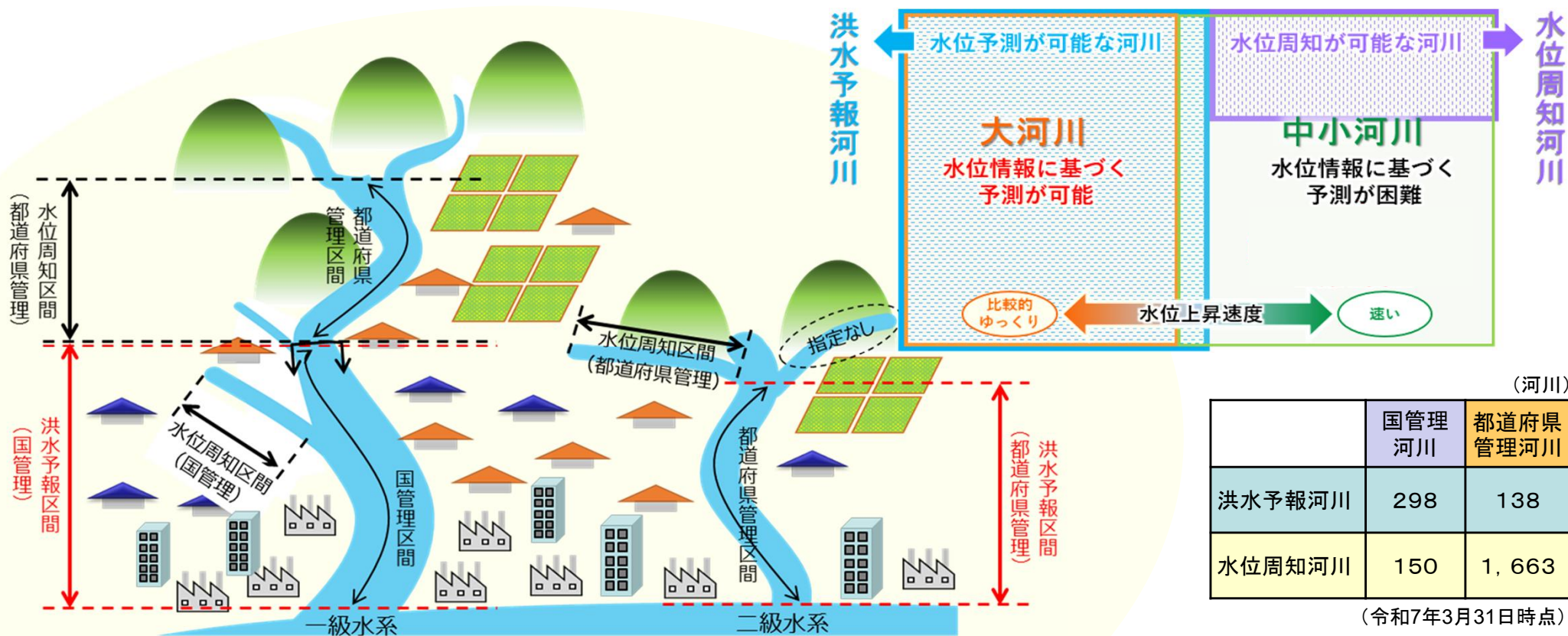
- ・ 一級水系：政令で指定された国土保全上又は国民経済上特に重要な水系
- ・ 一級河川：一級水系の河川のうち、国土交通大臣が指定した河川
- ・ 二級河川：一級水系以外で公共の利害に重要な関係がある都道府県知事が指定した河川

\* 同じ水系内に一級河川と二級河川が併存することはない

**洪水により国民経済上重大な損害又は相当な損害を生ずるおそれがある河川のうち、水位等の予測が技術的に可能な「流域面積が大きい河川」・・・【洪水予報河川】**

**流域面積が小さく洪水予報を行う時間的余裕がない河川・・・【水位周知河川】**

- 大河川 局所的な豪雨には比較的強いが、広範囲に大雨が長時間続くと徐々に水位が上昇し、危険な状態になる。**水位情報**をもとに避難情報の発令や避難行動をとりやすい。
- 中小河川 降雨と同時に直後に増水し、危険な状態になる可能性がある。**水位情報**のほか、**雨の情報**から避難行動をとることが必要な場合がある。





【国】  
洪水予報河川 20河川  
水位周知河川 19河川

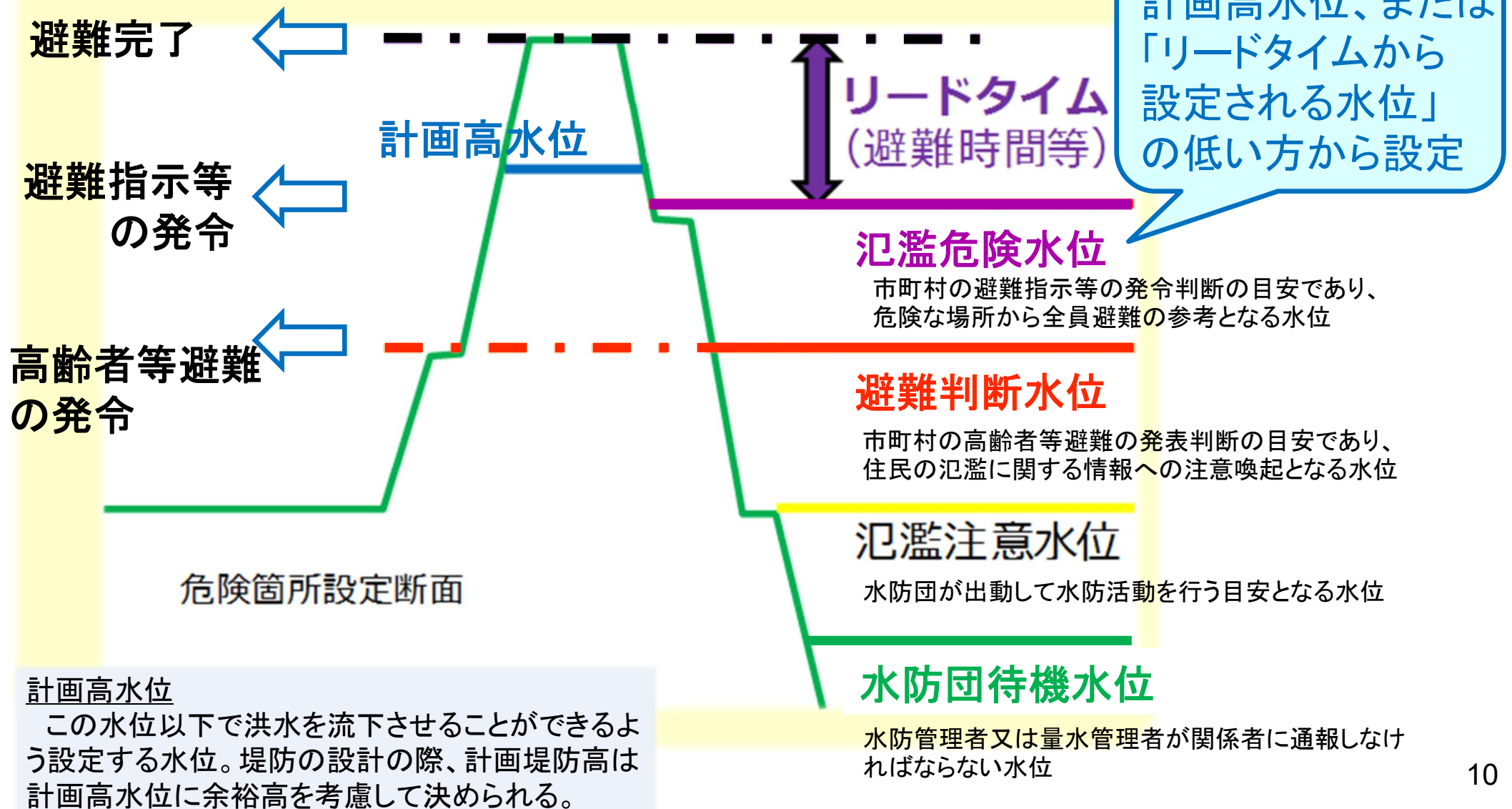
【県】 愛知・岐阜・三重・静岡・長野  
洪水予報河川 17河川  
水位周知河川 158河川

洪水予報河川    水位周知河川

洪水予報河川 …… 予測水位も含めたお知らせ

水位周知河川 …… 河川の水位をお知らせ

河川ごとに、堤防等の高さに基づいて設定



## 指定河川洪水予報

### （国の機関が行う洪水予報）

第10条 気象庁長官は、気象等の状況により洪水又は高潮のおそれがあるときは、その状況を国土交通大臣及び関係都道府県知事に通知するとともに、必要に応じ報道機関の協力を求めて、これを一般に周知させなければならない。

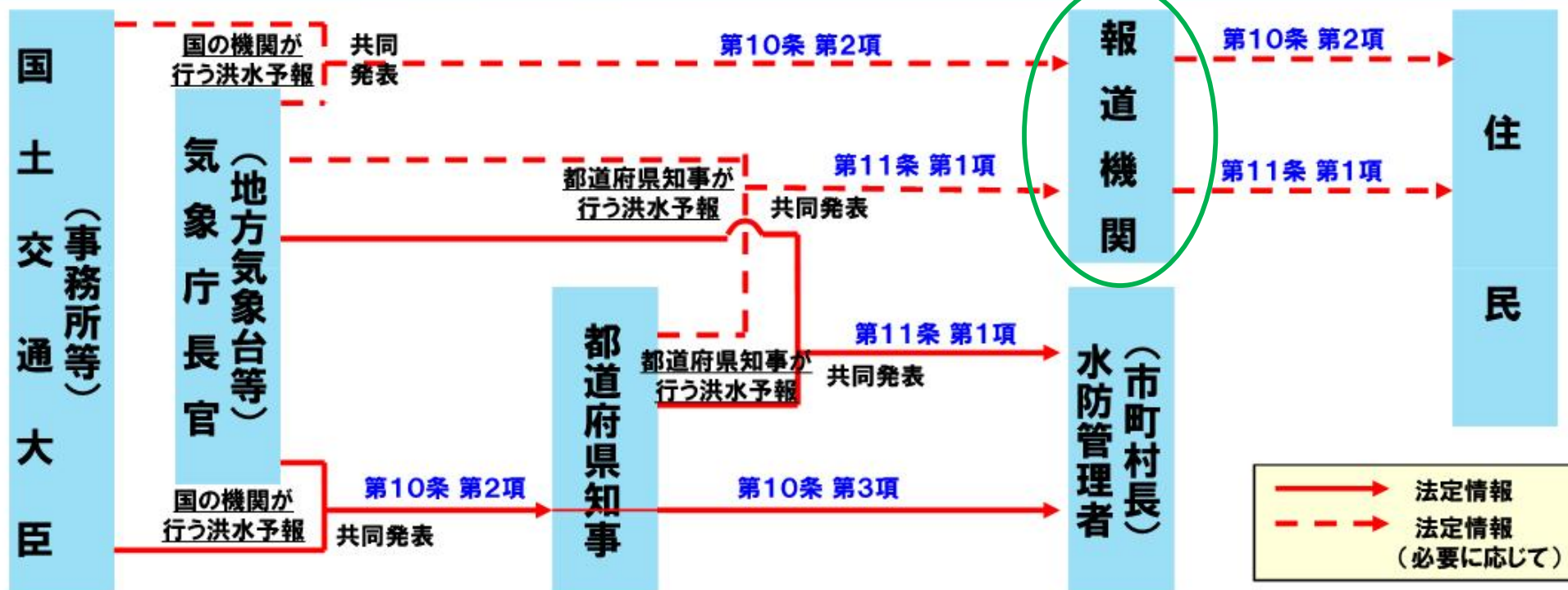
2 国土交通大臣は、二以上の都府県の区域にわたる河川その他の流域面積が大きい河川で洪水により国民経済上重大な損害を生ずるおそれがあるものとして指定した河川について、気象庁長官と共同して、洪水のおそれがあるときは水位又は流量を、はん濫した後においては水位若しくは流量又ははん濫により浸水する区域及びその水深を示して当該河川の状況を関係都道府県知事に通知するとともに、必要に応じ報道機関の協力を求めて、これを一般に周知させなければならない。

3 都道府県知事は、前二項の規定による通知を受けた場合においては、直ちに水防管理者及び量水標管理者に、その受けた通知に係る事項を通知しなければならない。  
（一部省略）

### （都道府県知事が行う洪水予報）

第11条 都道府県知事は、国土交通大臣が指定した河川以外の流域面積が大きい河川で洪水により相当な損害を生ずるおそれがあるものとして指定した河川について、気象庁長官と共同して、その状況を水位又は流量を示して直ちに水防管理者及び量水標管理者に通知するとともに、必要に応じ報道機関の協力を求めて、これを一般に周知させなければならない。

2 都道府県知事は、前項の規定による指定をしようとするときは、気象庁長官に協議するものとする。  
（一部省略）



# 名古屋地方気象台と運輸局との合同会見

令和5年8月



令和6年8月



合同会見の様子（会場+Web併用）



※中部地方整備局の  
YouTubeチャンネルで配信

<https://youtube.com/@user-mf1zm7hu9k?si=ytNWbQz8jq7WBZID>

タイミング	基準
台風接近等 4～3日前	4日前に本省庁合同会見（猛烈な台風の接近等、特別警報を発表する可能性がある場合）が開催され、中部地整管内でも特別警報発表の可能性や氾濫発生の可能性が予想される場合。（名古屋地方気象台と水災害予報センターで情報共有し実施の可否を確認）※1 ※1 開催が土日祝日のタイミングである場合は、その直前の平日の開催を検討する
台風上陸 2日前～当日	管内に特別警報発表の可能性のある猛烈な台風が接近するおそれがあり、注意喚起を促す必要がある場合。（名古屋地方気象台と水災害予報センターで情報共有し実施の可否を確認）※1
特別警報発表直後 （発表後1時間までに）	整備局管内に大雨特別警報が発表された場合
特別警報から警報 へ切替える直前	大雨特別警報が警報等に切替された後も、河川氾濫に関する情報が発表される、或いは発表が見込まれる国管理河川があると予測されるなどの条件を満たした場合 ※2 ※2 水害リスクラインで6時間予測を確認し、避難判断水位（警戒レベル3相当）以上の国管理河川があるかどうかを事務所、局、本省で確認して開催を決定
都度	合同会見実施後、再度大雨が予想され整備局管内に被害のおそれや、注意喚起を促す必要がある場合 ※1 <具体例> ・異常洪水時防災操作（緊急放流）の見通し（○時間前発表） （必要に応じて、水資源機構の参加要請を行う。）

# 1. 防災気象情報

# 2. 災害リスクの事前把握

# 3. 情報の入手方法



## 水害・土砂災害から 命をまもる3つのポイント

① 日頃から

② 大雨の時

③ 避難の時

日頃から

わが家は大丈夫?

大雨の時

川があふれそう…!?

避難の時

身近な人によびかけて!

「ハザードマップ」で  
災害リスクを確認!

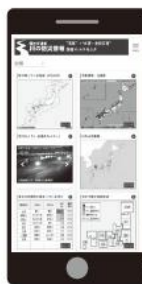
「川の防災情報」で  
川の状況をチェック!

「逃げなきゃコール」で  
家族の避難を後押し!



洪水や土砂災害、津波、  
道路防災情報など、水害  
のおそれがある場所を地  
図で表示します。

「ハザードマップポータルサイト」はこちら



今の雨量や、川の状況を確認でき  
るライブ映像、近くの川の水位など、  
命を守る情報を随時発信していま  
す。マルチモニターで、災害状況が一  
目瞭然です。

「川の防災情報」はこちら



離れた場所でも緊急速報メールを  
受け取ることができます。避難を呼  
びかけることが、大切な人を災害か  
ら守ることへとつながります。

「逃げなきゃコール」はこちら



## 【PC】

ハザードマップポータルサイト

身のまわりの災害リスクを調べる

使い方

よくある質問

利用規約/オープンデータ配信 ▼

---

**身のまわりの災害リスクを調べる**

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

**住所から探す** 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

**現在地から探す** 📍 現在地から探す

新機能（災害リスク情報のテキスト表示）について

**地図から探す**



地図を見る

**災害の種類から選ぶ**

  
洪水

  
土砂災害

  
高潮

  
津波

**地域のハザードマップを閲覧する**

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。



都道府県 ▼

市区町村 ▼

ハザードマップの種類 ▼

この内容で閲覧

## 【スマートフォン】

ハザードマップポータルサイト

使い方 よくある質問 利用規約ほか ▼

---

**身のまわりの災害リスクを調べる**

重ねるハザードマップ

**住所から探す**

住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

**現在地から探す** 📍 現在地から探す

新機能（災害リスク情報のテキスト表示）について

**地図から探す**



地図を見る

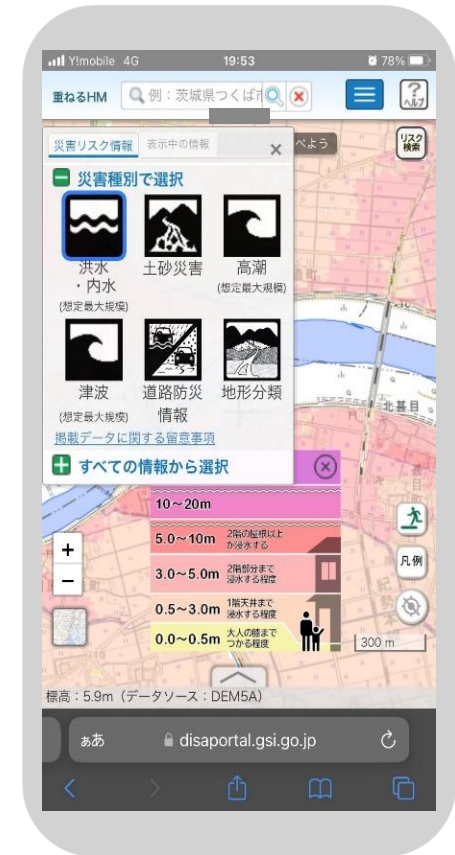
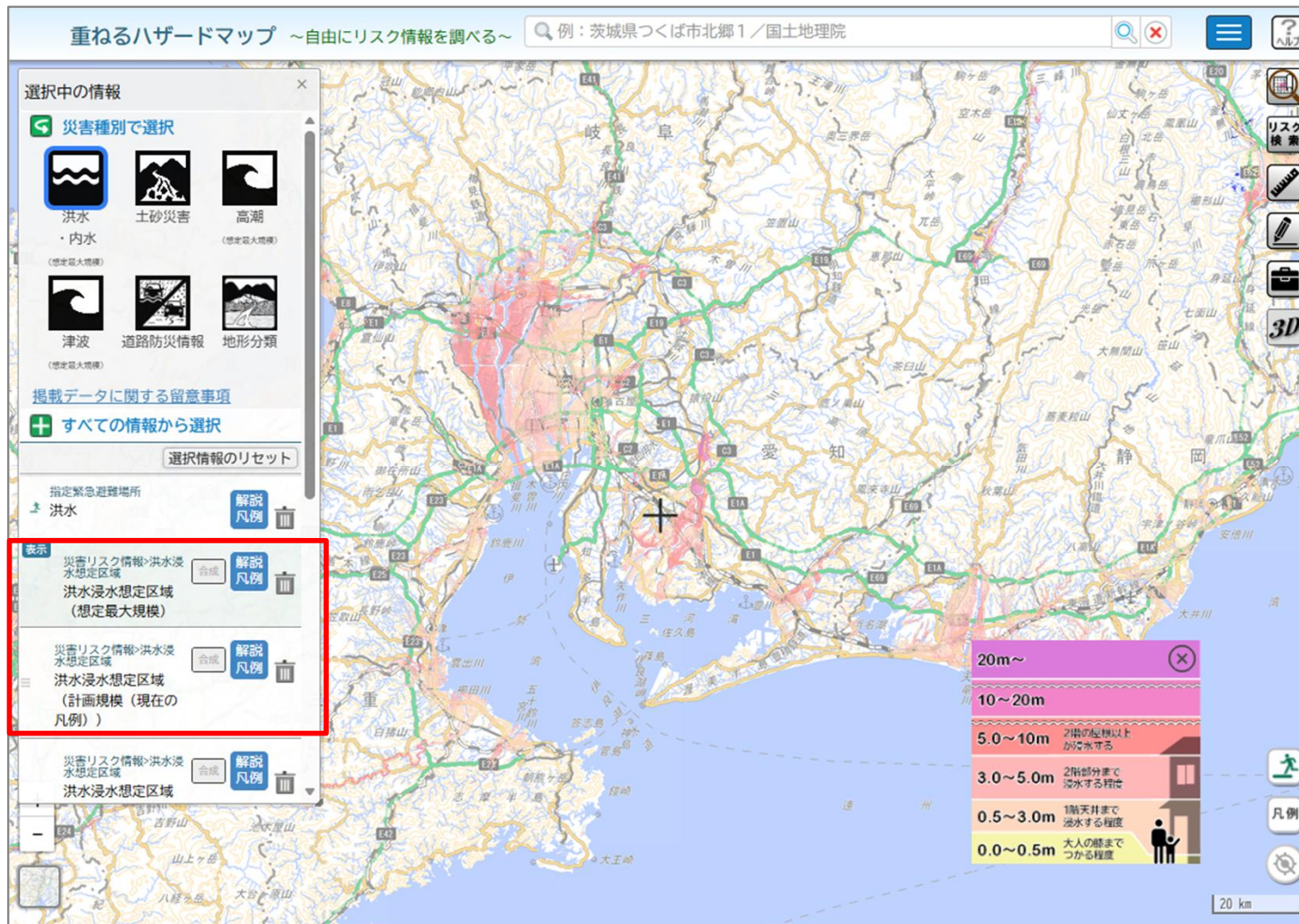
**災害の種類から選ぶ**

  
洪水

  
土砂災害

  
高潮

  
津波



計画規模(L1):大規模河川では100年~200年に1回程度発生する大雨(計画規模)  
=河川整備において基本となる降雨を前提とした規模

想定最大規模(L2):  
1,000年に1回程度発生する大雨(想定最大規模)を前提

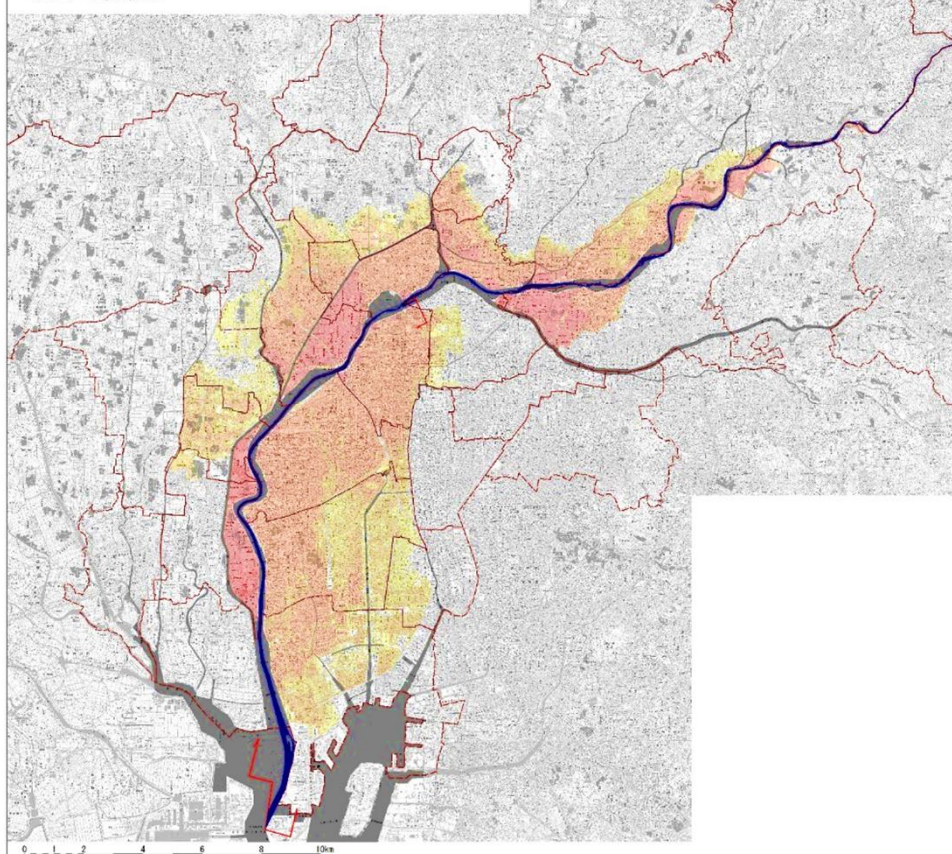
## ○洪水浸水想定区域図

想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、指定区域及び浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間を洪水浸水想定区域図として公表。

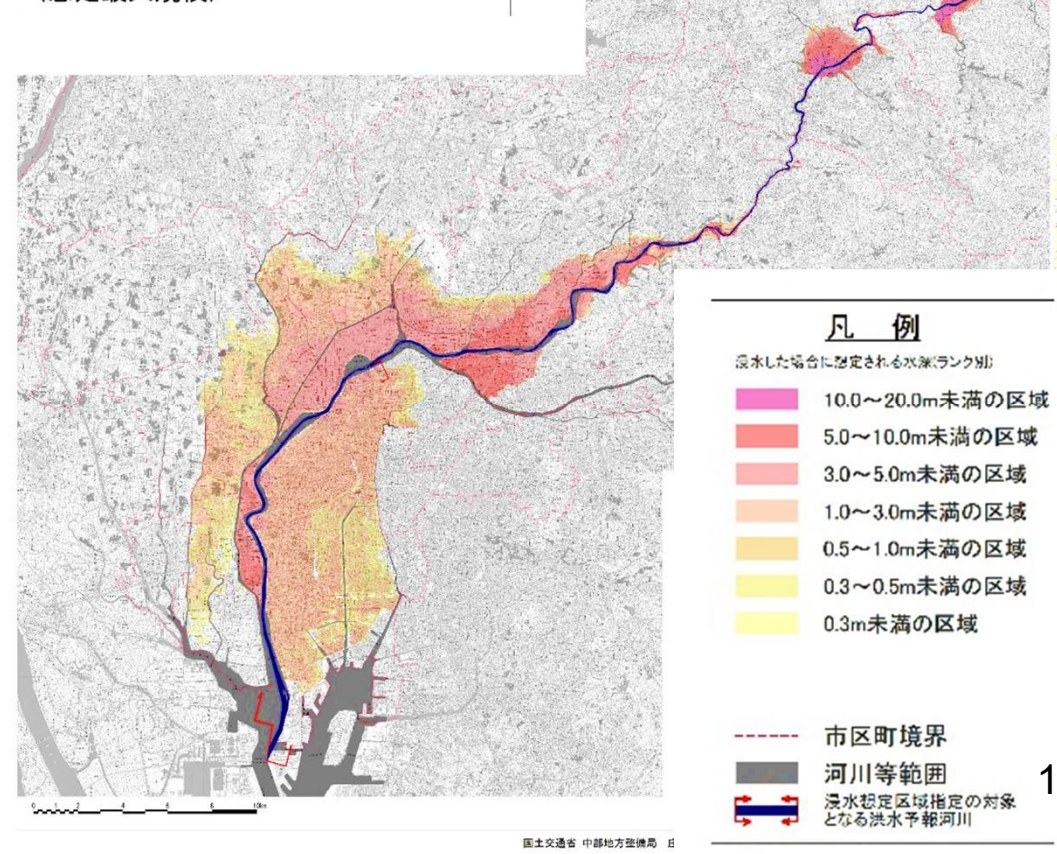
浸水想定区域図には想定最大降雨(L2規模)に合わせて、当該河川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨(L1規模)も作成、公表

(水防法第14条、水防法施行規則第1条から第3条)

庄内川水系庄内川 洪水浸水想定区域図  
(計画規模)



庄内川水系庄内川 洪水浸水想定区域図  
(想定最大規模)

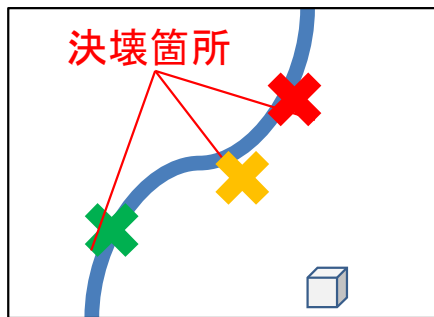


- 国又は都道府県は、洪水予報河川または水位周知河川について、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」に指定し、浸水が想定される区域、水深を示した洪水浸水想定区域図を公表
- 堤防はどの地点で決壊するか分からないことから、複数の堤防決壊地点を想定して氾濫計算を行い、各地点で決壊した場合の計算結果を重ねあわせて洪水浸水想定区域図を作成

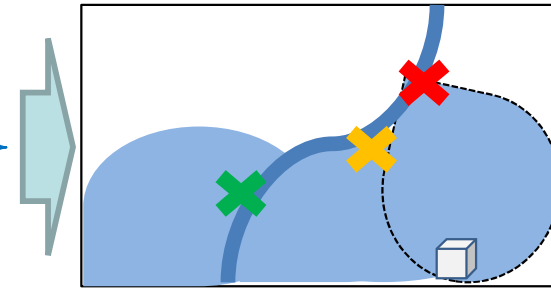
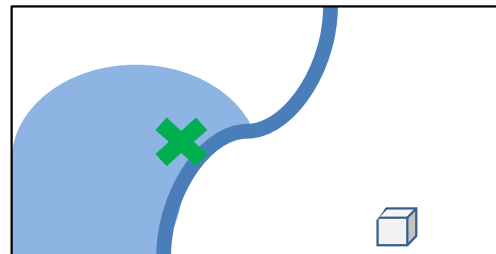
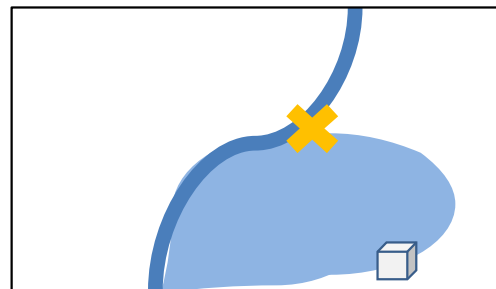
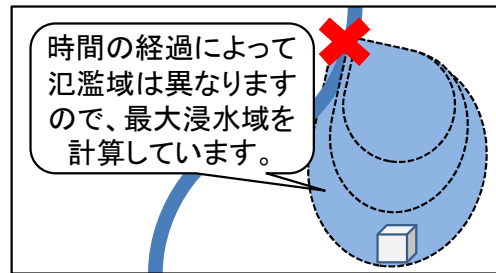
## 洪水浸水想定区域図の作成手順



想定し得る最大規模の降雨で計算

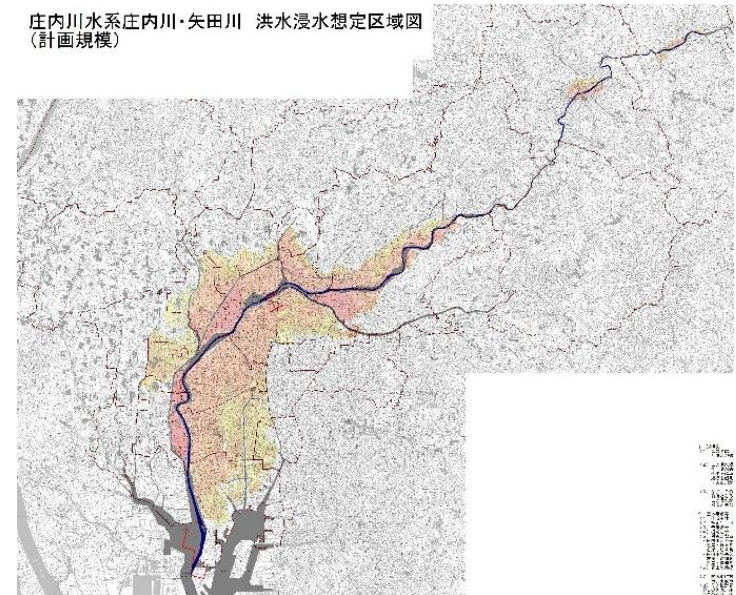


①複数の決壊箇所を想定します。



③浸水域を重ね合せます。

庄内川水系庄内川・矢田川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)



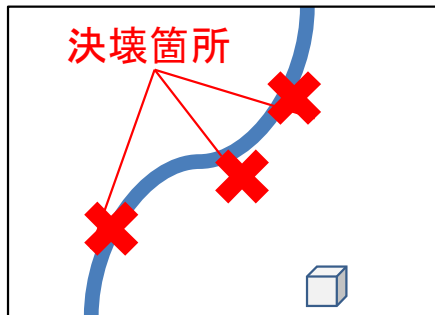
○国又は都道府県は、洪水予報河川または水位周知河川について、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」に指定し、浸水が想定される区域、水深を示した洪水浸水想定区域図を公表

○堤防はどの地点で決壊するか分からないことから、複数の堤防決壊地点を想定して氾濫計算を行い、各地点で決壊した場合の計算結果を重ねあわせて洪水浸水想定区域図を作成

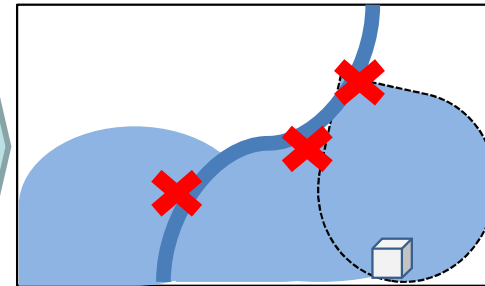
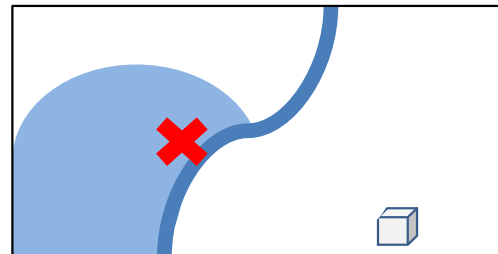
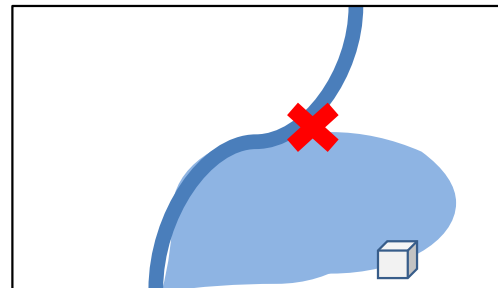
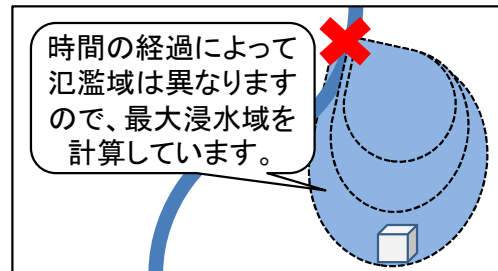
## 洪水浸水想定区域図の作成手順



想定し得る最大規模の降雨で計算



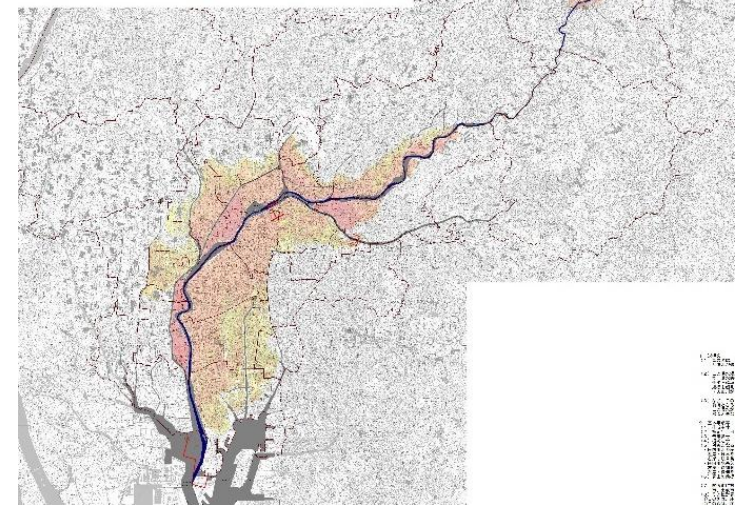
①複数の決壊箇所を想定します。



③浸水域を重ね合せます。



庄内川水系庄内川・矢田川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)



○浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間の最大値を図化したものが『継続時間図』です。

○浸水時には停電や上下水道等の機能停止が生じるため、長時間そのような環境で生活することは困難です。

浸水深と合わせて確認することで、垂直避難の可否や避難所の選定等に活用することが考えられます。

\* 緊急的な排水対策は考慮していない点に留意

\* 50cm : 避難が困難となる浸水深

## 凡 例

浸水深0.5m以上が継続する時間

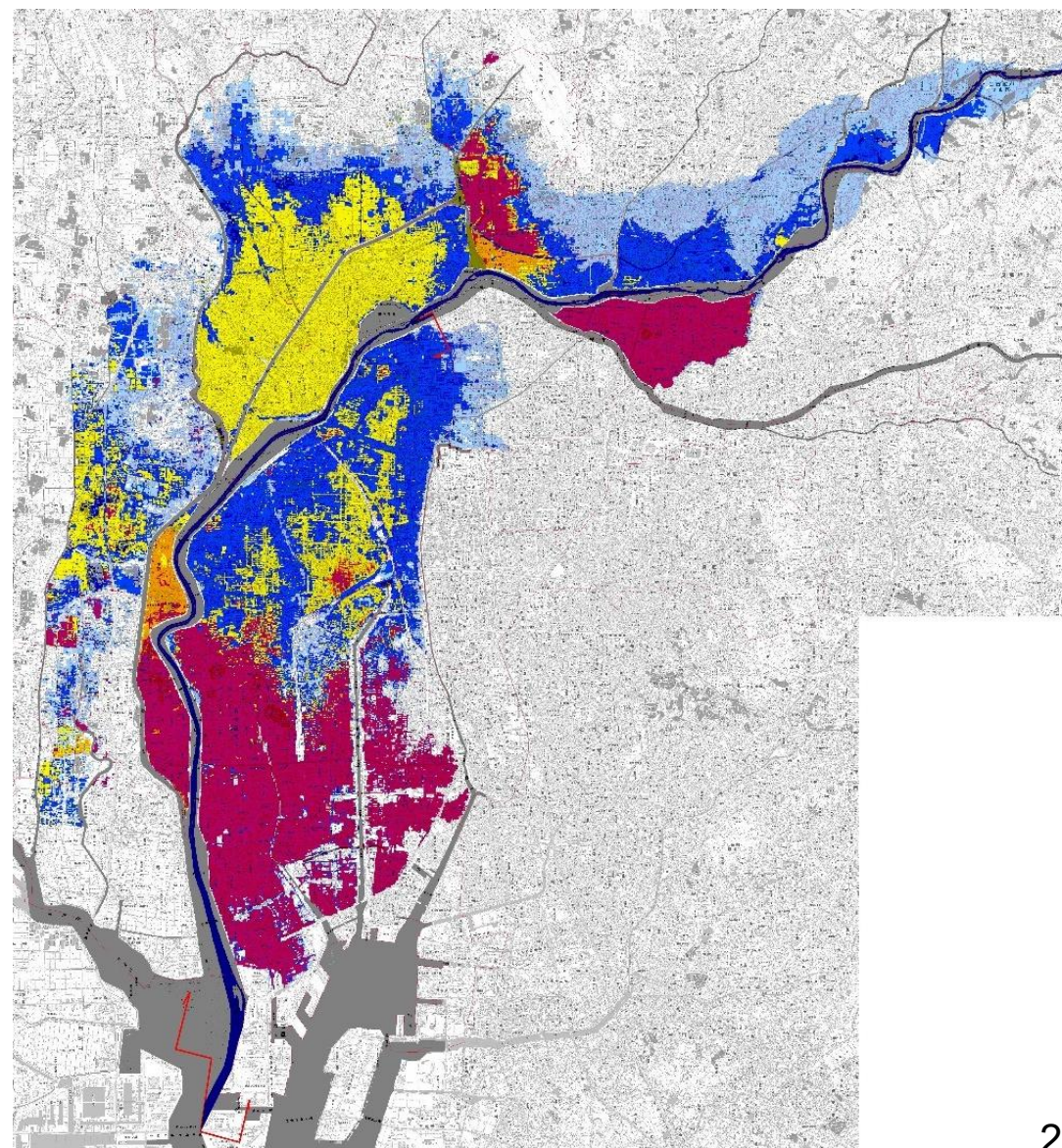
- 12 時間未満
- 12 時間 ~ 24時間(1日間) 未満
- 24 時間(1日間) ~ 72時間(3日間) 未満
- 72 時間(3日間) ~ 168時間(1週間) 未満
- 168時間(1週間) ~ 336時間(2週間) 未満
- 336時間(2週間) 以上

----- 市区町境界

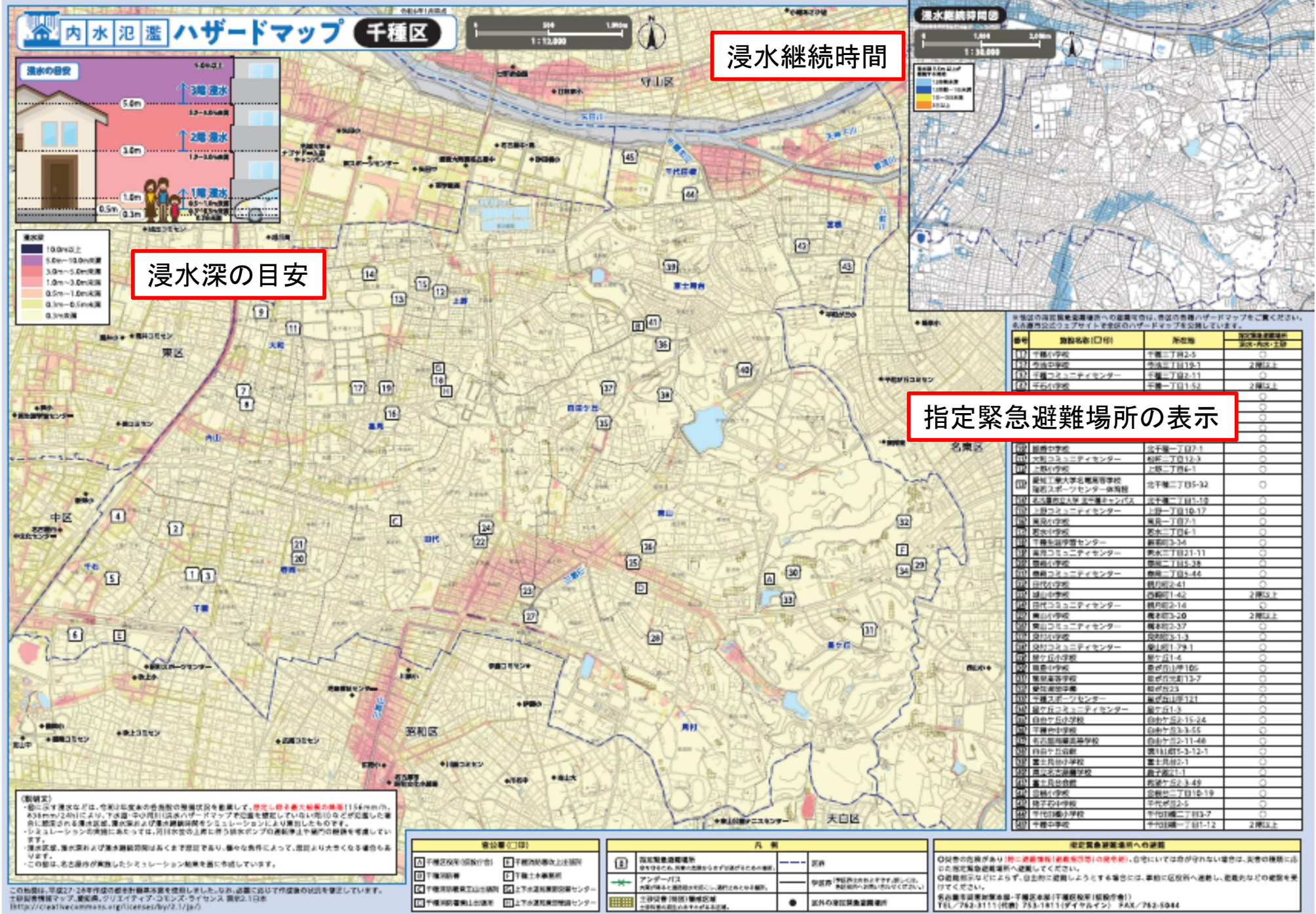
■ 河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

庄内川水系庄内川 洪水浸水想定区域図  
(浸水継続時間)



# <例> 内水氾濫ハザードマップ（名古屋市千種区）



- お住まいの地域や事業所、学校、通勤・通学経路などの浸水のおそれを知ることが、水害への事前の備えや安全確保の行動につながります。
- 洪水による浸水被害の軽減をめざし、「浸水ナビ」は浸水リスク情報の取得を強力にサポートします。



「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)は、浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。

#### 更新情報

令和2年5月25日 3D機能や浸水度が直感的に分かるCG機能を追加しました。

令和2年8月20日 浸水継続時間の凡例について、区分がわかりやすくなるように修正いたしました。今後、本サイトの浸水継続時間を表す凡例及び配色につきまして、「[洪水浸水想定区域図作成マニュアル\(第4版\) 2017.10.6](#)」に掲載されている凡例の区分に合わせ、変更する予定です。また、浸水継続時間が12時間未満のデータにつきましては、準備が出来次第、掲載する予定です。

## 浸水ナビからわかること

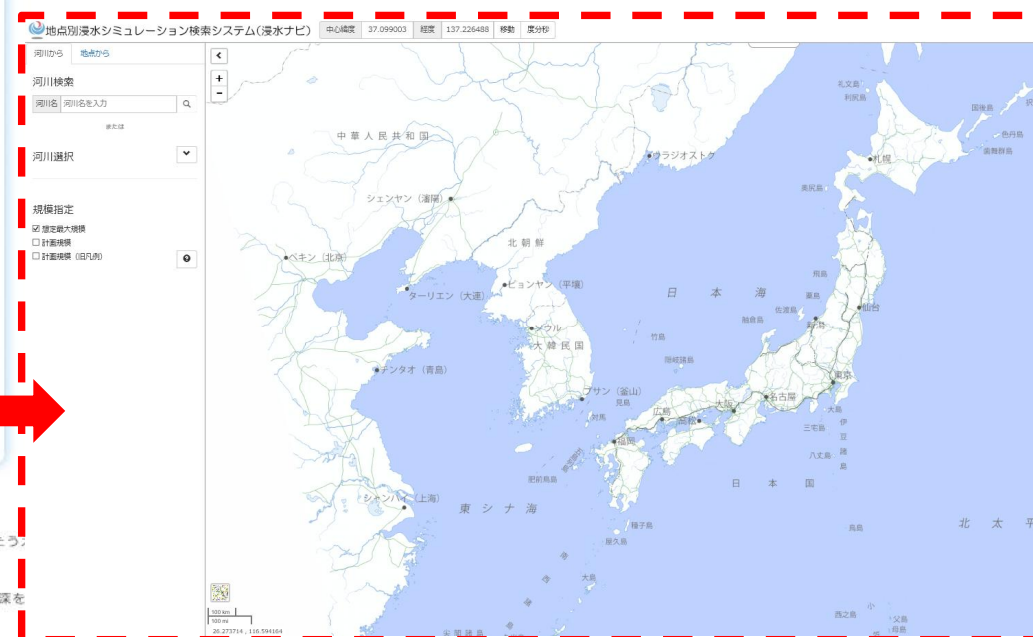
- ① 想定破堤点を知る
- ② 浸水想定を知る
- ③ 河川の水位情報を知る
- ④ 地形と浸水の関係を知る(3D表示)

### 「地点別浸水シミュレーション検索システム」

現在、浸水シミュレーションデータ収集中につき一部の地域のデータのみ検索可能です。  
今後、順次拡大していきます。現在検索可能な河川は [コチラをご覧ください。](#)



地点別浸水シミュレーション検索システム を見る



洪水時の被害を最小限にするためには、住民のみならず一人一人や企業などが平時より水害による被害のリスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所についての情報を知っていただくことが何より重要です。

国土交通省及び都道府県では、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域及びその区域が浸水した場合に想定される水深を水想定区域図として公表しています。

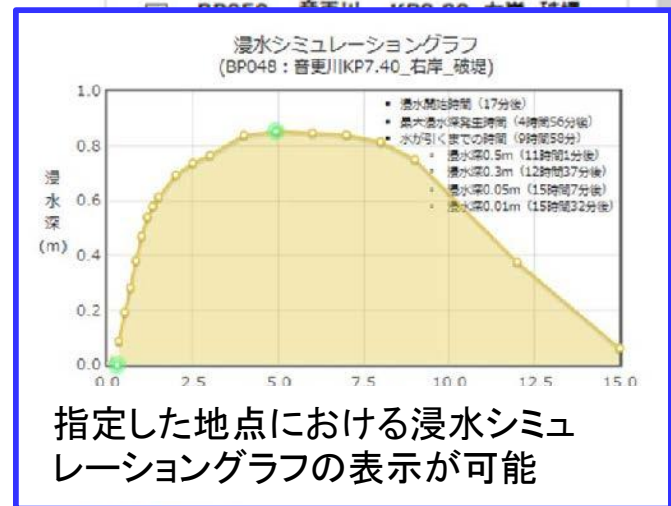
浸水ナビのパンフレット(pdf形式) [\(通常版、画面印刷用\)](#)

## < 検索システムの主な機能 >

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

中心緯度 43.004471 経度 143.212797 移動 度分秒

出水時に監視すべき、河川の水位情報(テレメータ水位)の表示が可能



指定した地点に浸水をもたらすと想定される堤防の決壊地点の検索が可能

選択した地点の堤防が決壊した場合の最大浸水領域・浸水深や浸水深の時間的変化アニメーションの表示が可能

浸水領域内の任意の場所の浸水ランクを表示可能

選択した地点

指定地点

凡例

地図記号	浸水ランク
● 破堤点	0.0m ~ 0.5m未満
● 最大浸水をもたらす破堤点	0.5m ~ 3.0m未満
● 選択破堤点	3.0m ~ 5.0m未満
● 水位観測所	5.0m ~ 10.0m未満
● 指定地点	10.0m ~ 20.0m未満
● 浸水想定範囲	20.0m以上
● 検索可能範囲	浸水ランク(旧式)
● 最大浸水領域	0.0m ~ 0.5m未満
	0.5m ~ 3.0m未満
	3.0m ~ 5.0m未満
	5.0m以上

○ハザードマップ(防災情報マップ、災害避難地図などともいう)は、一般的には自然災害による被害を予測し、その被害の範囲を地図化したものをいい、災害時の避難や防災学習、さらには土地利用の検討など幅広い活用がされており、様々なハザードマップが作成されている。

## <主なハザードマップの種類>

### 洪水ハザードマップ

河川が氾濫した時に想定される浸水域や浸水深、避難場所等を表示



### 内水ハザードマップ

下水道等の排水能力を超えた大雨の際に想定される浸水域や浸水深を表示



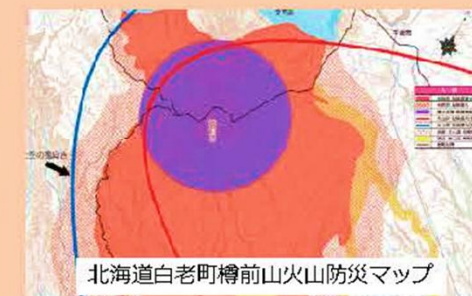
### 高潮ハザードマップ

台風等の影響により、海水が堤防を越えて浸水が想定される地域と浸水深を表示



### 火山ハザードマップ

火山噴火により噴石、火砕流、融雪型火山泥流等の影響が及ぶ範囲を表示



### 津波ハザードマップ

津波が陸上に押し寄せたときの浸水域や浸水深を表示



### 土砂災害ハザードマップ

土砂災害(急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり)の発生危険地域を表示



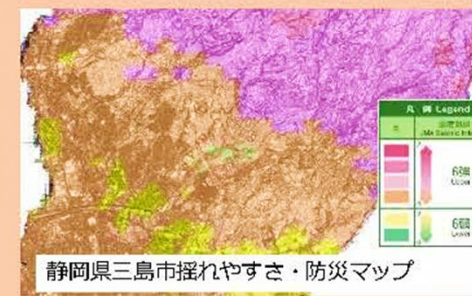
### ため池ハザードマップ

ため池が決壊した時に想定される浸水域や浸水深等を表示

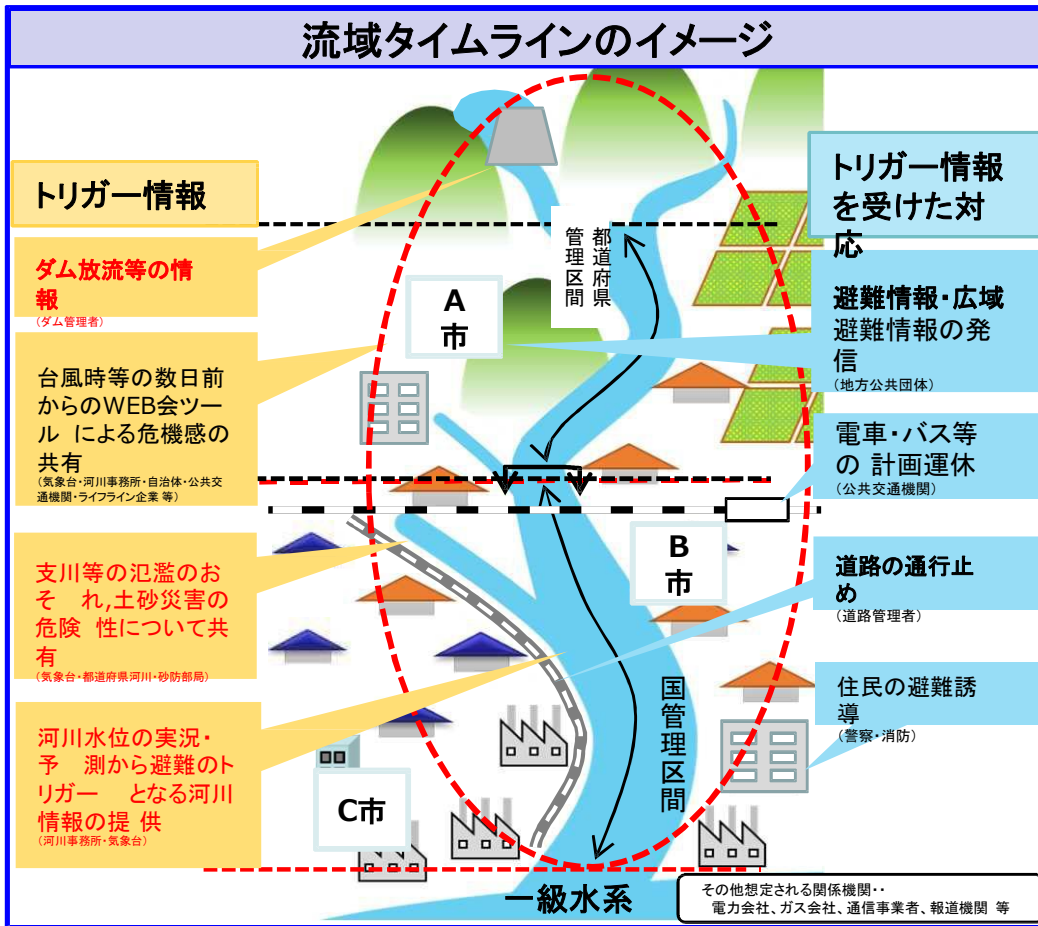


### 震度被害(ゆれやすさ)マップ

地震時の、震度などの揺れの大きさを表示

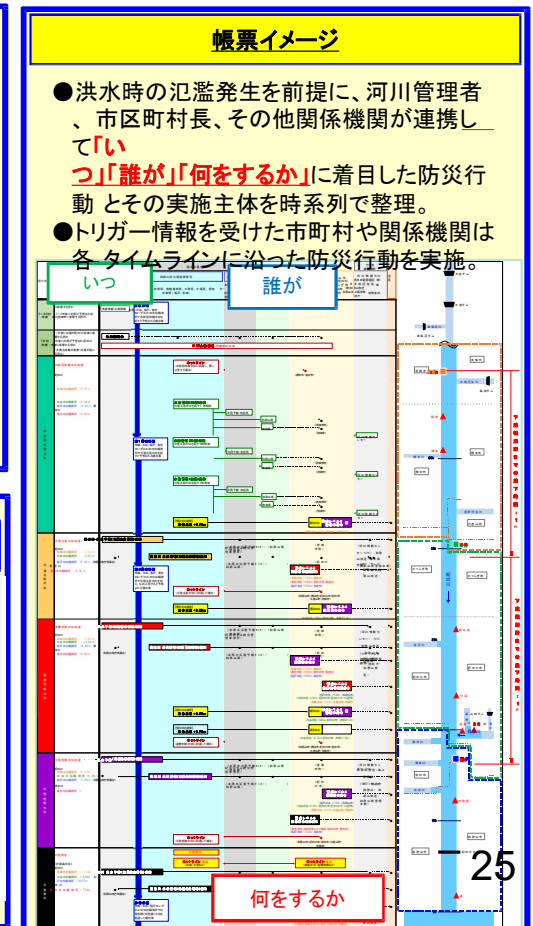
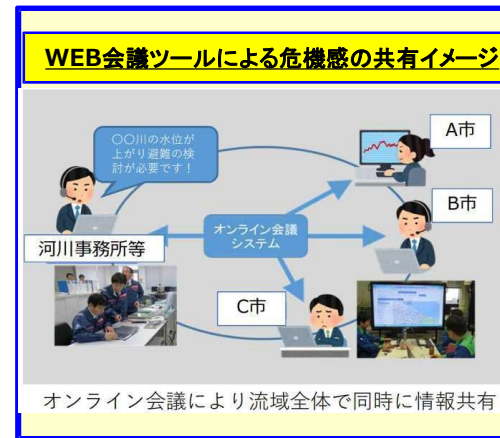


- 国土交通省防災業務計画（令和3年10月）により、「避難情報に着目した水害対応タイムラインを複数の市区町村等を対象とした流域タイムライン」の見直しに着手。
- 大規模災害を見据え、広域避難などにも対応するため、流域の都道府県や市区町村に加え、公共交通機関など多くの関係者が連携して作成。
- 国管理河川の流域では、概ねすべての水系で流域タイムラインを作成し、今後は、地域の状況に応じてさらに指定区間市町村や関係機関を拡大し、市区町村タイムラインなどとの相互連携を推進。



### 水害対応タイムラインと法定計画との関係

領域	法定計画等 (作成主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災業務計画等 (地方整備局等、事務所等)	流域タイムライン
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	市区町村タイムライン
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人事業者等	避難確保計画 (要配慮者利用施設) 個別避難計画 (要配慮者)	マイ・タイムライン



# 1. 防災気象情報

# 2. 災害リスクの事前把握

# 3. 情報の入手方法

○河川の水位やカメラ映像等は「川の防災情報」で確認可能。  
堤防まで近づかなくても、家の中からリアルタイムで入手！  
(<https://www.river.go.jp/index>)

『川の防災情報』で検索



川の防災情報QR

## トップ画面

【PC】



【スマートフォン】



オススメ！  
地図とリンクした  
雨量・水位・カメラ情報を入手

## 水位状況でチェック!



## 水位の観測値でチェック!

国土交通省 川の防災情報 2026/04/28 09:45

岐阜県岐阜市

発表情報 観測所 登録地点 レーダー雨量 浸水想定 表示切替

良川(ながらがわ)

水位観測所情報

忠節 木曾川水系 長良川

最新観測値 2026/04/28 09:30

水位状況 横断面図 グラフ 観測値

日付	時刻	水位[m]	10分雨量[mm]	降り始めからの雨量[mm]
04/28	09:40	--	--	--
	09:30	-2.73 →	--	--
	09:20	-2.73 ↓	--	--
	09:10	-2.72 →	--	--
	09:00	-2.72 →	--	--
	08:50	-2.72 →	--	--
	08:40	-2.72 →	--	--

## 河川の状況もしっかり確認!



※10分ごとに更新される静止画

## 平常時との違いも確認!



※任意の平常時の様子

○表示される水位計マークの色にも注目してください。  
堤防まで近づかなくても、家の中からリアルタイムで入手できます！

## 水位上昇時の情報 / とるべき行動

新規



情報 洪水予報河川 水位周知河川	レベル2 氾濫注意報 氾濫注意情報	レベル3 氾濫警報 氾濫警戒情報	レベル4 氾濫危険警報 氾濫危険情報	レベル5 氾濫特別警報 氾濫発生情報
警戒 レベル	警戒レベル2	警戒レベル3 相当	警戒レベル4 相当	警戒レベル5 相当
基準	水防団が出動する 目安となる水位	今後氾濫するお それのある水位	いつ氾濫しても おかしくない水 位	氾濫の発生 氾濫による著し い危険が切迫
とるべき 行動	ハザードマップで 避難先/避難経路 確認	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保

○川の水位の状況に応じて、水位計マークの表示が変わります

例) 「水位上昇中」

その他の表示 「水位下降中」 「水位変化なし」

○地上デジタルテレビのデータ放送で河川情報(雨量・水位)を入手することができます。  
 ○NHK、民放含め全国放送局の協力により、全都道府県において提供されています。

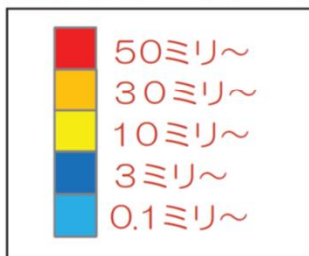
## NHKの放送例(画面はイメージ) <雨量情報>

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の場合

## <河川水位情報>



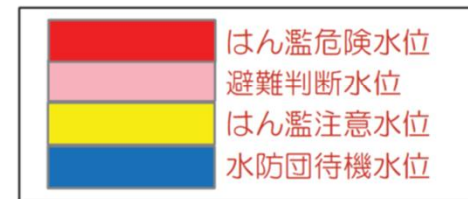
- 雨量観測所を地図上の円で位置を表示
- 雨量は強さに応じて5段階の色で表示



リモコンのdボタンでデータ放送画面を表示し、上下ボタンで画面の切り替え操作を行います。



- 基準水位を超えた観測所を表示
- ラベルの色は、水位レベルに応じて色分けして表示



- 過去時刻の水位に対しての増減の状況を矢印で表示

- リモコンの上下ボタンで、それぞれの基準水位を超えた観測所のリストの表示を切り替え可能

◇日頃から防災対策として役立つ情報を確認しましょう。  
 (https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/index.html)

言語
日本語 English 한국어 中文(简体) 中文(繁体) ไทย Tiếng Việt Português
色合い変更・音声読みあげ・ルビ振り
サイトマップ

**国土交通省**  
**防災ポータル**

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み
- 災害時、見てほしい情報
- 被害状況
- 気象状況
- 都道府県の情報
- 交通・物流情報
- ライフライン情報
- 安否情報
- 被災時支援情報
- 整備局・運輸局の情報

**防災ポータルとは？**  
本画像をクリック！  
(YouTubeへ移動します)

- はじめて防災ポータルを利用する方へ
- 利用経験はあるが使い方がわからない方へ

サイトの使い方をわかりやすく解説しています

**防災ポータルおすすめ情報**

ハザードマップポータルサイト

身のまわりの災害リスクを調べる (暮らしハザードマップ)

地域のハザードマップを閲覧する (むかしハザードマップ)

住所から探す 所在地から探す 地図から探す

**防災ポータルおすすめ情報**

身近な河川に関する「降雨」、「河川の水位」、「河川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

**川の防災情報**  
国土交通省

対応言語: 日本語, 英語  
災害種別: 風水害

● ● ● ● ●

カテゴリー一覧

日頃から知ってほしい防災情報がそろっています

身の守り方

災害の基礎知識や、災害時に身を守るための知識を見ることができます。

被害想定

起こりうる自然災害について、想定される被害状況やハザードマップ等を見ることができます。

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます。

私たちの取り組み

国土交通省等が取り組む災害対策などの情報を見ることができます。

災害時、見てほしい防災情報がそろっています

被害状況

リアルタイム情報や速報等により、災害発生後、いち早く被害の状況を見ることができます。

気象状況

台風などの気象情報のほか、国土交通省等による雨量や河川の水位などを見ることができます。

都道府県の情報

都道府県の防災ポータルのリンク集です。地域の防災・災害情報を見ることができます。

交通・物流情報

交通規制等の道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流会社の船運状況を見ることができます。

ライフライン情報

最新のライフライン状況(電気・水道・ガス・通信)を見ることができます。

安否情報

災害用伝言サービスや安否情報検索サービスから、知人の安否情報を見ることができます。

被災時支援情報

災害発生時に役立つ情報(医療機関、宿泊施設、無料Wi-Fi、外国人向け情報など)を見ることができます。

整備局・運輸局の情報

地方整備局・地方運輸局による地域の情報を見ることができます。

32



国土交通省 防災ポータル

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み

災害時、見てほしい情報

- 被害状況
- 気象状況
- 都道府県の情報
- 交通・物流情報
- ライフライン情報
- 安否情報
- 被災時支援情報
- 整備局・運輸局の情報

気象・警報・災害に関するリアルタイム情報

### 台風情報

現在台風情報は  
発表していません

### 地震情報

2026年05月22日01時36分発表  
震源・震度情報

地震の発生日時  
05月22日01時33分頃

最新の情報

< 前地震 > 次地震 >

### 津波

最近30日間に発表された大津波警報・津波警報・津波注意報・津波予報はありません。

最新の津波警報・津波注意報・津波予報

### 噴火警報・噴火速報

2026年05月22日11時10分発表

24時間以内に発表された噴火警報・予

### 気象警報・注意報

2026年05月22日11時30分発表

現在 予想 全国一覧

### キキクル(危険度分布)

キキクル 2026年5月22日11時20分

地図出典：地理院タイル (加工して利用) 等

### 雨雲の動き

雨雲の動き 2026年5月22日11時35分

線状降水帯(現在時刻の解析) なし  
線状降水帯(10~30分先の解析) なし

地図出典：地理院タイル (加工して利用)

### 今後の雪

積雪の深さ 2026年5月22日11時  
アメダス 11時00分

地図出典：地理院タイル (加工して利用)  
© Japan Meteorological Agency 2019

◇日頃から防災対策として役立つ情報を入手しましょう。

国土交通省 防災ポータル

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み
- 災害時、見てほしい情報
- 被害状況
- 気象状況
- 都道府県の情報
- 交通・物流情報

身の守り方

災害の基本知識や、災害時に身を守るための知識を見ることができます。

災害種別、地区区分で絞り込み  
※「災害種別」・「地区区分」の組合せでの絞り込みには対応していませんのでご注意ください。

北海道 東北 関東 北陸 中部  
近畿 中国 四国 九州

もどに戻す

災害基礎知識 避難への備え 防災教育 外国人向け情報

災害基礎知識

① 防災の手引き〜いのちとくらしをまもるために〜  
首相官邸 | 災害が発生した場合のリスクや身の守り方についてわかりやすく提供

② 家庭備蓄ポータル  
農林水産省 | 災害時に備えた食品の家庭備蓄への取り組みガイドや、要配慮者等に向けた家庭備蓄など様々な家庭備蓄に関する情報を集約して提供

③ 自然災害の脅威  
国土交通省 | 自然災害の被害想定や過去の被災写真を公開

④ 防災用語ウェブサイト (水害・土砂災害)  
国土交通省 | 国や自治体等が発表する水害・土砂災害に関する情報や、報道発表資料、記者会見などで用いられる用語を掲載

⑤ タイムライン  
国土交通省 | 水害時に、国、地方公共団体、企業、住民等が実施した対応を行うための防災行動計画の作成について紹介

⑥ 知識・解説  
気象庁 | 気象庁が公開している気象や自然災害の解説ページ

⑦ 津波防災特設サイト  
内閣府 | 津波防災に関するイベントやニュース、映像資料を紹介。

⑧ 火山防災ポータルサイト  
内閣府 | 火山に関する防災情報や防災対策・対応の態、観測情報や防災教育などのコンテンツをリンクとして集約して紹介

⑨ 災害から身を守ろう〜今、あなたに知ってほしいコンテンツをそろえました〜  
気象庁 | 自然災害等への防災に関するビデオ映像のリンク集

⑩ 自然災害伝承碑  
国土交通省 | 地図上で全国の自然災害伝承碑を確認することができ、過去の自然災害の教訓を学ぶことができる

⑪ 一般市民向け応急手当WEB講習  
消防庁 | 一般市民向けの救命講習動画を提供し、心動蘇生・AEDの活用などの応急手当を学ぶことができる

⑫ 防災ボランティア関係情報  
内閣府 | 全国各地の防災ボランティア活動に関する情報を提供

◇事前防災として準備しましょう。

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html>)

The screenshot shows the homepage of the 'Disaster Preparedness Guide' website. At the top, it says '防災の手引き' and '～いのちとくらしをまもるために～'. Below this is a paragraph about the importance of disaster preparedness. The main content is divided into two sections: '事前防災でいのちを守ろう' (Protect lives with disaster preparedness) and 'さまざまな災害を知ろう' (Learn about various disasters). The first section has three sub-sections: '災害が起きる前にできること' (What you can do before a disaster), '防災気象情報と警戒レベル' (Disaster weather information and alert levels), and '避難はいつ・どこに?' (When and where to evacuate?). The second section has seven sub-sections: '地震' (Earthquake), '津波' (Tsunami), '火山' (Volcano), '大雨・台風' (Heavy rain/Typhoon), '土砂災害' (Landslide), '竜巻' (Tornado), and '雪害' (Snow damage).

This detail view shows the '事前防災でいのちを守ろう 災害が起きる前にできること' section. It features a header with an illustration of a family and the text '事前防災でいのちを守ろう 災害が起きる前にできること'. Below the header are social media sharing buttons for 'ポスト', 'シェアする', and 'LINEで送る'. A 'トピックス' (Topics) section lists several key points: '家具の置き方、工夫していますか?' (How do you store furniture, are you creative?), '食料・飲料などの備蓄、十分ですか?' (Are you well-stocked with food and drinks, is it enough?), '非常用持ち出しバッグの準備、できていますか?' (Are you prepared with an emergency kit, is it ready?), 'ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか?' (Have you decided on a family check-in method, is it decided?), '避難場所や避難経路、確認していますか?' (Have you checked evacuation locations and routes, are you checking?), and '関連お役立ちサイト' (Related helpful sites).

This detail view shows the '事前防災でいのちを守ろう 防災気象情報と警戒レベル' section. It features a header with an illustration of a family and the text '事前防災でいのちを守ろう 防災気象情報と警戒レベル'. Below the header are social media sharing buttons for 'ポスト', 'シェアする', and 'LINEで送る'. A 'トピックス' (Topics) section lists two key points: '防災気象情報とは' (What is disaster weather information) and '警戒レベルとは' (What is the alert level), with a sub-point 'どの警戒レベルでどう行動すればいいの?' (Which alert level should I act on?).

## ◇地元の防災情報を確認

国土交通省  
**防災ポータル**

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方 +
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み +
- 災害時、見てほしい情報
- 被害状況 +
- 気象状況
- 都道府県の情報
- 交通・物流情報 +
- ライフライン情報 +
- 安否情報
- 被災時支援情報 +
- 整備局・運輸局の情報+

ホーム > 災害時、見てほしい情報 [都道府県の情報]

### 都道府県の情報

都道府県の防災ポータルのリンク集です。地域の防災・災害情報を見ることができます。

**災害種別、地方区分で絞り込み**  
※「災害種別」・「地方区分」の組合せでの絞り込みには対応していませんのでご注意ください。

地震・津波災害

風水害

火山災害

雪害

その他

北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州
-----	----	----	----	----	----	----	----	----

[もとに戻る](#)

①やまなし防災ポータル

山梨県 | 緊急時の避難情報から日頃から知っておきたい防災知識まで、山梨県の災害に関する情報を集約して提供

日本語	English
한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ภาษาไทย
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	四国	九州

①長野県防災情報ポータル

長野県 | 緊急時の避難情報から日頃から知っておきたい防災知識まで、長野県の災害に関する情報を集約して提供

日本語	English
한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ภาษาไทย
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	四国	九州

①岐阜県総合防災ポータル

岐阜県 | 緊急時の避難情報から日頃から知っておきたい防災知識まで、岐阜県の災害に関する情報を集約して提供

日本語	English
한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ภาษาไทย
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	四国	九州

①静岡県 防災ポータル

静岡県 | 緊急時の避難情報から日頃から知っておきたい防災知識まで、静岡県の災害に関する情報を集約して提供

日本語	English
한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ภาษาไทย
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	四国	九州

①愛知県防災Web

愛知県 | 緊急時の避難情報から日頃から知っておきたい防災知識まで、愛知県の災害に関する情報を集約して提供

日本語	English
한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ภาษาไทย
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	四国	九州

## ◇交通・物流(道路、鉄道、航空、船、バス、物流、給油)情報を確認

国土交通省 防災ポータル

ホーム > 災害種別、見てほしい情報 [交通・物流情報]

言語: 日本語, English, 한국어, 中文(简体), 中文(繁体), ไทย, Tiếng Việt, Português

色合い変更・音声読みあげ・ルビ振り | サイトマップ

### 交通・物流情報

交通規制等の道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流会社の配送状況を見ることができます。

#### 災害種別、地方区分で絞り込み

※「災害種別」・「地方区分」の組合せでの絞り込みには対応していませんのでご注意ください。

地震・建造物災害	風水害	火山災害	雪害	その他
北海道	東北	関東	北陸	中部
近畿	中国	四国	九州	

もとに戻る

#### 道路

◎日本道路交通情報センター  
(公財) 日本道路交通情報センター | 高速道路、一般道の通行止めや渋滞などの交通情報を提供

◎災害時における通行可否の情報(避れるマップ)  
国土交通省 | 災害時における通行止めの箇所と通行可能な道路の情報を提供

◎道路情報提供システム  
国土交通省 | 道路に関する規制情報や気象情報、路面情報を提供

◎各地方整備局の取組 全国のライブカメラ  
国土交通省 | 地方整備局が提供する道路のライブカメラのリンク集

◎道路防災情報  
国土交通省 | 道路に関する災害復旧情報や、国土交通省による道路防災に関する取り組みについて紹介

◎おしえて!雪ナビ  
国土交通省北陸地方整備局 | 整備局のライブカメラ画像やX情報など、各地域の雪みち情報を提供

#### 鉄道・航空・船・バス

◎鉄道運行情報  
NHK | 全国の鉄道の運行情報を提供

◎鉄道各社の状況  
国土交通省 | JR・私鉄各社の列車運行情報へのリンク集

◎空港航空各社の状況  
国土交通省 | 空港・航空各社の運航情報へのリンク集

◎旅客船事業者の状況  
国土交通省 | 旅客船、フェリー事業者の運航情報へのリンク集

◎バス検索  
(公社) 日本バス協会 | 全国のバス会社の情報を提供

## ◇ライフライン情報(電気、ガス、水道、通信)を確認

国土交通省  
**防災ポータル**

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方 +
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み +
- 災害時、見てほしい情報
- 被害状況 +
- 気象状況
- 都道府県の情報
- ライフライン情報 +
- 安全情報
- 被災時支援情報 +
- 整備局・運輸局の情報

ホーム > 災害時、見てほしい情報 【ライフライン情報】

### ライフライン情報

最新のライフライン状況(電気・水道・ガス・通信)を見ることができます。

**災害種別、地方区分で絞り込み**  
※「災害種別」・「地方区分」の組合せでの絞り込みには対応していませんのでご注意ください。

地震・津波災害

風水害

火山災害

雪害

その他

北海道

東北

関東

北陸

中部

近畿

中国

四国

九州

もとに戻す

電気

ガス・水道

通信

### 電気

**◎ 停電情報 (東京電力パワーグリッド)**  
東京電力パワーグリッド(株) | 東京管内で発生している停電情報のお知らせ

**◎ 停電情報 (北陸電力送配電)**  
北陸電力送配電(株) | 北陸管内で発生している停電情報のお知らせ

**◎ 停電情報 (中部電力パワーグリッド)**  
中部電力パワーグリッド(株) | 中部管内で発生している停電情報のお知らせ

**◎ 停電情報 (関西電力送配電)**  
関西電力送配電(株) | 関西管内で発生している停電情報のお知らせ

### ガス・水道

38

◇災害時伝言サービスや安否情報サービスを利用しましょう。

国土交通省  
**防災ポータル**

日頃から知ってほしい情報

- 身の守り方 +
- 被害想定
- 路線情報
- 私たちの取り組み +
- 災害時、見てほしい情報
- 被害状況 +
- 気象状況
- 都道府県の情報
- 交通・物流情報 +
- ライフライン情報 +
- 安否情報
- 被災地支援情報 +
- 整備局・運輸局の情報

ホーム > 災害時、見てほしい情報【安否情報】

**安否情報**

災害用伝言サービスや安否情報検索サービスから、知人の安否情報を見ることができます。

**災害種別、地方区分で絞り込み**

※「災害種別」・「地方区分」の組合せでの絞り込みには対応していませんのでご注意ください。

地震・建設災害

風水害

火山災害

雹害

その他

北海道	東北	関東	北陸	中部
近畿	中国	四国	九州	

[もとに戻す](#)

**①災害用伝言サービス**

総務省 | 災害発生時の安否確認のための災害用伝言サービスに関するお知らせ

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

**②災害時伝言板**

NTTドコモ『NTT docomo』 | NTTDoCoMoの災害伝言板、災害への備え・対策を紹介

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

**③災害用伝言板サービス**

KDDI『au』 | KDDI (au) の災害伝言板の紹介

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

**④災害時伝言板**

ソフトバンク『SoftBank』 | Softbankの災害伝言板、災害への備え・対策を紹介

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

**⑤NTT西日本の災害の備え・対策サイト**

NTT西日本 | NTT西日本の災害伝言板、災害への備え・対策を紹介

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

**⑥駐日外国公館リスト**

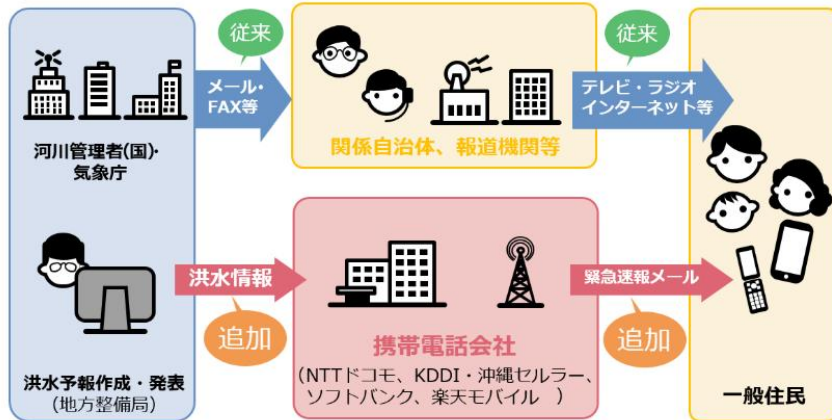
外務省 | 駐日外国公館の住所・電話番号を掲載

日本語 English

한국어	中文(簡体)
中文(繁体)	ສາສະໂນາ
Tiếng Việt	Português

北海道	東北	関東
北陸	中部	近畿
中国	西国	九州

国土交通省では、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、携帯電話事業者が提供する緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を、平成28年9月から運用開始、平成30年5月より**国管理河川の全109水系で運用を開始しています。**

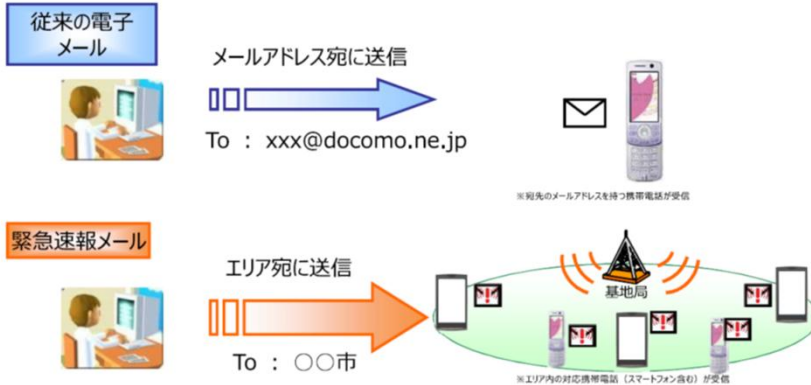


配信される洪水情報の内容は・・・？

- ・河川氾濫のおそれ（対象河川の水位が氾濫危険水位に到達した）
- ・河川氾濫が発生（河川の水が、堤防を越えて流れ出ている堤防が壊れ大量に溢れ出している）

## 緊急速報メールとは

メールの宛先がエリア（具体的には市区町村単位）となり、指定されたエリア内の対応携帯電話に一齐に着信するサービスです。



事前のメールアドレス登録が不要のため、このエリアへの通勤者や旅行者にも着信します。

緊急速報メールの着信音は、携帯電話事業者間で共通化しています。



○「逃げなきゃコール」は、離れた場所に暮らす高齢者等の家族の防災情報を、家族がスマートフォンアプリ等によりプッシュ型で入手し、直接家族に電話をかけて避難を呼びかける取組。

## 逃げなきゃコール

あなたの一声で避難を後押し

**STEP 1 特設ページへアクセス**

おはあちゃんに住んでいる地域の災害情報を受け取れるようにしておこう

または **逃げなきゃコール** 検索

**STEP 2 アプリ・サービスをインストール**

各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報が通知されます。

平常時

---

**緊急時**

おはあちゃん、大雨で洪水になりそうだから早く避難して！

もしかもし？

通知が来てる！すぐにおはあちゃんに電話しなきゃ！

8:00

警戒レベル3 高齢者等避難

わかったわ！すぐに避難するわね

---

★あなたの「逃げて！」で避難を促しましょう

今、避難所に着いたわよ！ありがとう！

避難所

わかったわ！すぐに避難するわね

**逃げなきゃコール** 大切な人が暮らす市区町村の防災情報をアプリで入手し直接電話で避難を呼びかける取り組みです。

① アプリ・サービスの登録 → ② 災害情報の通知 → ③ **逃げなきゃコール**

災害発生時、大切な人のためにあなたができること

## 逃げなきゃコール

**STEP 1 特設ページへアクセス**

または **逃げなきゃコール** 検索

平常時

---

**STEP 2 アプリ・サービスをインストール**

各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報が通知されます。

水防関係の情報収集について、  
まずは、ご家族など身近な方から  
「命を守る行動に必要な情報収集」  
について広めてください。

# 運輸防災マネジメントについて

令和8年6月4日

中部運輸局 総務部 運輸防災調整官

VERSION	DATE	REMARKS
Ver1.0	01/05/2026	

# 目次

1. 自然災害の発生と被害状況
  - ✓ 自然災害の頻発化・激甚化
  - ✓ 被災経験事業者の課題認識と対応事例
2. 運輸防災マネジメントのポイント
  - ✓ 経営トップの責務
  - ✓ 安全方針と防災の基本方針
  - ✓ リスク評価
  - ✓ 事前の備え
  - ✓ 関係者との連携
3. その他のポイント
  - ✓ 他事例からの学び
  - ✓ 参考情報

1. 自然災害の発生と被害状況
  - ✓ 自然災害の頻発化・激甚化
  - ✓ 被災経験事業者の課題認識と対応事例
2. 運輸防災マネジメントのポイント
  - ✓ 経営トップの責務
  - ✓ 安全方針と防災の基本方針
  - ✓ リスク評価
  - ✓ 事前の備え
  - ✓ 関係者との連携
3. その他のポイント
  - ✓ 他事例からの学び
  - ✓ 参考情報

運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン 令和5年6月

検索



# 自然災害の頻発化・激甚化

## 1. 自然災害の頻発化・激甚化

近年、自然災害が頻発化・激甚化している。

### ① 地震

平成23年3月：東日本大震災、平成28年4月：熊本地震、平成30年6月：大阪府北部地震、平成30年9月：北海道胆振東部地震、令和4年3月：福島県沖地震、令和6年1月：能登半島地震、令和6年4月：豊後水道地震、令和6年8月：日向灘地震、令和7年7月：トカラ列島地震、令和7年12月：青森県東方沖地震といった震度6弱以上の地震が相次いで発生

### ② 風水害

平成30年7月の西日本豪雨、平成30年9月の台風21号、令和元年9月の房総半島台風（台風15号）、令和元年10月の東日本台風（台風19号）が、毎年のように発生して各地に甚大な被害

### ③ 洪水発生確率の上昇

地球温暖化により、気温上昇が最大のシナリオでは、今世紀末の洪水発生確率は1951年～2011年の平均と比較し約4倍と予測

### ④ 巨大災害

今後発生が予想される南海トラフ地震や首都直下地震といった巨大災害のリスクも懸念

# 自然災害の頻発化・激甚化

## ■平成30年7月豪雨（西日本等）

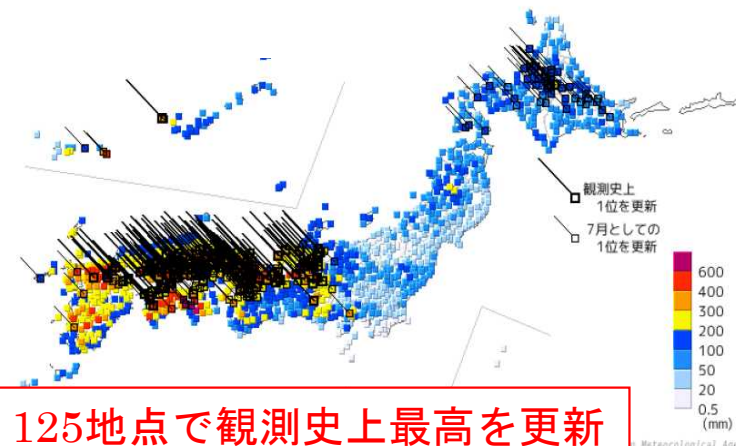
- ・全国125地点で48時間降水量が**観測史上最高**を更新
- ・西日本等で広域・同時多発的に河川氾濫、がけ崩れが発生

### ・**呉線崖崩れ被害で運休**

#### <被害状況>（11月1日時点）

死者：224名 行方不明者：8名

家屋：全半壊等21,121棟、浸水30,216棟



【2018年6月28日～7月8日における48時間降水量の最大値】

## ■台風第21号（平成30年9月）（大阪、神戸等）

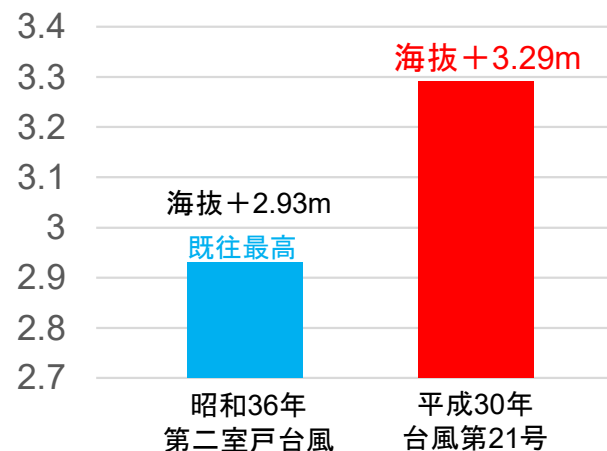
- ・台風の影響による高潮により、大阪湾では第二室戸台風（1961年）時を上回る**既往最高潮位**を記録

#### <被害状況>（11月1日時点）

死者：14名 家屋：全半壊等50,298棟、浸水571棟

**関西国際空港**：滑走路・ターミナル等の浸水、  
船舶の走錨による**連絡橋損傷**

神戸港：港湾機能の停止



【大阪市の最高潮位】

令和2年7月6日に「**運輸防災マネジメント指針**」を策定・公表し、「**運輸安全マネジメント制度**」を「**自然災害対応**」に活用

# 自然災害の頻発化・激甚化

■政府等が災害対策本部を設置するような自然災害は、毎年のように発生

年月日	災害	緊急災害対策本部		非常災害対策本部		特定災害対策本部	
		政府	国交省	政府	国交省	政府	国交省
H23. 3. 11	東日本大震災(震度7)	○	○				
//	//						
H28. 4. 14	平成28年(2016年)熊本地震(震度7弱)			○	○		
//	//						
H30. 6. 18	大阪府北部を震源とする地震(震度6弱)					○	○
H30. 7. 8	平成30年7月豪雨			○	○		
H30. 9. 6	平成30年北海道胆振東部地震(震度7)					○	○
H31. 2. 21	北海道胆振地方中東部を震源とする地震(震度6弱)						○
R1. 6. 18	山形県沖を震源とする地震(震度6強)					○	○
R1. 7. 3	6月下旬からの大雨					○	○
R1. 7. 22	梅雨前線に伴う大雨及び令和元年台風第5号					○	○
R1. 8. 14	令和元年台風第10号					○	○
R1. 8. 28	令和元年8月の前線に伴う大雨					○	○
R1. 10. 13	令和元年東日本台風			○	○		
R2. 7. 4	令和2年7月豪雨			○	○		
R2. 9. 4	令和2年台風第10号					○	○
R2. 10. 9	令和2年台風第14号					○	※2
R2. 12. 17	豪雪					○	※2
R2. 12. 30	豪雪					○	※2
R3. 1. 6	豪雪					○	※2
R3. 2. 13	福島県沖を震源とする地震(震度6強)					○	○
R3. 7. 3	令和3年7月1日からの大雨			○	○		
R3. 8. 13	令和3年8月の大雨					○	○
R3. 10. 7	千葉県北西部を震源とする地震(震度5強)						○
R4. 3. 16	福島県沖を震源とする地震(震度6強)						○
R4. 6. 19	石川県能登地方を震源とする地震(震度6弱)						○
R4. 7. 19	令和4年7月14日からの大雨						○
R4. 7. 24	桜島の噴火(レベル5)						○
R4. 9. 17	令和4年台風第14号					○	○
R4. 12. 17	令和4年12月17日からの大雪						○
R4. 12. 22	令和4年12月22日からの大雪						○
R4. 12. 28	年末年始の大雪						※2
R5. 5. 5	石川県能登地方を震源とする地震(震度6強)						○
R6. 1. 1	石川県能登地方を震源とする地震(震度7)			○	○		
R6. 4. 17	豊後水道を震源とする地震(震度6弱)						○
R6. 8. 8	宮崎県日向灘を震源とする地震(震度6弱)						○
R6. 8. 28	令和6年台風10号					○	○
R7. 7. 3	トカラ列島近海を震源とする地震(震度6弱)						○
R7. 12. 8	青森県東方沖を震源とする地震(震度6強)						○

※1 R3. 5. 20以前は関係関係会議、災害対策本部。 ※2 警戒体制、注意体制下で幹部連絡会議を開催。 5

# 被災経験から得られた課題と対応

## 1. 課題の顕在化

近年、運輸事業者は、従前の被害想定を上回る自然災害により、安全・安定輸送に関わる多くの課題が顕在化。

- ① バス車両が水没した事例①
- ② バス車両を避難させた事例②
- ③ 令和6年能登半島地震における旅客船事業者の対応事例③

## 2. 課題の内容

これらの近年の事例からは、ハード面の強化だけではなく、自然災害発生の前後でのソフト面の対応の重要性が明確になった。

# 被災経験から得られた課題と対応（事例①）

## 概要 2019年10月 台風第19号

### 福島交通株式会社(福島県郡山市)雨水管破裂

#### ◆ 営業所の状況

支社の建物1階部分が冠水、構内のタイヤやドラム缶等が付近一帯に散乱。

#### ◆ 車両の被害状況等

郡山市との協定に基づき、近隣の工場敷地等の浸水区域外に避難させたものの、全ての車両の避難が間に合わず、全車両数165両のうち92両が浸水被害。

#### ◆ 復旧状況

市内一般路線バスについては、発災後運休していたが、徐々に運行再開し、2020年4月1日から全面運行再開。 ➡ 復旧に費やした期間：6か月

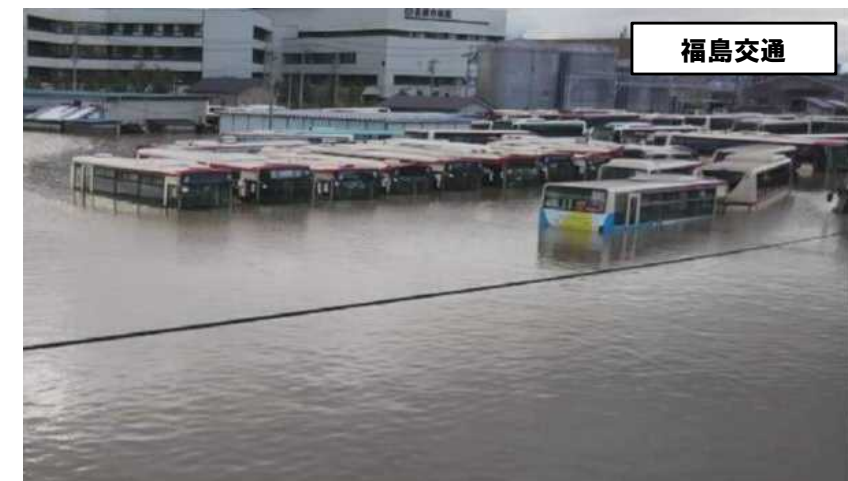


## 明らかになった課題

◆ 前回2011年9月の水害後に避難ルールを定め、対応していたが、水位が前回の水害の2倍となり、避難が間に合わなかった。

🔊 初動洪水警報システムの導入、避難判断基準の運用方針  
及びチェックリストの作成

◆ 平時での訓練の重要性 🔊 現在定期的に避難訓練実施



# 被災経験から得られた課題と対応（事例②）

## 概要

2019年10月 台風19号

長電バス株式会社(長野市)千曲川左岸堤防決壊(10/13(日)発生)

- ◆ 本社及び長野営業所の状況  
車庫敷地が車両出入口側より冠水。  
地区停電発生で営業所施設の電源喪失。
- ◆ 営業所所属車両の状況  
須坂駅前駐車場に28両、  
協力を得られた長野運輸支局に72両の  
全100両を浸水区域外に避難。

冠水し始めた車庫  
より避難する車両



- ◆ 復旧状況  
発災後の翌日(10/14)より一部の路線バス運行を再開、  
翌々日(10/15)から全面運行再開。 → 復旧に費やした期間: **2日間**
- ◆ 事前の避難計画が未策定であったが、過去の千曲川右岸地区の営業所水没事案を  
伝承していた管理層による速やかな初動開始。車両避難先・自家発電装置の急遽  
協力による確保により、被害を最小化し早期に運行を再開。

## 明らかになった課題

- ◆ 事業継続計画・浸水被害時の避難ルールの策定の必要性
  - ☞ 初動対応できたが人と運に恵まれただけと整理。
  - ☞ 備えの必要性を痛感、BCP作成、車両避難先の検討中。
- ◆ 避難訓練・被災経験伝承の実施

急遽の協力を得られた  
長野運輸支局での避難状況



# 福島交通の被災経験・教訓を踏まえた見直し・改善

①避難判断基準の運用方針、②洪水警報システム及び③チェックリストの作成について

留意点

## 判断

- ✓ 各営業所別に降雨量予測に基づき基準値を決める
- ✓ できるだけ余裕をもった避難判断
- ✓ 深夜時間帯の避難は避ける

## 避難

- ✓ 十分な避難場所の確保
- ✓ 所要時間は約3時間
- ✓ 翌日以降の運行を念頭に置いた避難準備
- ✓ 適切な情報発信
- ✓ 毎年避難訓練を実施

## 再開

- ✓ 道路状況等の安全確認
- ✓ 社員の安否確認
- ✓ スピーディな運行再開
- ✓ 適切な情報発信

対応策

### ①避難判断基準の決定

例 郡山支社の場合  
基準雨量：150mm/24h  
継続時間：3時間連続以上

### ②洪水警報システムの構築

- ①150mm以上/24hで警報
- ②3時間連続で避難判断

### ③簡潔なチェックリストの作成

「避難」⇒「再開」のフェーズにおいて、1.お客様、2.運行管理、3.事務所、4.整備、5.避難先の対応においてやること(To do list)を整理したチェックリストを策定し、「適切・的確な避難開始から完了」⇒「運行再開」の実施を図っている。

責任者の携帯電話へプッシュ通知

出典：福島交通(株)の資料を基に作成

# 被災経験から得られた課題と対応（事例③）

**概要** 能登半島地震(2024年1月1日16時10分発生)

## 佐渡汽船グループ

### ◆発生時の対応(新潟市、佐渡市、上越市 震度5強)

- ・カーフェリー(CF)2隻、ジェットフォイル(JF)2隻が運航  
各船の船長判断と運航管理者の指示で沖合いに避難及び待機  
(各船との無線や船舶電話は使用可能)
- ・非常対策本部を立ち上げ、情報の収集及び発信、関係機関との調整後、運航再開(旅客下船)等を実施
- ・翌日の運航再開の判断に関する経営トップの指示

### ◆旅客への対応

フェリーターミナル内に休憩所を設置し、毛布や飲食を提供

### ◆被害、復旧及び通常運航までの状況

直江津港(当時、CFは冬季運休中)で液状化や地割れ等の被害(応急措置完了)



## 明らかになった課題と今後の対応

### ◆マニュアル及びフローチャートの見直し

- ① 非常対策本部の立ち上げや対応判断の体制(経営トップ等の不在)、② 各担当ごとのフローチャート作成(CF、JF、貨物船、運航管理部署等)、③ 様々な場面の想定とマニュアル及びフローチャートへの追加、④ 沖出し後の旅客の下船等の対応及び旅客への情報発信方法等の追加

### ◆より具体的な場面を想定した自然災害対応訓練の実施

1. 自然災害の発生と被害状況
  - ✓ 自然災害の頻発化・激甚化
  - ✓ 被災経験事業者の課題認識と対応事例
2. 運輸防災マネジメントのポイント
  - ✓ 経営トップの責務
  - ✓ 安全方針と防災の基本方針
  - ✓ リスク評価
  - ✓ 事前の備え
  - ✓ 関係者との連携
3. その他のポイント
  - ✓ 他事例からの学び
  - ✓ 参考情報



運輸防災マネジメント指針 令和5年6月

防災マネジメント指針の解説 令和5年6月



# 運輸防災マネジメントのポイント

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の備え

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除 (思い込み (バイアス) の排除)

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善 (他事例の学び)

赤字に絞って説明

# (1) 経営トップの責務

## 1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。 特に、自然災害に対する備えや発災直後の対応は、危機管理そのものであり、トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

## 2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。

## 3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

# 【参考】被災した場合の保険料の増額について

## 【事例】

トラック(営業用普通貨物2t超)100台を所有する運輸事業者がフリート契約(車両保険500万、対人・対物無制限、人身傷害3,000万)で保険契約している場合、下表の通り車両全損の台数に応じて保険料は増額。

	保険契約と損害の内容	割引率と保険料の変化
事例	保険料の割引率が0%、 6,000万円の事業者の <b>トラック13台が水没全損</b> (支払額6,500万円以上) した場合	割引率:0% ➡ 割増率50% 保険料: <b>6,000万円 ➡ 約9,000万円</b>

本モデル例から、前年度と次年度保険料の差額3,000万円について、

10年×300万円を投資して損害回避すれば、不稼働損と保険料増額を回避できる可能性あり。

# 【参考】建築基準法に基づく耐震基準

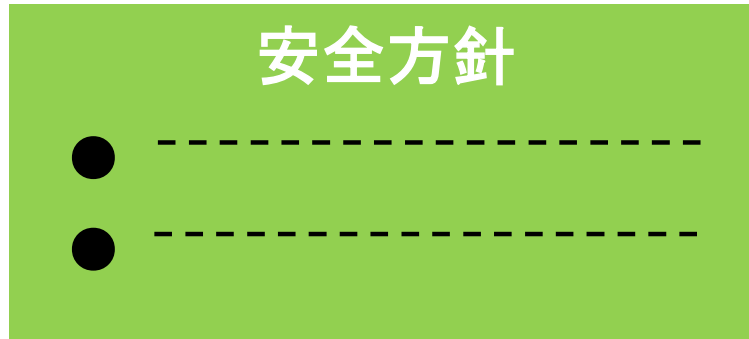
基準	時期	内容
新耐震基準	昭和56年(1981年)6月1日以降	震度5強程度の地震でほとんど損傷しないことに加えて、 <b>震度6強～7</b> に達する程度の地震で倒壊・崩壊しないことを検証
旧耐震基準	昭和56年(1981年)5月31日まで	<b>震度5強程度</b> の地震でほとんど損傷しないことを検証

日本全国で大地震発生が予測されている中、被害を最小限に食い止めるために住宅や建築物の**耐震化が重要**となっています。

まずは耐震診断を受け、耐震性が不足していると判定されたら**耐震改修工事**をしましょう。

## (2) 安全方針と防災の基本方針

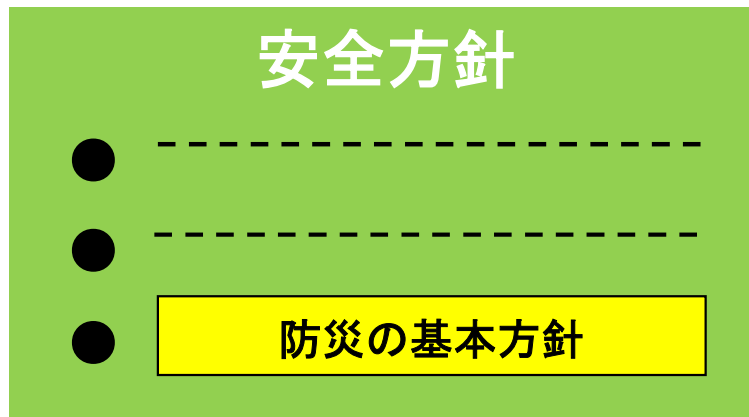
その1



防災対応マニュアル

- 防災の基本方針

その2



形式は事業者が判断して決定



社員・職員への浸透度合いを定期的に確認



★最終目標

社員・職員の一人ひとりが方針に則り行動できること

# 【参考】社内規則・ルールに盛り込む場合の例示

例1. 自然災害の発生時には、利用者、社員・職員、関係者の**安全確保を最優先**とし、〇〇駅、〇〇駅、〇〇駅発着の**主要路線の運行業務を維持**する。

例2. 自然災害による被害発生時には、**安全を最優先**とし、従業員の安全確保と事業資産の保護を図り、**事業の早期復旧とサプライチェーンへの影響の最小化**に取り組み、荷主及び関係企業との連携強化と信頼確保に努め、緊急救援物資輸送など社会的使命を果たすことを基本方針とする。そのため、事業継続のための体制、具体的な対策及び仕組みを事業継続計画(BCP)として策定して発災時の運用規定とする。

例3. 弊社の自然災害発生時の基本方針は、**安全最優先**とした上で、次に掲げるとおりとする。

- (1) 社員とその家族等の安全確保、航空機の安全確保を第一とする。
- (2) 国、地方等の機関と連携して共同対処により実効性を確保する。
- (3) 運航一時休止の場合、**早期再開に向け会社の重要機能・重要業務の維持・継続**を図り、**機能の損失等があった場合にはその早期復旧**に努める。

# 【参考】安全方針に盛り込む場合の例示

## 事例：JR東日本の安全綱領

### (1) 安全綱領

安全に関わる社員の行動規範として安全綱領を、2012年3月に改正しました。これまでの多くの経験や東日本大震災での対応を踏まえ、「異常時は、まず冷静になってから選択肢を並べ、最善の行動を選択する」という趣旨と、JR東日本の安全推進の基本的な考えである「自ら考え行動する」という趣旨を反映することとし、第5項に「あわてず、自ら考えて、」という表現を加えました。

1. 安全は輸送業務の最大の使命である。
2. 安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
3. 確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
4. 安全の確保のためには、職責をこえて一致協力しなければならない。
5. 疑わしいときは、あわてず、自ら考えて、最も安全と認められるみちを 採らなければならない。

# 【参考】津波避難行動心得

JR東日本は2012年1月、次の「津波避難行動心得」を策定しています。その(四)に避難したあとも、「ここなら大丈夫だろう」と油断せず、より高所へ逃げると言う項目が明記されています。

- (一)大地震が発生した場合は津波を想起し、自ら情報を取り、他と連絡がとれなければ自ら避難の判断をする。(避難した結果、津波が来なかったということになっても構わない。)
- (二)避難を決めたら、お客さまの状況等を見極めたうえで、速やかな避難誘導を行う。
- (三)降車・避難・情報収集にあたっては、お客さま・地域の方々に協力を求める。
- (四)避難したあとも、「ここなら大丈夫だろう」と油断せず、より高所へ逃げる。
- (五)自らもお客さまと共に避難し、津波警報が解除されるまで現地・現車に戻らない。

出典：JR東日本安全報告書2014



避難場所



避難所



津波避難場所



津波避難ビル

# 冷静な対応に向けた取組事例（トラック事業者）

## 自動車モード（トラック）＜西濃運輸株式会社＞

### 概要 取組事例 緊急時対応ボックスの作成

平成7年1月の阪神淡路大震災の経験から、**災害発生時には即座に被害軽減のための対応を行わないと間に合わない**こと、また**既存の文書に対応を記載しても忘れてしまう**ことを学んでいる。

このため、**災害発生時に行うべきことをわかりやすく記載したカード**を収納する緊急時対応ボックス（通称**マル緊BOX**、下記画像を参照）を作成し、すぐに取り出しを可能とするため、店所長席の後方（キャビネットの上など）に保管している。

### 【マル緊BOXの内容】

#### （1）災害時対応項目カード

発災時の時に対応すべきことを時系列に「最優先確認事項」、「ライフラインの関係」、「事業継続関係」の順番にカード化し、災害時に各担当者にこのカードを渡して容易且つ迅速に対応する仕組みを構築

#### （2）災害用ベンダー（自販機）の鍵

発災時の飲料水確保のため、マル緊BOXに災害用ベンダー機能がある飲料用自販機を開錠するための鍵を保管。



マル緊BOX

### 取組の効果

平成30年7月の西日本豪雨の際、店所長がマル緊BOXから風水害に関係するカードを担当者に振り分け対応したが、**落ちていて行動することができた。**

# (3) 自然災害リスク評価（一般的な手順）

## STEP 1 自然災害の種類・規模を想定

事業者（本社、営業所等）の地理的位置、立地、運行（航）エリア等から自社が遭遇する恐れのある自然災害の種類・規模をハザードマップ等の情報を活用して特定

## STEP 2 事業者及び社会インフラの被害を想定・**事業への影響度**を見積る

**ハザードマップ**、**耐震基準**等の情報を利用して事業者の本社、営業所、施設、車両・船舶・機材等に対するハザードを整理し、発生する被害（規模・程度・額）を想定し、**事業への影響度を見積る**。

- ・営業所、施設等の耐震基準、地盤の強さ、想定浸水深、海面の高さ、がけ崩れの恐れ等を確認。
- ・ハザードマップは、地方自治体、国土交通省等が公表しているものを活用。過去の被災経験の内容も再確認。
- ・事業者の被害としては、人的被害及び物的被害に分けて整理。

## STEP 3 事前の備えから事後の対応までの対策検討（対応すべき課題を特定）

STEP2の結果に基づき**事前の備えから事後の対応まで対策**（内容・レベル、ハード面、ソフト面の両面）を検討。**事前の備えは、①計画的装備、②緊急連絡網、③防災マニュアル、④事業継続計画、⑤タイムライン**を検討・決定。**事後の対応は、初動対応と再開・復旧等**を検討・決定

- ・事業への影響度（重要度）、費用多効果等を考慮して短期的、中長期的な計画に分けて検討。

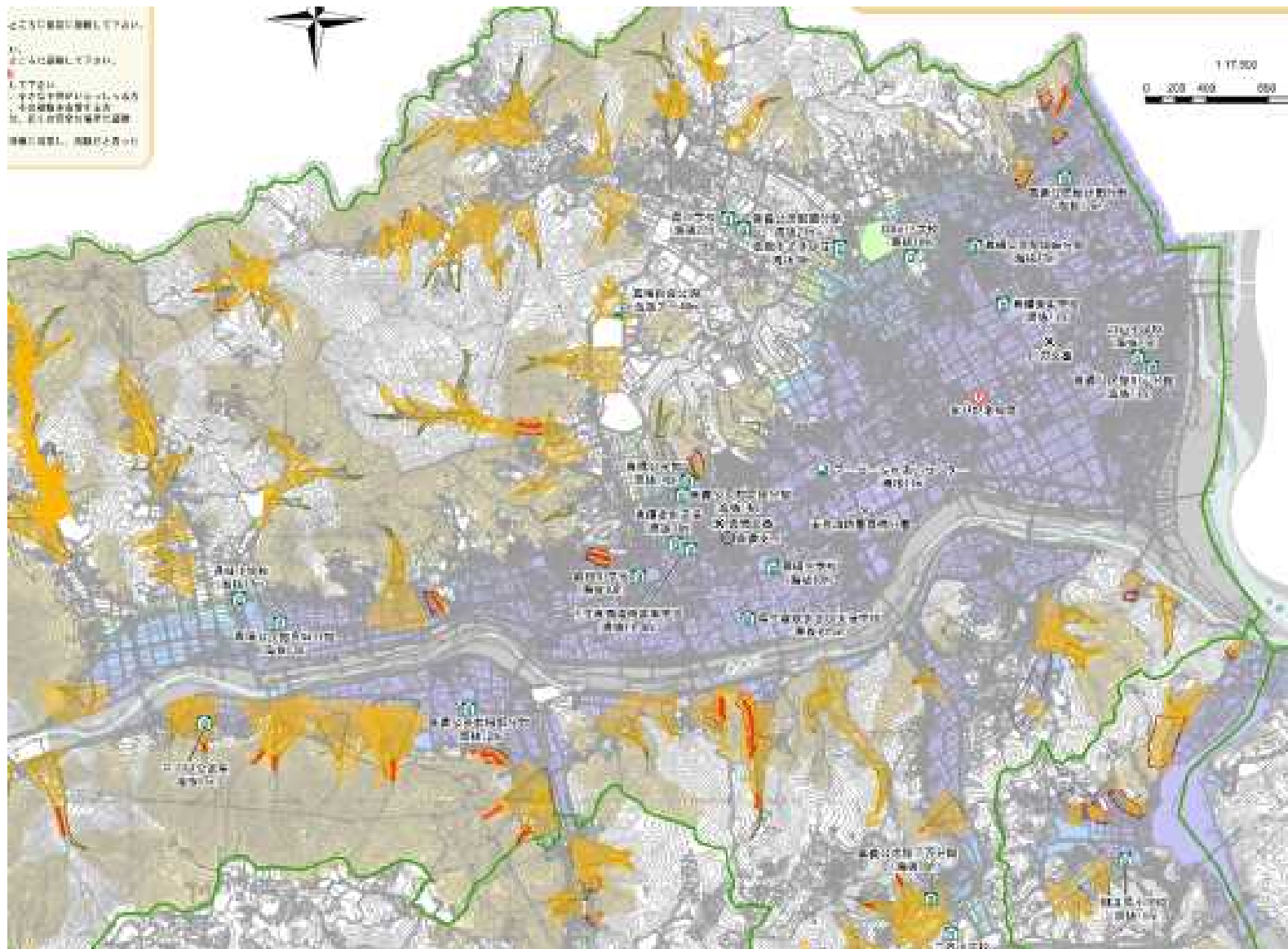
## STEP 4 対策を実行

STEP3の結果に基づき事前の備え、事後の対応を実行 ➡ 訓練等を通して検証し見直し・改善

**自社の現状を把握したうえで、必要な取組を検討し、優先度を勘案し取組計画へ反映。**

# ハザードマップの例示（予測浸水エリア）

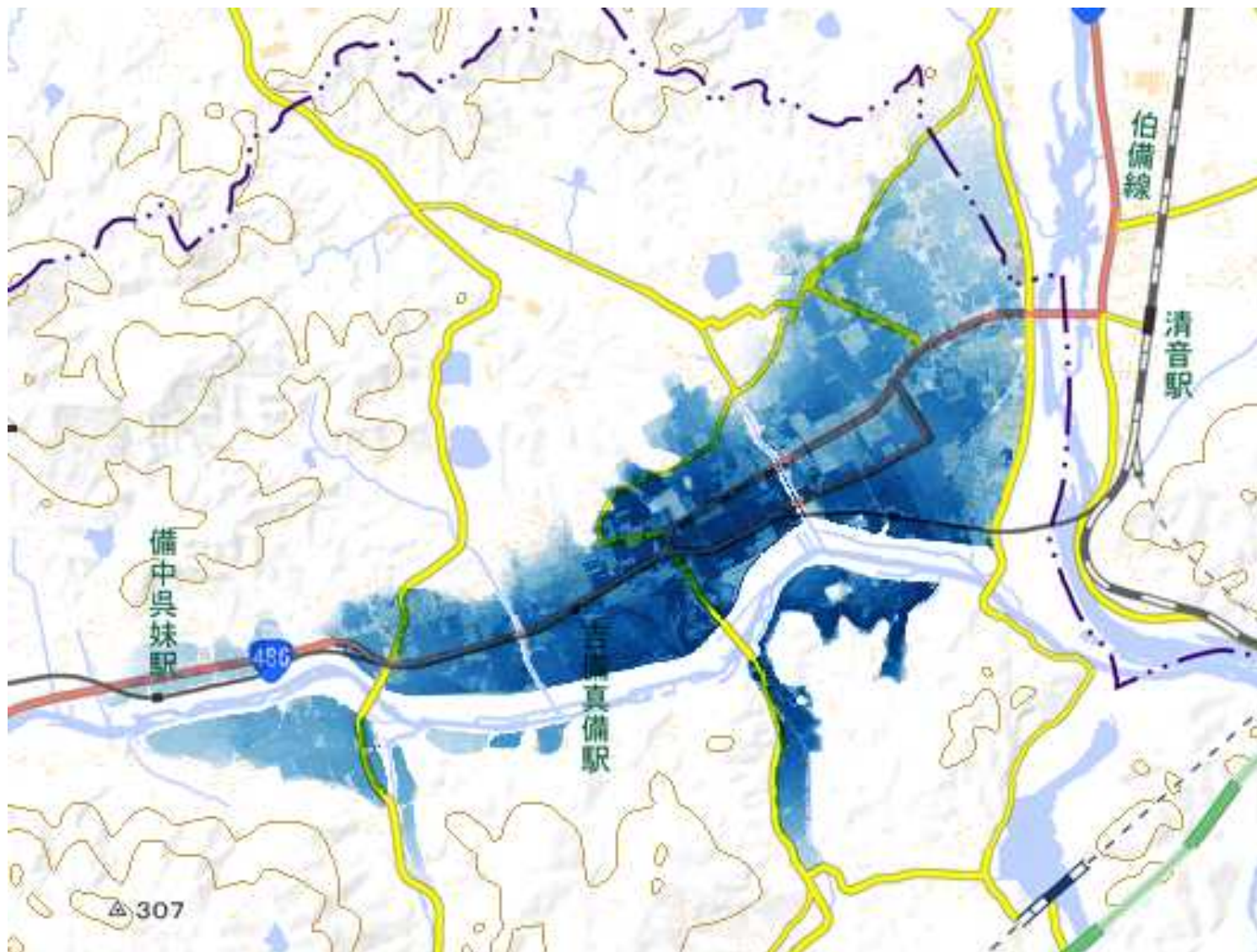
## ●倉敷市真備町周辺の予測浸水エリア（薄紫色）



出典：倉敷市「洪水・土砂災害ハザードマップ」（2016作成 2017年更新）

# 西日本豪雨による浸水エリア

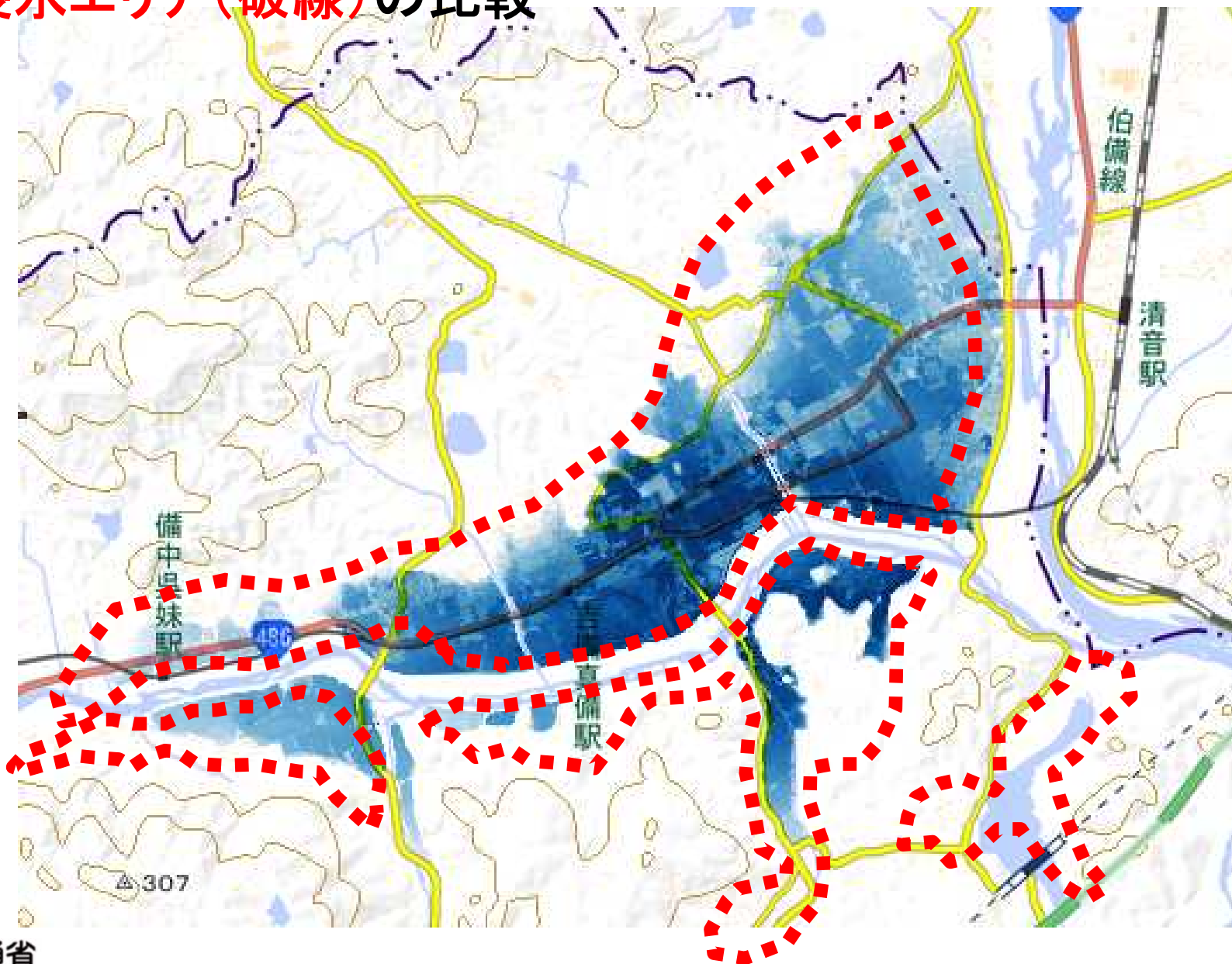
- 西日本豪雨による倉敷市真備町周辺の**浸水エリア**(青色部分)



出典：国土地理院「平成30年7月豪雨に関する情報\_\_浸水推定段彩図」

# 予測浸水エリアと浸水エリアの比較

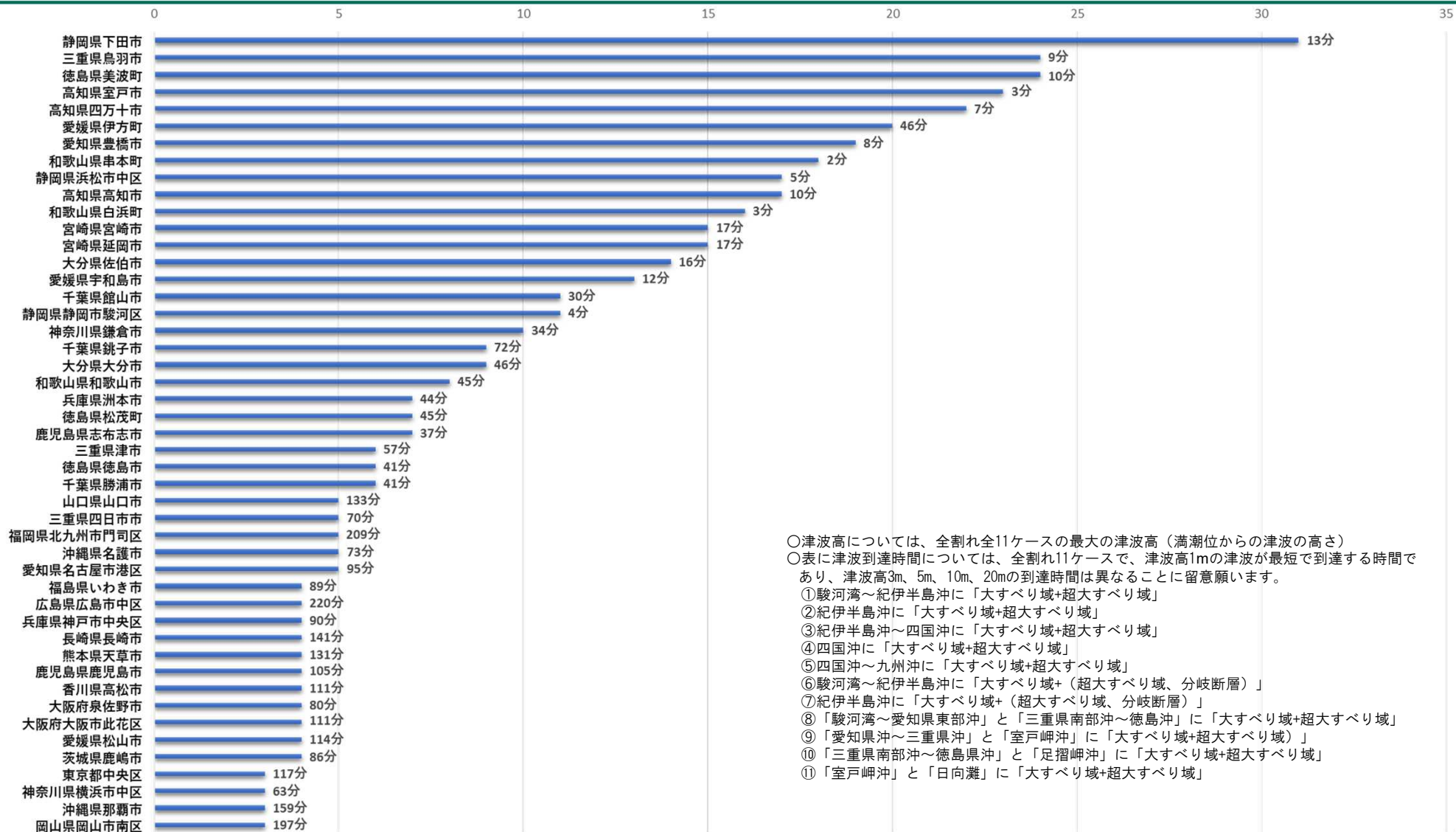
- 西日本豪雨: 倉敷市真備町周辺における**実際の浸水エリア**と**予測浸水エリア(破線)**の比較



# 南海トラフ巨大地震による被害想定

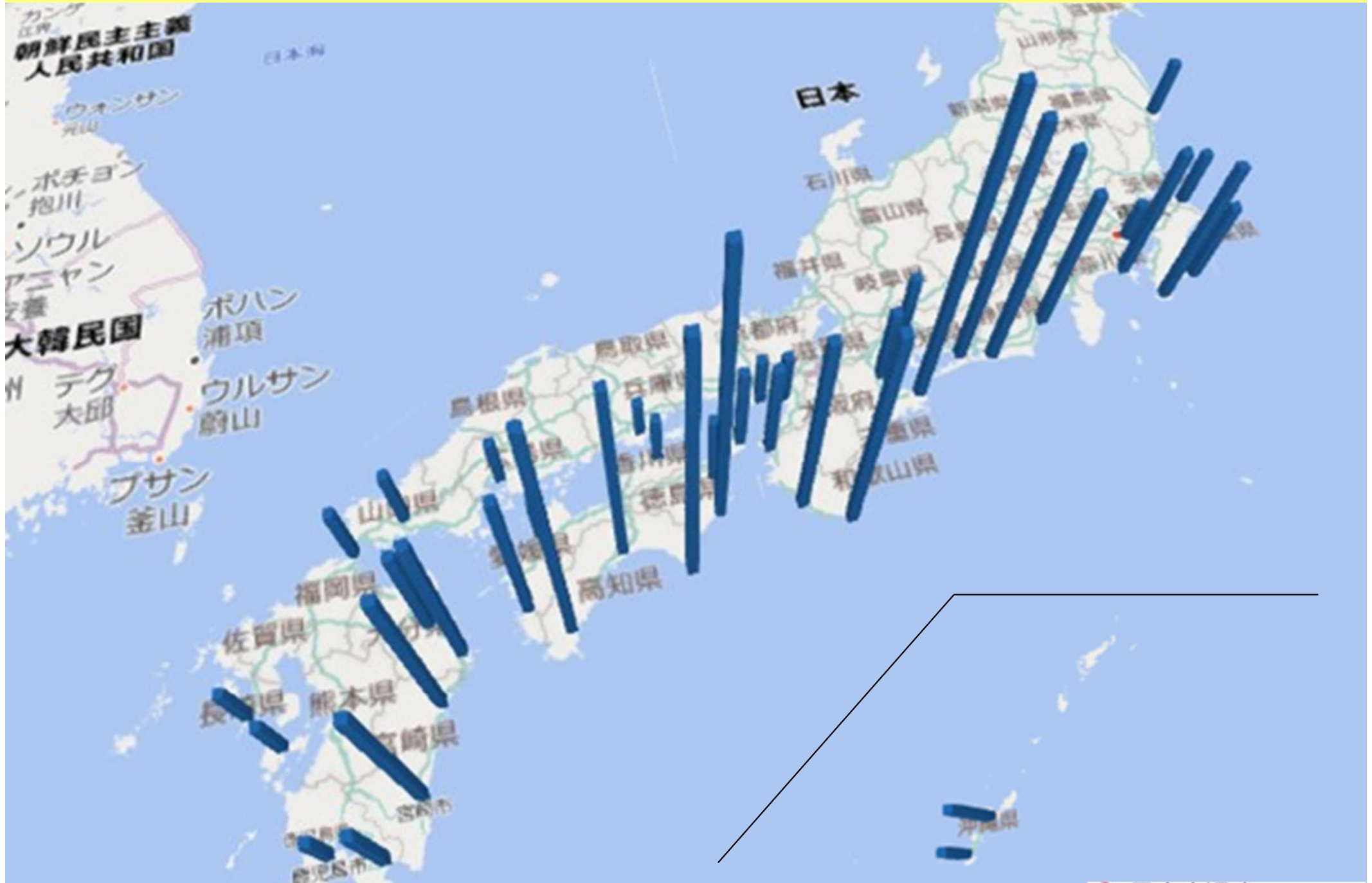
○南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に60～90%程度以上、50年以上は90%の確立で発生するとされており、交通インフラやライフライン等への被害が想定されている。

市町村別最大津波高・最短到達時間(満潮位・地殻変動考慮)

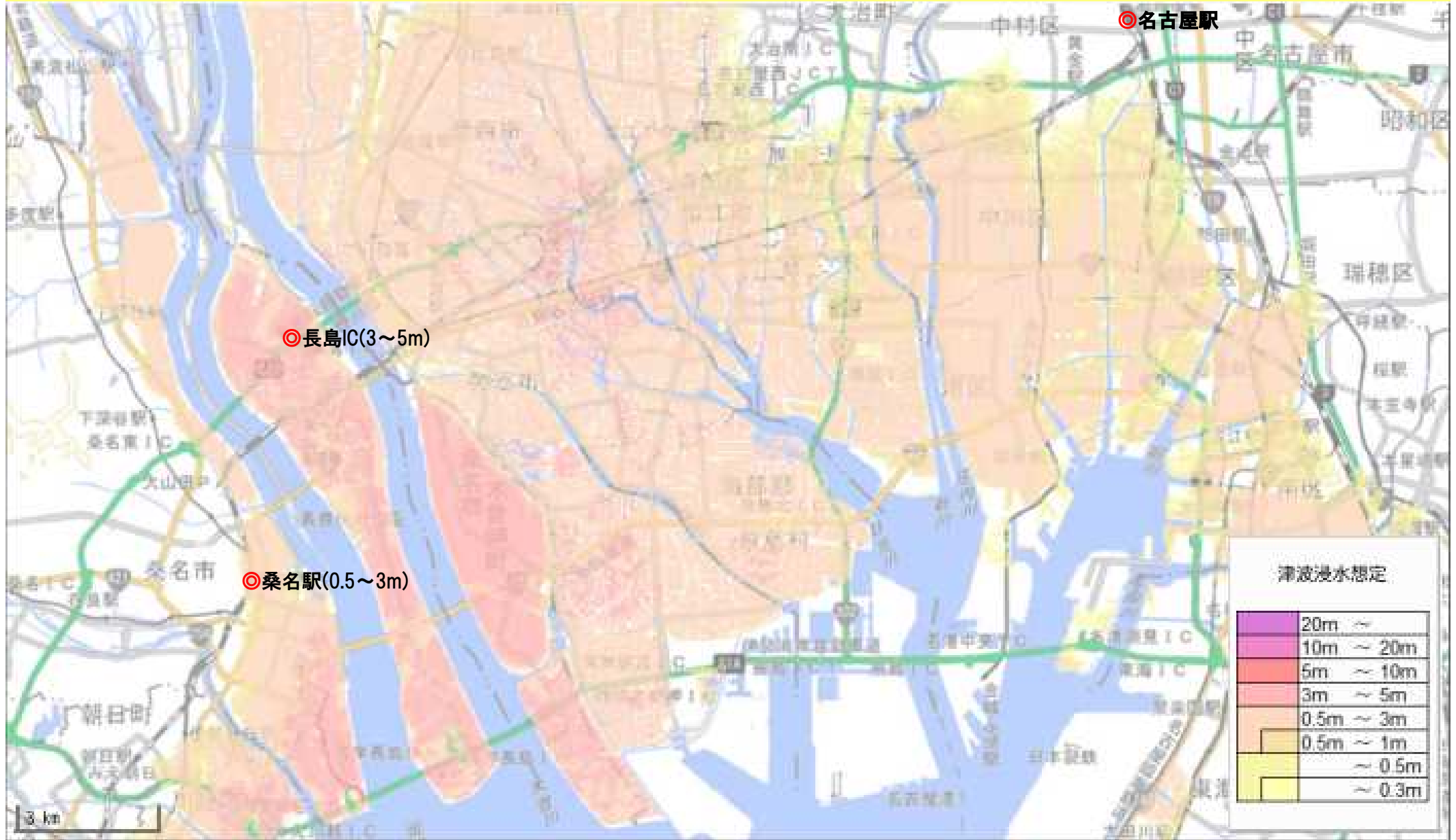


- 津波高については、全割れ全11ケースの最大の津波高(満潮位からの津波の高さ)
- 表に津波到達時間については、全割れ11ケースで、津波高1mの津波が最短で到達する時間であり、津波高3m、5m、10m、20mの到達時間は異なることに留意願います。
- ①駿河湾～紀伊半島沖に「大すべり域+超大すべり域」
- ②紀伊半島沖に「大すべり域+超大すべり域」
- ③紀伊半島沖～四国沖に「大すべり域+超大すべり域」
- ④四国沖に「大すべり域+超大すべり域」
- ⑤四国沖～九州沖に「大すべり域+超大すべり域」
- ⑥駿河湾～紀伊半島沖に「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」
- ⑦紀伊半島沖に「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」
- ⑧「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～徳島沖」に「大すべり域+超大すべり域」
- ⑨「愛知県沖～三重県沖」と「室戸岬沖」に「大すべり域+超大すべり域」
- ⑩「三重県南部沖～徳島沖」と「足摺岬沖」に「大すべり域+超大すべり域」
- ⑪「室戸岬沖」と「日向灘」に「大すべり域+超大すべり域」

# (参考) 南海トラフ巨大地震による津波高イメージ



# 南海トラフ巨大地震に伴う津波想定浸水深



# 津波の浸水深と施設・設備との関係イメージ

## 事務所

PC、サーバ  
通信機  
重要書類 等

## 倉庫

輸送機械  
荷物  
冷凍機  
等

## 車両

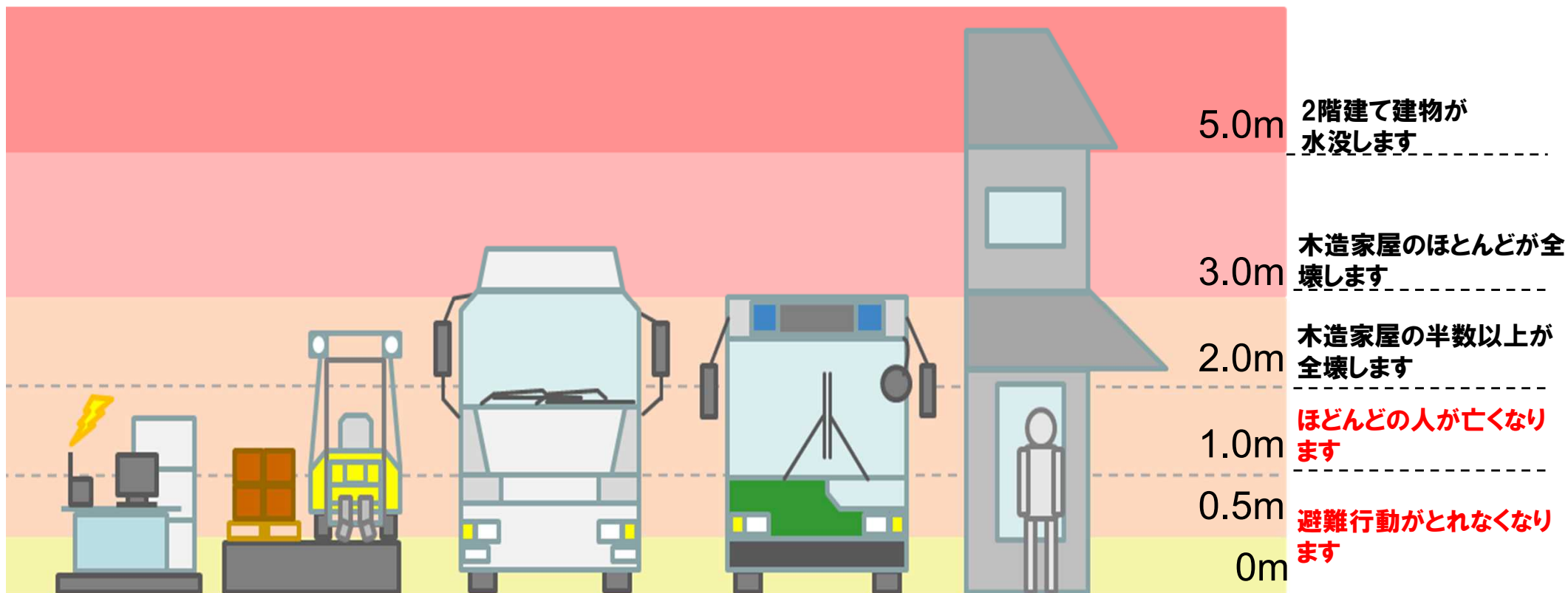
車庫  
車両整備の施設・設備 等

## 住宅

※図は目安です。

※標準の配色

※10m~20mは薄紫、  
20m~は紫。

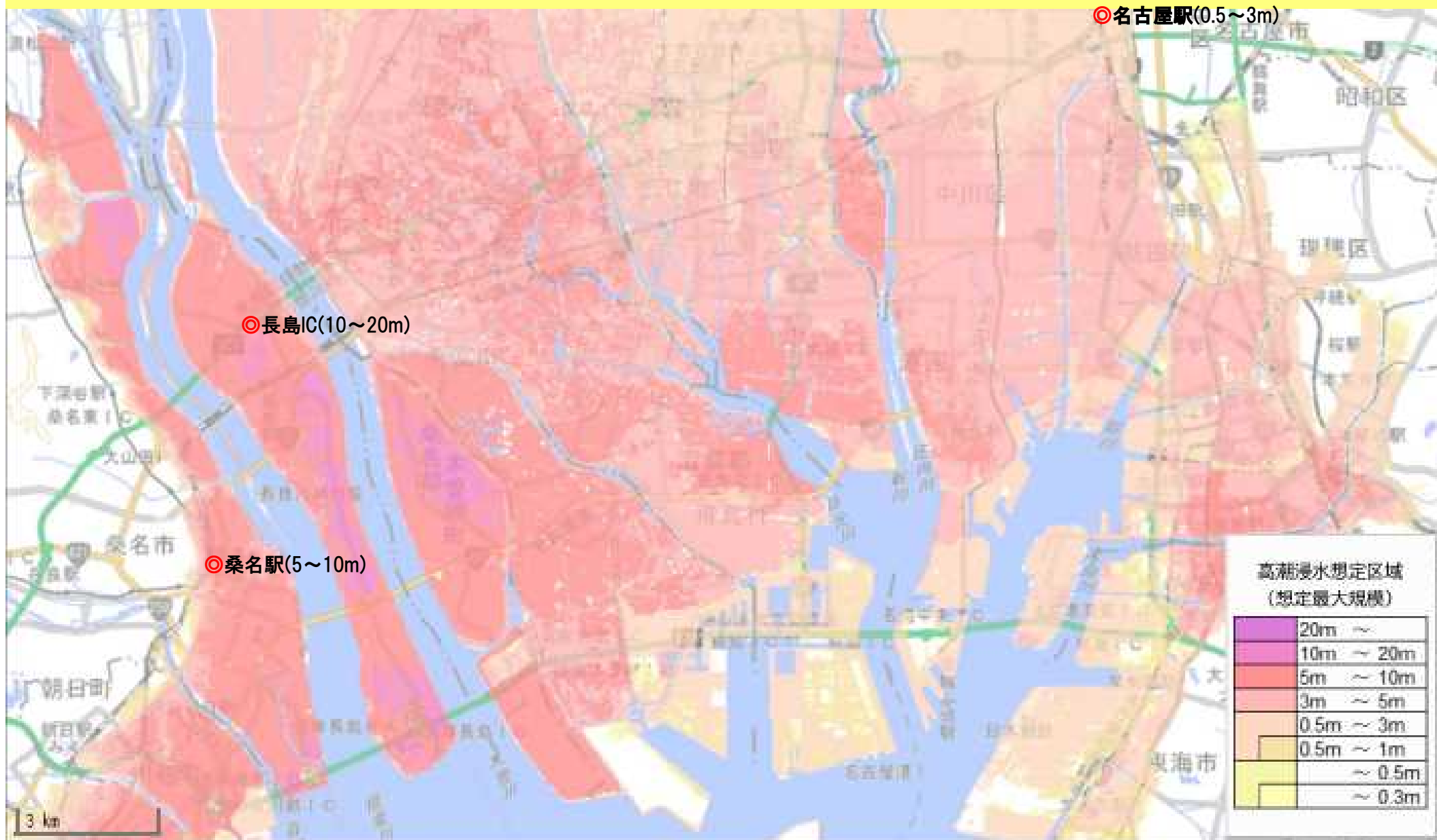


出典：南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ（第一次報告）資料「南海トラフの巨大地震建物被害・人的被害の被害想定項目及び手法の概要」等に基づき大臣官房運輸安全監理官室が作成

# 洪水による想定浸水深



# 高潮による想定浸水深



# 洪水・高潮の浸水深と施設・設備との関係イメージ

※図は目安です。  
 ※標準の配色  
 ※10m~20mは薄紫、  
 20m~は紫。

## 事務所

PC、サーバ  
 通信機  
 重要書類 等

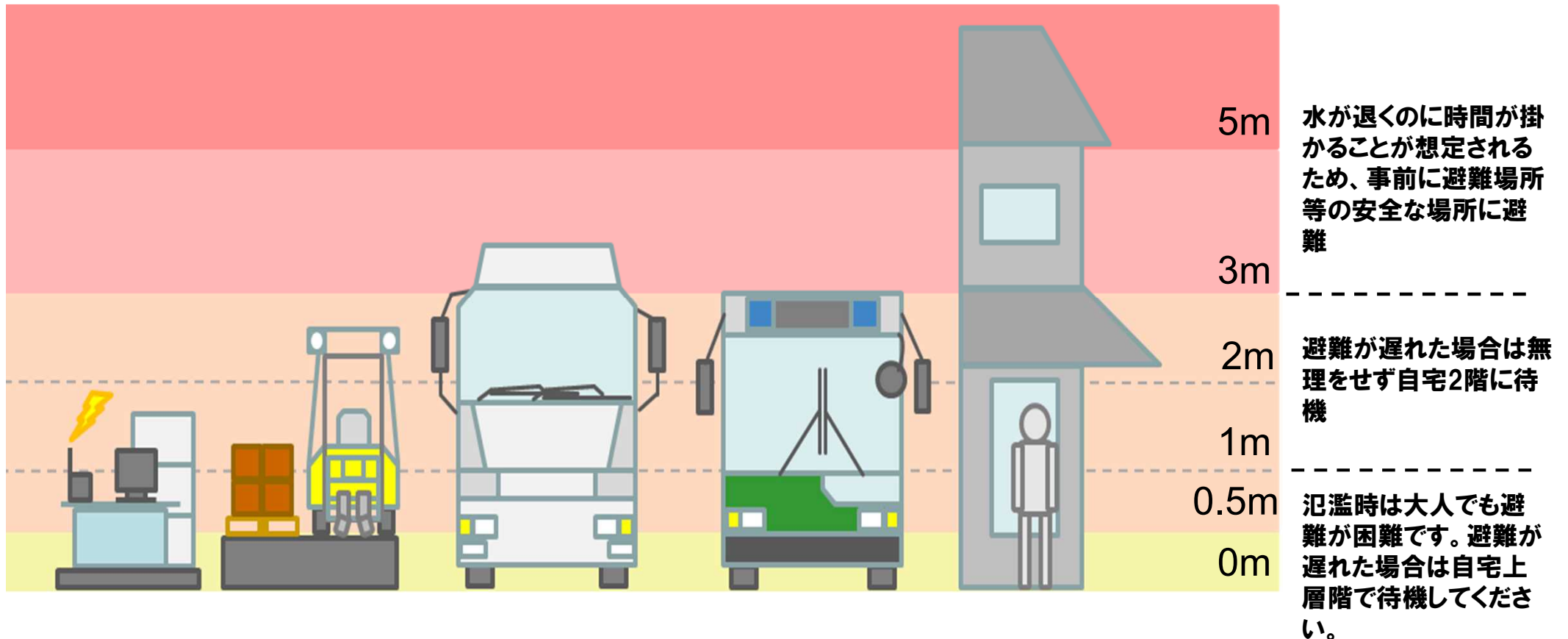
## 倉庫

輸送機械  
 荷物  
 冷凍機  
 等

## 車両

車庫  
 車両整備の施設・設備 等

## 住宅



## (4) 事前の備え

事故防止と同じく、平素からの取組がポイントであり、平時からの「備え」が不可欠。

### 事前の「備え」の内容

#### ①計画的装備

リスク評価による最大被害を基に事前準備のレベルと内容を検討。  
防災品、燃料、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、非常電源の配備等を計画的に実施。

#### ②緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは常時最新のものを入力。  
複数の通信・連絡手段の確保。

#### ③防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的。

#### ④事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

#### ⑤タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、自然災害対応のタイムラインを設定、局面毎のリスク評価実施。

# 自然災害リスク評価のデモンストレーション

会社全体(本社・各営業所、運行エリア)のすべての自然災害を対象とした**リスク評価と対応状況を総括表**に纏め、現状を把握。**今後の対応**については、例えば、**中長期計画**などに纏める。

※総括表は網羅的なものではない。

拠点毎のリスクと事前の備えの見える化

拠点	自然災害リスク					事前の備え							
	地震	津波	液状化	浸水	雪	耐震基準	非常電源	予備燃料	情報冗長	代替通信	止水対策	避難場所	雪対策
本社	大	小	小	大	小	○	○	○	○	○	○	○	○
営A	大	大	大	小	小	○	×	△	○	○	○	○	○
運行エリア	大	大	大	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—
営B	大	中	中	大	大	○	○	○	○	×	×	○	○
運行エリア	大	中	中	中	大	—	—	—	—	—	—	—	—
営C	大	中	小	中	中	○	×	△	○	○	○	○	○
運行エリア	大	小	小	大	中	—	—	—	—	—	—	—	—
営D	中	小	大	中	大	○	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	中	小	大	大	大	—	—	—	—	—	—	—	—
営E	大	小	小	大	小	×	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	大	大	小	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—
営F	大	大	小	小	小	×	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	大	大	小	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—

# 計画的装備 燃料の確保について

事前の備えとして、**燃料の確保及び安定供給**が重要。あるバス会社の事例

## 被災前

### ◆社用車

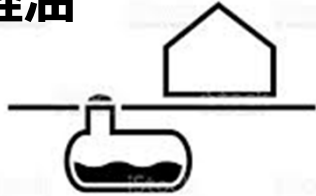


マイクロバス(軽油)



ワゴン車(ガソリン)

### ◆地下燃料タンク → 軽油



### ★社員の通勤手段 → ガソリン



## 被災直後

ガソリンが入手困難な状況がしばらくの間続いた。

地下燃料タンクの軽油を使用してマイクロバスで**運転士を送迎**！



## 被災後

### ◆社用車 **ディーゼル車へ統一**



マイクロバス(軽油)



ワゴン車(**軽油**)

### ◆地下燃料タンク

#### ① **供給頻度を高める**

(例 週1回 → 週4回)



#### ② 燃料供給事業者の**複数化**

#### ③ 地下燃料タンク**容量の拡張**

### ◆非常電源

**軽油対応**の非常用発電機を配備

常に使える状態に維持！



# 風水害対応のタイミングをはかる情報

## 5日先までの早期注意情報(警報級の可能性)

〇〇県南部の早期注意情報(警報級の可能性)

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。  
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

翌日まで  
・天気予報と合わせて発表  
・時間帯を区切って表示

2日先～5日先まで  
・週間天気予報と合わせて発表  
・日単位で表示

種別	警報級の可能性						
	3日	4日		5日	6日	7日	8日
	明け方まで 18-6	朝～夜遅く 6-24					
大雨	[中]	-		-	-	[中]	-
暴風	-	[高]		-	[中]	[高]	-
波浪	-	[高]		-	[中]	[高]	-

[高]: 警報を發表中、又は、警報を發表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

[中]: [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

※警戒レベルとの関係  
早期注意情報(警報級の可能性)\*...【警戒レベル1】  
\*大雨に関して、明日までの期間に[高]又は[中]が予想されている場合。

翌日まで

前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

2日先～5日先まで

数日先の荒天について可能性を把握することができる！

# 航空事業者における機材退避タイムライン 例示

中日本航空株式会社の機材退避タイムライン(防災行動計画)の例示



「いつ」

「どのように」「何をするか」

「誰が」

時期(時間経過)	行動	担当部署
台風接近予定の7~10日前	台風情報の収集(予想進路、大きさの把握)	運航管理部
	台風対策の必要性の判断	同上
台風接近予定の5~7日前	<b>業務部長</b> を委員長とする「 <b>台風対策委員会</b> 」を開催し、今後の対策を決定	台風対策委員会
	台風が接近している運航所等からの情報収集	運航関係部門
	台風の接近情報を元に運航スケジュールの調整	業務部
	運航機材等の避難場所の確保及びその折衝を実施	同上
	台風対策を記載した「台風対策一覧表」を作成し、社内外に周知	同上
	機体を移送する運航乗務員を確保	運航部
台風接近予定の3~5日前	台風の影響を受ける運航所等から、避難先の運航所等へ機材の移送を開始	同上
台風接近予定の2~5日前	避難先の運航所等の格納庫等で機材を格納	
台風の通過後	台風の通過後に「 <b>台風対策委員会</b> 」により、平時の体制に戻す判断を決定	台風対策委員会
	「 <b>台風対策委員会</b> 」の決定後、避難先に格納していた機体を元の運航所へ移動	同上

# 鉄道における利用者等への情報提供タイムライン例示

<b>気象状況</b> (気象庁における予報・気象情報の状況を含む。)	<b>計画運休開始時刻から概ねの時間</b>	<b>掲載内容例</b>	<b>行動</b>
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通る可能性があるとの予報を発表	(例)48時間前	<b>計画運休の可能性を情報提供</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇日(〇)の〇時頃から列車の運転を取り止める可能性があります。最新の気象情報と列車運行状況にご注意いただきますようお願い申し上げます	ウェブサイト、SNS、駅頭掲示等で多言語で情報提供(注)
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通る可能性が高いとの予報を発表	(例)24時間前	<b>〇月〇日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新)</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇月〇日(〇)の〇時以降順次列車の運転を取り止める予定です。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。 次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	↓ 適切なタイミングで報道機関、都道府県等へ情報提供
当該路線沿線に大雨・強風等の注意報発令			↓
当該路線沿線に大雨・暴風等の警報発令			↓
当該路線沿線を台風が通過	<b>計画運休実施</b>	<b>当日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新)</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇月〇日(〇)の〇時頃から順次列車の運転を取り止め、概ね〇時までには全ての列車の運転を取り止めます。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。… 次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	市区町村へ情報提供
当該路線沿線を台風が通過した後	(例)24時間後	<b>明日以降の運転再開見込みについての情報提供(随時更新)</b> 例) … 台風通過後、風雨が落ち着いた段階で、線路等の安全点検を係員が実施します。その結果、… 倒木・土砂流出入等を確認した場合には、朝の通勤時間帯において、列車の運転が困難となる見込みです…。 次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	(注) 適宜情報を抜粋し、多言語により情報提供を行う。

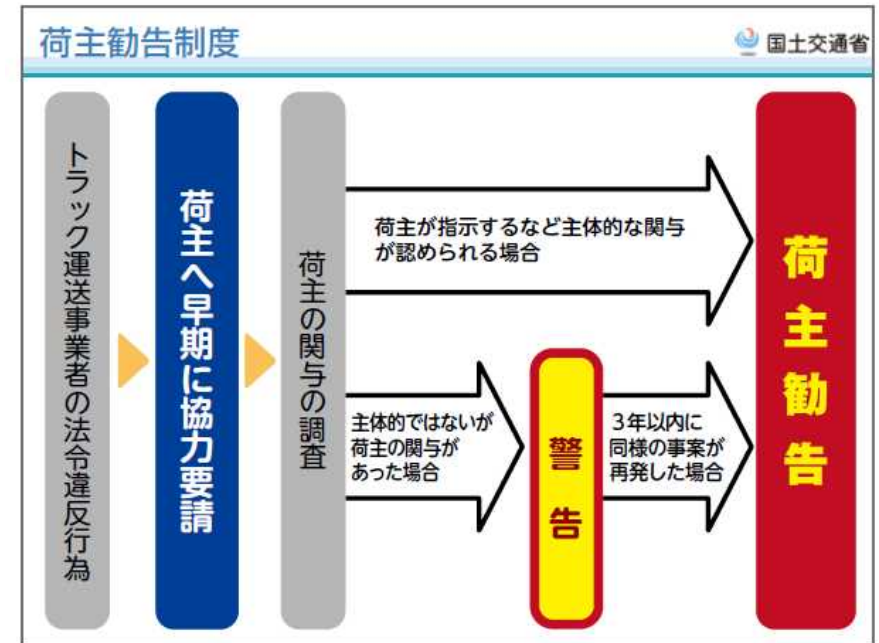
# 荷主等と連携したトラック事業者の防災について

気象予報等からある程度予測可能な台風・大雪等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断(計画運休)する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

## ⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	<b>車の運転は危険</b>	<b>輸送することは適切ではない</b>
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	<b>走行中のトラックが横転する</b>	<b>輸送することは適切ではない</b>
降雪時 	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良(濃霧・風雪等)時 	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき		
警報発表時 	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき		



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を!



※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について(平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号)」に基づき行政処分を行う。

## (9) 関係者との連携

### (9) 関係者との連携

運輸事業者は、関係者（以下の①、②、③）との

**連携関係を構築することが防災力を高める上で重要**



#### ① 地方自治体との連携

大規模な自然災害が発生した場合、運輸事業者の経営資源（要員や機材等）だけでは救助活動等に対応できない場合も想定されるため、地方自治体や国と被災情報を共有し、被災者の避難、救助、救護に向けた活動が円滑かつ迅速にできるよう、**地方自治体との間で連携関係（災害協定の締結等）を構築**しておくことが重要

#### ② 国の行政機関との連携

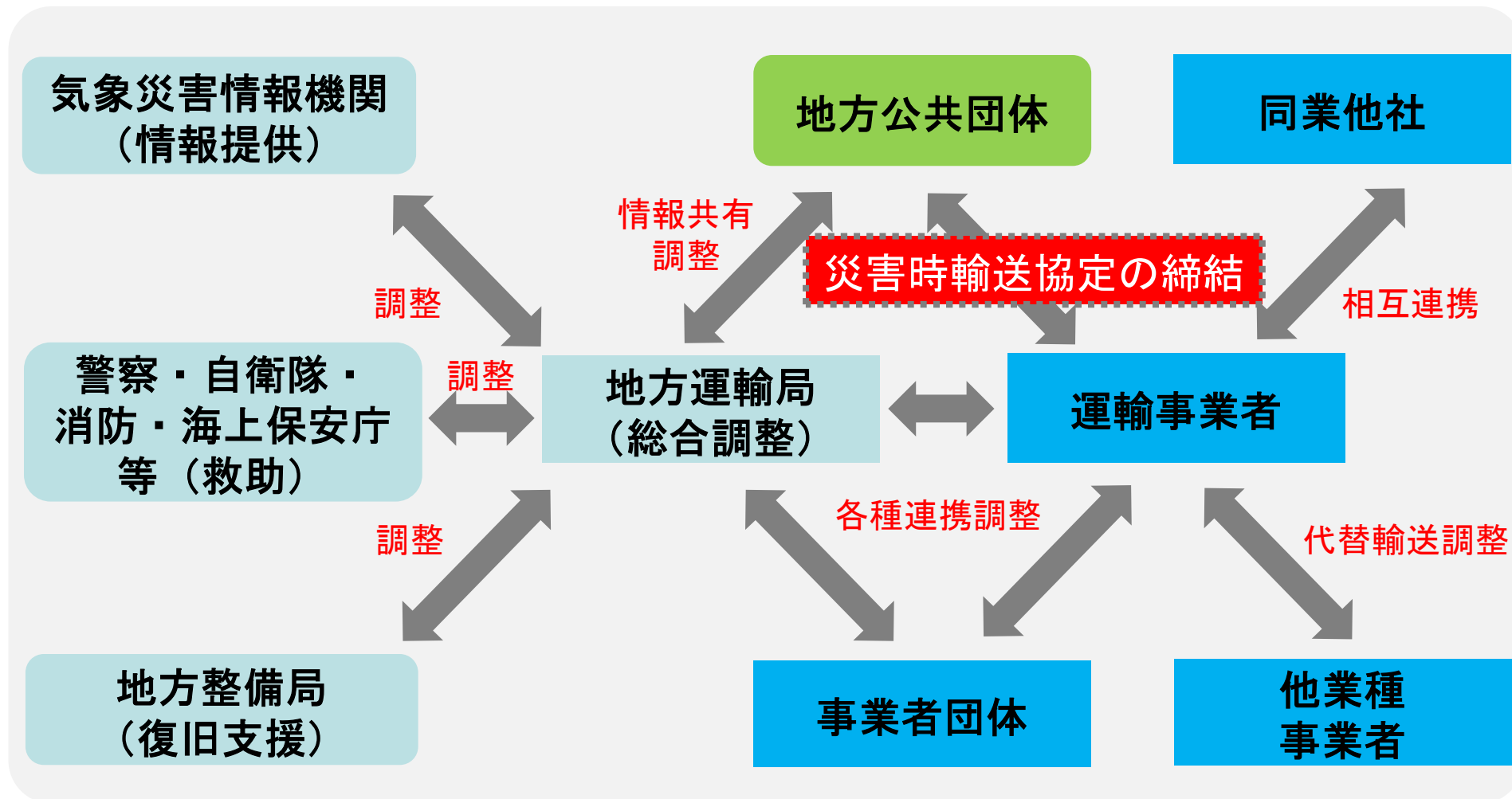
緊急時の警察、消防、海上保安庁への救助要請、国土交通省の地方行政機関である地方整備局、地方気象台、地方運輸局、地方航空局は、TEC-FORCEの派遣等による被災地支援することが可能。事業者からも、**防災訓練等の機会も活用**して、**国の関係機関に気軽にアプローチ**して頂き、**緊密な連携関係を醸成していくこと**が望まれる

#### ③ 他の運輸事業者との連携

被災時の迅速な代替輸送を行うためには、**予め他の事業者との間で代替輸送に係る取り決め**を行っておくと、速やかに代替輸送を立ち上げることが可能。地域コミュニティにおける共助の観点からは、**同じ地域に所在する事業者間で防災の協力関係を構築しておくこと**も期待

# 「顔の見える関係」の構築

大規模な自然災害が発生した場合に備え、国、地方公共団体、運輸事業者との連携のトライアングルを構築し、日頃から「顔の見える関係作り」や「災害協定」を締結しておくことで、何処に連絡すれば、どのような対応を行ってくれるか判断できます。



解説 「顔の見える関係」の具体的なイメージとしては、異動等により担当者の交代があった場合でも、公用(社用)携帯番号を交換でき、困った時に相談が出来るレベルを想定

# 地方公共団体と連携した物流事業者の災害対応能力強化事業

## 事業目的

6億円（令和7年度補正予算）

- 能登半島地震の経験を踏まえ、**地方公共団体と連携した物流事業者の災害対応能力の強化**を促すため、**地方公共団体と災害協定を締結した物流事業者の物資輸送訓練**や**物流施設への非常用電源設備の導入**等を支援。

## 要求の背景・経緯

- 能登半島地震の際は、**物流専門家の不在**等により、**ラストマイルにおける支援物資の輸送や保管に混乱**が生じた。



手積み・手卸し



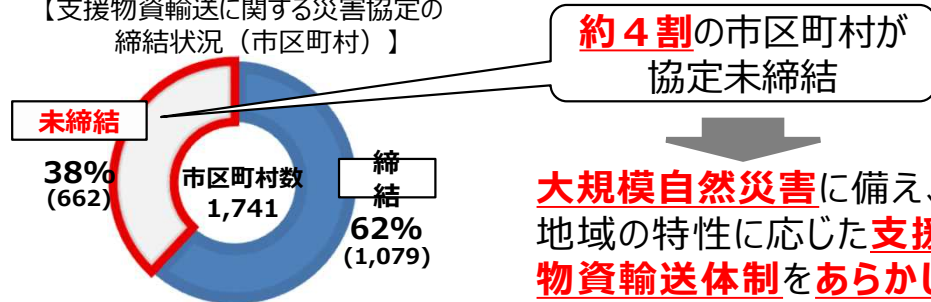
床が抜け落ちた体育館



雑然と平積みされた物資

- 一方で、**約4割の市区町村**では、輸送・保管・物流専門家の派遣に係る**物流事業者との災害協定を締結していない**。

【支援物資輸送に関する災害協定の締結状況（市区町村）】



※令和6年度国土交通省調べ

**大規模自然災害**に備え、地域の特性に応じた**支援物資輸送体制**を**あらかじめ構築**しておくことが重要

- また、**営業倉庫等の物流施設**は、災害対策基本法に基づく**防災基本計画**で災害時の物資拠点としての役割が期待されており、**国民の安定的な生活の確保と社会の安定の維持に不可欠なサービス**として事業の継続が不可欠。

## 事業概要

### ① 地方公共団体と連携した物資輸送訓練の実施支援

- ・災害時のラストマイル輸送における人員不足等が懸念されている**地方公共団体と物流事業者等との連携訓練**を支援。



フォークリフト等を使って荷卸し、荷積み



パレットに載せられた物資

### ② 物流施設への非常用電源設備の導入支援

- ・災害時等においても物流拠点の電源機能を維持し、**迅速かつ円滑な物資輸送体制を維持・確保**するため、**サプライチェーン上で重要な物流施設への非常用電源設備の導入**を支援。

＜非常用電源設備＞



280kW



40kW

1. 自然災害の発生と被害状況
  - ✓ 自然災害の頻発化・激甚化
  - ✓ 被災経験事業者の課題認識と対応事例
2. 運輸防災マネジメントのポイント
  - ✓ 経営トップの責務
  - ✓ 安全方針と防災の基本方針
  - ✓ リスク評価
  - ✓ 事前の備え
  - ✓ 関係者との連携
3. その他のポイント
  - ✓ 他事例からの学び
  - ✓ 参考情報

運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン 令和5年6月

検索



# 他事例からの学び

## ■他事例学からの学び

自然災害対応の取組は、自然災害が実際に発生しない限り、その成果が見えにくいのも事実です。このため、実際の自然災害に対応した同業他社、他モードの事業者の取組とその成果と教訓、その後の改善の取組状況を学び、「他山の石」として、自社の取組に反映させることが効果的と考えられます。

【参考】大臣官房運輸安全監理官は、以下のWEB サイトで取組事例を公開しています。

【国交省 取組事例】 [https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen\\_torikumi.html](https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_torikumi.html)

現在、自然災害への対応に関する取組事例を収集中、今後、追加予定です。



# 【取組事例】 災害対応車両の導入

## 自動車モード（バス） <しずてつジャストライン株式会社>

### 概要

平成28年3月に乗務員の運転技能向上を目的に訓練用の車両（**安全運転訓練車**）を導入。この車両には、大規模災害が発生し、事務所が倒壊等により運行管理が出来なくなった際に、**バスの運行を継続するために必要な機能を装備**している。これにより、災害地域の運行状況を把握し、**早期の運行再開に向けた体制を構築**している。

### 【安全運転訓練車内災害対策機能エリアに搭載されている設備・機能】

#### <情報発信・情報収集>

無線機、広域用の無線アンテナ（車外）、情報収集用のTV、防災ラジオ、パソコン、

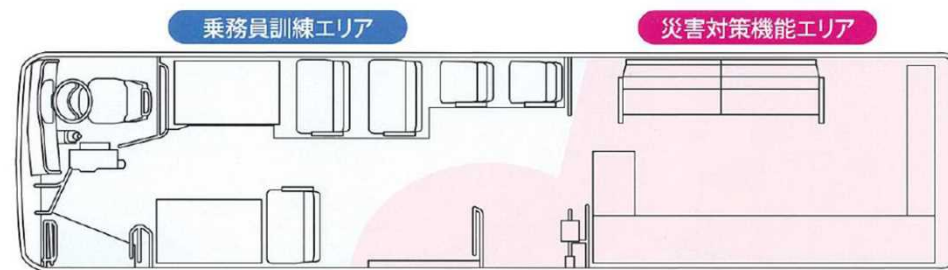
モバイルデータ通信装置

#### <運行管理>

アルコール検知器、デジタルタコグラフ解析器、簡易金庫解錠器

#### <電源の確保>

発電機



訓練車の見取り図



発電機



災害対策機能機器

### 取組の効果

- ① 災害発生後、**早期に運行が再開できる体制の確立**
- ② 乗務員の**防災意識の向上**

# 【取組事例】 貨物船の緊急出港訓練の実施

## 海事モード（内航貨物） <日鉄物流株式会社>

### 概要

**甲板部職員による主機の緊急起動訓練**。運航船舶が地震による津波に遭遇した際に、主機を緊急起動して港外に避難することにより安全を確保。

### 取組

着岸中の船舶は、一部の乗組員を残して上陸することが多く、甲板部の職員のみが乗船している時に地震が発生した場合、**機関部の職員が乗船していないため、主機関が起動できないことが懸念**される。これは、通常、甲板部の乗組員は、主機関の起動に関する訓練を受けていないためである。

甲板部乗組員への主機起動訓練の実施は、日鉄物流の **2018 年重点活動項目** であり、主な活動内容として、「**津波等により緊急出港の備えとして、甲板部乗組員に対する主機起動を実施**する。」としている。2018 年 6 月からの起動マニュアル作成船舶数は約 68 隻、訓練の実施船舶数は約 39 隻。

### 取組の効果

自社船の震災遭遇に端を発して必要性を感じた訓練であり、実際に災害に直面した場合、**訓練以上に行動することは困難との考え**に基づいており、**非常時の備えとして有効**であると認識。



【緊急起動の訓練状況】

# 【取組事例】 災害時の電源喪失リスクへの対策

## 航空モード（回転翼）＜オールニッポンヘリコプター株式会社（ANH）＞

### 概要

北海道胆振東部地震（2018年9月）の際に発生した北海道全域大停電「ブラックアウト」を契機に、大規模災害が発生した場合でもNHKからの報道取材要請に対応すべく運航を継続できる体制構築が重要との認識が高まった。

ANHは、NHKのニュース等のための取材フライトを専業とし、NHKは、災害対策基本法で報道機関として唯一、国の指定公共機関に指定され、自然災害発生時に迅速・正確に国民に情報を伝える役割を担っている。このため、回転翼機を使用したNHK 報道の国内の航空取材のほぼ全てを担っていることから、非常に高い運航継続性を維持することが求められる。

国内基地・拠点のうち7か所（札幌、仙台、東京、群馬、静岡、福岡、沖縄）に非常用予備電源を順次整備中。導入時、給電停止による仮想停電における自動起動での発電機稼働と給電回復時の自動停止の動作確認を兼ね訓練を実施後、週1回の自動試運転を実施。

### 【非常用予備電源の設備概要・機能】

- ・各基地の3日間の停電に備えた燃料確保
- ・維持管理が簡易な燃料：LPガス
- ・停電発生時の自動起動による発電開始機能
- ・復電時の自動停止機能
- ・セルフチェック機能（週1回の自動試運転を実施）



(ANH 本社屋上電源設備)



(ANH 福岡基地電源設備)

### 取組の効果

- ① 大規模停電時においても、報道取材ヘリの運航が継続できる体制の確立
- ② 大規模災害発生後、早期に運航が再開できる体制の確立

# その他(参考となるWeb情報等)

## ■川の防災情報(国土交通省)

原則、国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報(国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報)を対象とし、目的に応じて必要な情報を探ることができます。

※「気象警報・注意報、土砂災害警戒情報」「洪水キキクル(危険度分布)」「土砂キキクル(危険度分布)」は気象庁ウェブサイトへリンクしています。  
※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。  
※「シアラート」は、市町村等が発令した避難指示などの災害関連情報を、一般財団法人マルチメディア振興センターが収集、メディア等に対し一斉に配信する災害情報共有システムです。  
※掲載の情報には、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値がそのまま表示されている可能性があります。  
他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

# 参考となるWeb情報

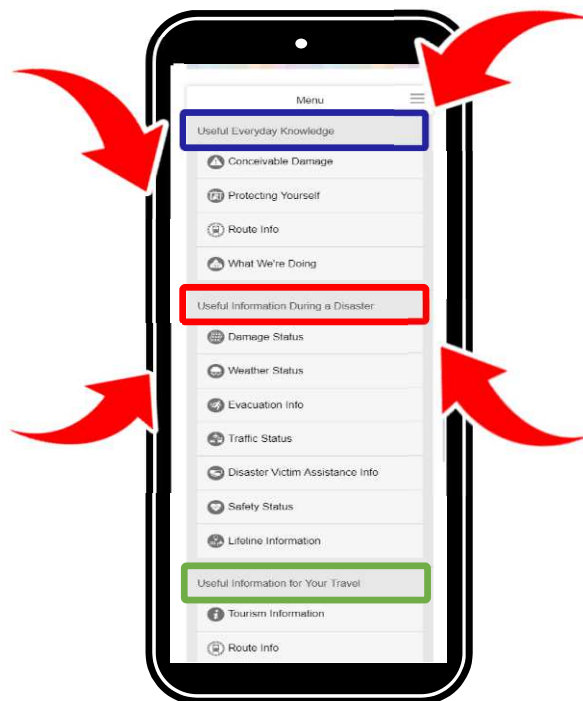
## ■防災ポータル/ Disaster Prevention Portal (国土交通省)

国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開しています。

### 〈災害時、見てほしい情報〉

<b>被害状況</b>  リアルタイム情報や速報等により、災害発生後、いち早く被害の状況を見ることができます。	<b>気象状況</b>  台風などの気象情報のほか、国土交通省等による雨量や河川の水位などを見ることができます。
<b>逃げるための情報</b>  避難所等の防災施設を検索できます。	<b>交通・物流情報</b>  交通規制等の道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流会社の配送状況を見ることができます。
<b>被災者支援情報</b>  避難所や防災センターの基礎知識、行政の防災情報、防災施設を検索できる防災マップ、多言語生活情報などを見ることができます。	<b>被災者支援情報</b>  避難所や防災センターの基礎知識、行政の防災情報、防災施設を検索できる防災マップ、多言語生活情報などを見ることができます。
<b>ライフライン情報</b>  最新のライフライン状況（電気・水道・ガス・通信）を見ることができます。	<b>安否情報</b>  災害用伝言サービスや安否情報検索サービスから、知人の安否情報を見ることができます。

### 関係機関の情報提供ツールが一元化



### 〈日頃から知ってほしい情報〉

<b>被害想定</b>  起こりうる自然災害について、想定される被害状況やハザードマップ等を見ることができます。	<b>身の守り方</b>  災害の基礎知識や、災害時に身を守るための知識を見ることができます。
<b>路線情報</b>  バス・鉄道の路線図を見ることができます。	<b>私たちの取り組み</b>  国土交通省等が取り組む災害対策などの情報を見ることができます。

### 〈旅のお役立ち情報〉

<b>路線情報</b>  バス・鉄道の路線図を見ることができます。	<b>観光情報</b>  観光情報や無料Wi-Fi、宿泊施設等の情報を見ることができます。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### Point 対応言語は8言語



防災ポータル

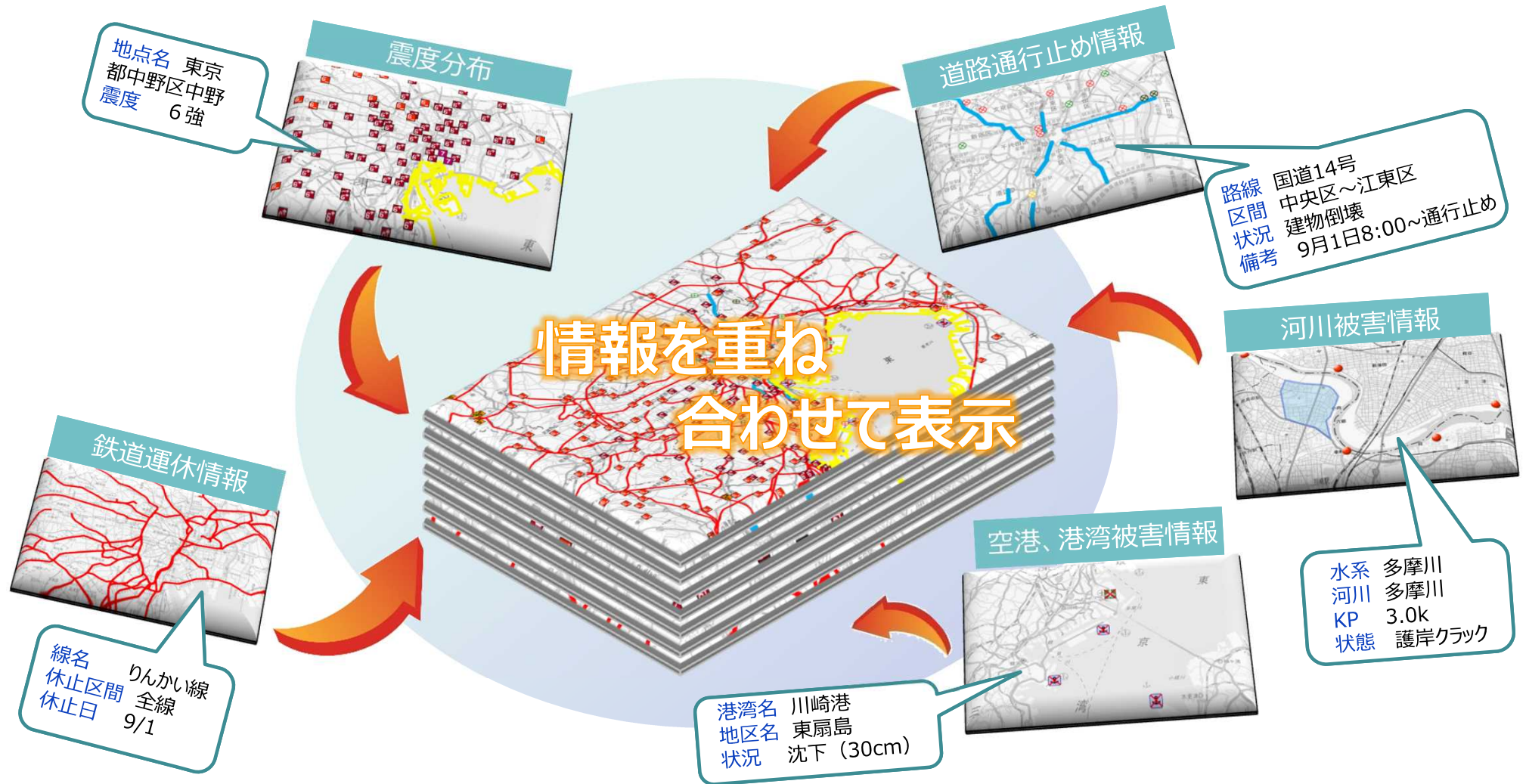
検索



# 参考となるWeb情報等

## ■統合災害情報システム（DiMAPS）（国土交通省）

地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステムで、災害情報の迅速な共有が可能となります。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用ができます。



統合災害情報システム

検索



# 参考となるWeb情報等

④訪日外客等への災害情報提供  
日本政府観光局（JNTO）等にて、自然災害発生時等に役立つ各種情報提供が行われています。

## 〇多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」(050-3816-2787)

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

## 〇公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(X) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



## 〇スマートフォン向けアプリ「Safty Tips」

日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、噴火速報、避難情報、熱中症情報、Jアラート等をプッシュ型で通知できる他、対応フローチャートやコミュニケーションカード等、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を掲載しているもので、観光庁が監修しています。対応言語は15言語（英語・中国語（簡体字/繁体字）・韓国語・日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語・タガログ語・ネパール語・クメール語・ビルマ語・モンゴル語）です。



iPhone



Android

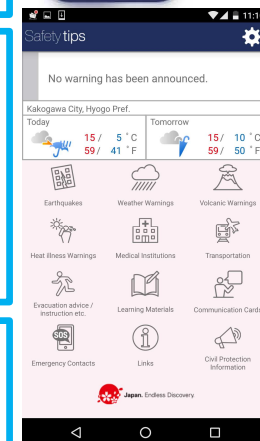
## 〇JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等を提供。

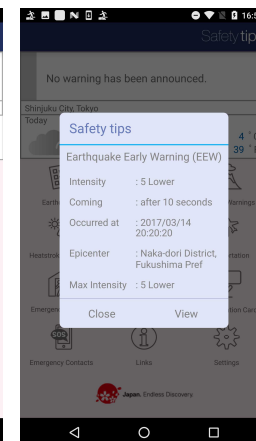
※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



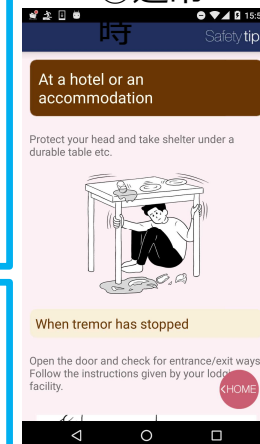
※Safety Tips Appにおける地震発生時のプッシュ通知



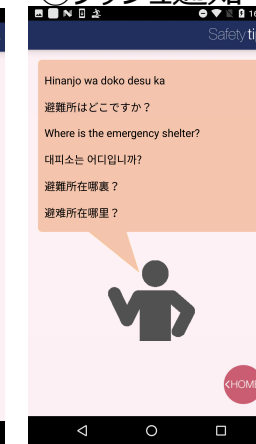
①通常



②プッシュ通知



③取るべき行動



コミュニケーションカード



※詳しくはコチラ➡ [https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor\\_support/safetravelinfo.html](https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html)

ご清聴ありがとうございました。

同時発表：国土交通省水管理・国土保全局防災課、大臣官房参事官（運輸安全防災）、北海道開発局、各地方整備局、各地方運輸局（神戸運輸監理部を含む）、地方航空局、沖縄総合事務局

令和8年6月1日  
中部運輸局総務部

## TEC-FORCE 予備隊員により被災地方公共団体等への支援体制を強化します

～中部運輸局において、専門的な知識を有する民間企業等の人材を募集します～

被災地方公共団体等への支援体制を強化するため、旅客及び貨物輸送の管理・運営、関係機関との調整に関する知識・経験を有する民間企業等の人材を「TEC-FORCE 予備隊員」として募集します。災害時には非常勤職員である国家公務員として TEC-FORCE の一員となり、被災地方公共団体等で活動いただく予定です。

### 1. 概要

国土交通省では、災害時に、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を被災地方公共団体等に派遣し、被災者や支援者の輸送手段の確保、緊急支援物資の管理・配送、不通となった鉄道等の代替輸送等の確保に向けた調整等の支援を行っています。

今般、TEC-FORCE による被災地方公共団体等への支援体制を強化するため、旅客及び貨物輸送の管理・運営、関係機関との調整等に関する知識・経験を有する民間企業等の人材を「TEC-FORCE 予備隊員」として募集します。災害時には非常勤職員である国家公務員として「TEC-FORCE」の一員となり、被災地方公共団体等で活動いただく予定です。

### 2. 職務内容

災害時には、必要に応じ、「TEC-FORCE 予備隊員名簿」の中から個人の事情等を踏まえた派遣調整の上採用し、被災地方公共団体等で TEC-FORCE の一員として、下記の活動等に従事いただく予定です。

- ・被災地方公共団体の物資拠点の管理・運営及び避難所等への物資輸送に関する技術的助言
- ・被災地における旅客輸送等に関する情報収集及び関係行政機関等との連絡調整

※派遣前には、必要な研修を受講いただきます。

※「TEC-FORCE 予備隊員」は、通年で非常勤職員の身分を持つものではなく、研修や災害派遣ごとに必要な期間のみ、非常勤職員として採用されることになります。

※本募集による「TEC-FORCE 予備隊員」としての名簿登録期間は令和9年12月31日までです。

※本募集は、「物資拠点の管理・運営、避難所等への物資輸送、被災者や支援者の輸送等」に係る支援業務に関するものです。

※活動期間中、応急対策や本格復旧に不可欠な情報を得るため、物流施設や輸送に係る車両、施設等の被害状況調査を行って頂く場合もあります。

### 3. 募集内容

詳しくは別添の「募集要項」をご覧ください。  
「TEC-FORCE 予備隊員」の登録人数は「数名程度」を予定しています。

### 4. 選考方法

書類選考及び面接

### 5. 募集期間

令和8年6月1日(月)～8月31日(月)18時  
(必要書類をメール・郵送にて提出)

【問合せ先】 中部運輸局総務部  
運輸防災調整官／安全防災・危機管理課 松野、久世  
TEL：052-952-8049

# TEC-FORCE予備隊員の主な活動内容(地方運輸局等) (災害派遣時)

TEC-FORCE予備隊員は、災害時等に非常勤職員の国家公務員として採用され、TEC-FORCEの一員として被災自治体等で活動いただく予定です。

※ 派遣先は、採用された地方運輸局等管内に加え、管外（全国）への派遣となる場合がありますが、個人の事情等（健康状態等の本人の事情、家族等の状況、企業等に勤務している場合の業務繁忙等を想定しています）も踏まえた調整の上で決定します。

## 物資拠点の管理・運営

物流に関する専門的な知識や経験を活かし、被災自治体等が抱える課題解決等に貢献します。

- 被災地方公共団体に派遣された※リエゾンまたは輸送支援班は、地方公共団体が設置する物資拠点の管理・運営、配送状況、支援ニーズ等を日々確認し、地方運輸局災害対策本部等を通じて、政府の現地対策本部や本省災害対策本部等へ報告します。
- 物資拠点が有効に機能していない場合は、支援物資（食料、水、生活必需品等）の荷捌き、仕分け、保管、避難所等への配送調整等が有効に機能するよう、TEC-FORCE予備隊員が持つ専門的な知識や経験を活用し、効率的な拠点運営や配送業務をサポートします。
- 持続的な物資拠点の運営や配送業務が行われるよう、関係機関と調整を行い、物流事業者の派遣要請、災害協定締結に向けたサポートを行います。

※リエゾン（災害対策現地情報連絡員 Liaison, 「仲介、橋渡し等」という意味のフランス語）

### 支援実施前の物資拠点



□ 物資拠点の運営状況等を把握

### 拠点運営等をサポート



□ 効率的な拠点運営等をサポート

### 支援実施後の物資拠点



□ 物流事業者への派遣要請等

## 被災者等の輸送

業界団体等と連携し、被災地からの避難や地域住民の生活交通の維持のため、バス等の確保に向けた調整を行います

- 不通となった鉄道等の代替輸送手段の確保に向けた情報収集や関係機関との連絡調整を行います。
- 被災地からの避難等のためにバス等の輸送需要が急増したことにより、業界団体のみでバスの手配等への対応が困難となった場合には、TEC-FORCEを業界団体に派遣し、個々の事業者への連絡・調整を直接行うなど、業界団体と連携し、被災自治体からの輸送ニーズに対応する役割を担います。

※活動期間中、応急対策や本格復旧に不可欠な情報を得るため、物流施設や輸送に係る車両、施設、設備等の被害状況調査し、運輸局災害対策本部を通じて、政府の現地対策本部や本省対策本部等へ報告する活動を行って頂く場合もあります。